



ライオンズクラブ国際協会331-B地区

2023-2024年度

# 第3回キャビネット会議



日 時：2024年2月17日(土)

リモートZOOM会議



2023-2024 ライオンズクラブ国際協会 331-B地区

稚内キャビネット

国際会長 L.パティ・ヒル

国際テーマ

**【We Serve (われわれは奉仕する)】**

国際会長メッセージ

**【Changing The World  
(世界を変える)】**

地区ガバナー L.藤原 回向

地区ガバナースローガン

**【環境保護は子孫に対する奉仕となる】**

地区ガバナーモットー

**【明るい未来を信じて We Serve!】**

◆稚内キャビネットピンバッチ ◆ コンセプト



ガバナースローガンにもある様に環境保護という観点から美しい自然と環境を大切にするというコンセプトのもと、国立公園であり自然豊かな『利尻富士』と稚内の代表的な花である『はまなす』をピンバッチに用いています。

## 第3回キャビネット会議次第

司会：運営委員長 L. 蓑谷 克行

1 開会宣言並びに開会ゴング	地区ガバナー	L.	藤原	回向	
2 出席者の紹介	運営委員長	L.	蓑谷	克行	
3 物故会員への黙祷	運営委員長	L.	蓑谷	克行	4頁
4 地区ガバナー挨拶	地区ガバナー	L.	藤原	回向	
5 副地区ガバナー挨拶	第一副地区ガバナー	L.	伊東	隆志	
	第二副地区ガバナー	L.	大島	尚久	
6 キャビネット報告					
報告第1号：複合地区各種会議	CAB幹事	L.	中野	修吾	6頁
報告第2号：会員並びにクラブ活動状況報告集計表他	CAB幹事	L.	中野	修吾	128頁
報告第3号：331-B地区 LCIF交付金 使用状況中間報告	CAB幹事	L.	中野	修吾	132頁
報告第4号：ウクライナ難民支援寄付報告	CAB幹事	L.	中野	修吾	137頁
報告第5号：地区緊急援助資金の活用について	CAB幹事	L.	中野	修吾	146頁
7 審議事項					
議長就任	地区ガバナー	L.	藤原	回向	
議案第1号：次期地区ガバナー立候補者届出	CAB幹事	L.	中野	修吾	166頁
議案第2号：次期第一副地区ガバナー立候補者届出	CAB幹事	L.	中野	修吾	175頁
議案第3号：次期第二副地区ガバナー立候補者届出	CAB幹事	L.	中野	修吾	177頁
議案第4号：331-B地区会計収支中間報告書	CAB会計	L.	梅村	俊範	179頁
議案第5号：331-B地区会計中間監査報告書	地区会計監査委員	L.	伊東	隆志	181頁
			澤田	礼二	181頁
			森山	憲治	181頁
議案第6号：地区年次大会における決算審議に関する件について	CAB会計	L.	梅村	俊範	182頁
議案第7号：地区費等徴収金額の件について	CAB会計	L.	梅村	俊範	182頁
議案第8号：331-B地区緊急援助資金規則に基づく資金の補充について	CAB会計	L.	梅村	俊範	182頁
議案第9号：第70回地区年次大会組織表(案)	地区大会委員会委員長	L.	岡谷	繁勝	183頁
議案第10号：第70回地区年次大会委員長アワード(案)	地区大会委員会委員長	L.	岡谷	繁勝	184頁
議案第11号：第70回地区年次大会代議員総会プログラム(案)	CAB幹事	L.	中野	修吾	185頁
議案第12号：第70回地区年次大会代議員総会運営委員会構成(案)	CAB幹事	L.	中野	修吾	186頁
議案第13号：第70回地区年次大会決議委員会・分科会構成(案)	CAB幹事	L.	中野	修吾	187頁
議案第14号：第70回地区年次大会代議員推薦名簿(案)	CAB幹事	L.	中野	修吾	189頁
提出議案：地区内クラブより提出議案	CAB幹事	L.	中野	修吾	190頁

8 地区GLTコーディネーター報告	L. 広瀬 寛人	
9 地区GMTコーディネーター報告	L. 矢吹 定夫	
10 地区GSTコーディネーター報告	L. 岡田 清一	
11 地区スペシャルティクラブFWTコーディネーター報告	L. 大津 幸三	
12 地区GETコーディネーター報告	L. 柳澤 豊	
13 地区LCIFコーディネーター報告	L. 藤原 回向	
14 各委員会報告		
長期計画リサーチ委員会	委員長 L. 伊東 隆志	
地区大会委員会	委員長 L. 岡谷 繁勝	195頁
会則委員会	委員長 L. 本間 修三	196頁
国際大会・国際協調委員会	委員長 L. 村山 聡	
薬物乱用防止・献血献眼委員会	委員長 L. 山森 清志	
YCE委員会	委員長 L. 小林 孝彦	
マーケティング・IT委員会	委員長 L. 高田 政志	197頁
平和ポスターコンテスト委員会	委員長 L. 石橋 美由亀	198頁
レオ・青少年育成委員会 アラート委員会	委員長 L. 浅野 敬一	
15 質疑及びその他		
参考資料	: 東洋東南アジアフォーラム フィリピン・マニラ スケジュール	200頁
	: 第8回スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム	202頁
16 閉会宣言並びに閉会ゴング	地区ガバナー L. 藤原 回向	



### 第3回キャビネット会議(ZOOM)出席者名簿

役 職	氏 名	出欠	役 職	氏 名	出欠	役 職	氏 名	出欠
地区ガバナー 地区LCIFコーディネーター	L. 藤原 回向	○	長期計画リサーチ委員	L. 二宮 雄一	○	第1R地区 マーケティング・YCE委員 第1R第2Z ゾーン委員	L. 青木 秀史	○
元国際理事 元ガバナー名誉顧問	L. 安井 克之	×	長期計画リサーチ委員	L. 木村 宏幸	○	第3R地区 マーケティング・YCE委員	L. 田邊 宏	○
第一副地区ガバナー 地区LCIF副コーディネーター 長期計画リサーチ副委員長 地区会計監査委員	L. 伊東 隆志	○	地区大会委員長	L. 岡谷 繁勝	○	第4R地区 マーケティング・YCE委員	L. 遠藤 隆男	×
第二副地区ガバナー 長期計画リサーチ福委員長	L. 大島 尚久	○	地区大会副委員長	L. 寺本 幸男	×	第5R地区 マーケティング・YCE委員	L. 奥山 壽雄	○
地区名誉顧問会議長	L. 中谷 宣巨	○	地区大会事務局長	L. 藤田 隆明	×	【ゾーン委員】		
第2R地区名誉顧問会議	L. 佐藤 信雄	×	地区大会事務局長次長	L. 石井 和雄	×	第1R第1Z ゾーン委員	L. 小野寺 一史	○
第3R地区名誉顧問会議	L. 香川 俊雄	×	会則 委員長	L. 本間 修三	○	第2R第1Z ゾーン委員	L. 山田 智士	○
第4R地区名誉顧問会議	L. 井ノ浦 義明	×	国際大会・国際協調 委員長	L. 村山 聡	○	第2R第2Z ゾーン委員	L. 加藤 祐一	×
第5R地区名誉顧問会議	L. 若林 輝彦	×	国際大会・国際協調 副委員長	L. 明石 敏弥	○	第3R第1Z ゾーン委員	L. 大和田 収	○
前ガバナー 元ガバナー名誉顧問 長期計画リサーチ委員長	L. 阿部 昭	○	薬物乱用防止・献血献血 委員長	L. 山森 清志	×	第3R第2Z ゾーン委員	L. 船迫 郷子	○
キャビネット幹事(全般) 長期計画リサーチ委員	L. 中野 修吾	○	薬物乱用防止・献血献血 副委員長	L. 櫻井 信之	×	第4R第1Z ゾーン委員	L. 佐藤 光一	○
キャビネット会計(広報)	L. 梅村 俊範	○	レオ・青少年育成委員長 アラート委員長	L. 浅野 敬一	○	第4R第2Z ゾーン委員	L. 太田 晃司	×
キャビネット副会計(財務)	L. 三上 聖一	×	レオ・青少年育成副委員長 アラート副委員長	L. 佐藤 豪一	○	第4R第3Z ゾーン委員	L. 森田 正志	×
地区GLTコーディネーター 第2R地区 マーケティング・YCE委員	L. 広瀬 寛人	○	レオ・青少年育成委員 アラート委員	L. 清野 芳明	○	第5R第1Z ゾーン委員	L. 梅原 友一	○
地区GMT コーディネーター	L. 矢吹 定夫	○	YCE 委員長	L. 小林 孝彦	○	第5R第2Z ゾーン委員	L. 林 健二	○
地区GST コーディネーター	L. 岡田 清一	○	YCE 副委員長	L. 工藤 正幸	×			
地区SPC・FWT コーディネーター	L. 大津 幸三	○	マーケティング・IT 委員長	L. 高田 政志	○			
地区GET コーディネーター	L. 柳澤 豊	○	マーケティング・IT 副委員長	L. 栃木 潤子	○			
地区GLT 副コーディネーター	L. 佐藤 健治	○	マーケティング・IT 委員	L. 山田 庸徳	×	【オブザーバー】 (北見)	L. 山田 兼士	○
地区GMT 副コーディネーター	L. 猫本 浩和	×	平和ポスター コンテスト委員長	L. 石橋 美由亀	×			
地区GST 副コーディネーター	L. 重綱 博美	○	運営委員長(副幹事)	L. 養谷 克行	○			
地区SPC・FWT 副コーディネーター	L. 大森 一道	○	運営副委員長(副幹事)	L. 石内 隆則	×			
地区GET 副コーディネーター	L. 宮下 泰裕	○	運営副委員長(副幹事)	L. 佐藤 堅司	○	事務局長	L. 池田 恵美子	×
第1R第1Z ゾーン・チェアパーソン	L. 成田 勝利	×	運営委員(副幹事)	L. 鳥取 広志	×	事務局員	L. 大久保 雅明	○
第1R第2Z ゾーン・チェアパーソン	L. 杉本 隆英	○	運営委員(副幹事)	L. 柳浦 政春	×	事務局員	L. 小野寺 理恵	×
第2R第1Z ゾーン・チェアパーソン	L. 松田 誠一	○	運営委員(副幹事)	L. 加賀 浩一	×	事務局員	L. 山口 真希	×
第2R第2Z ゾーン・チェアパーソン	L. 立崎 光儀	×	運営委員(副幹事)	L. 永井 由美子	○			
第3R第1Z ゾーン・チェアパーソン	L. 方川 一郎	×	運営委員(副幹事)	L. 庄司 明宏	×			
第3R第2Z ゾーン・チェアパーソン	L. 高橋 好志子	○	地区会計監査委員	L. 澤田 礼二	×			
第4R第1Z ゾーン・チェアパーソン	L. 萩谷 泰夫	○	地区会計監査委員	L. 森山 憲治	×			
第4R第2Z ゾーン・チェアパーソン	L. 喜多 武彦	○						
第4R第3Z ゾーン・チェアパーソン	L. 徳田 晃一	○						
第5R第1Z ゾーン・チェアパーソン	L. 奥山 久美子	○						
第5R第2Z ゾーン・チェアパーソン	L. 佐藤 正明	○						

24

15

12

出席者

51 名

# 物 故 会 員

(2023年10月21日～2024年1月9日迄の物故者名)

## 獅子の魂は永遠に

獅子の肉体は滅びても培われた魂は滅びず、永く世に貢献する。北の大地で志を半ばにしてご逝去された、我が同士の雄姿を忘れることは決してなく、獅子の栄誉は永遠に銘記されていく。故人に寄せる想いは去りがたく331-B地区会員一同謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

2023年 11月 3日 L. <sup>さかい</sup>酒井 <sup>そうた</sup> 莊多 83歳 (網走桂LC)

2023年 12月18日 L. <sup>きはら</sup>木原 <sup>こういちろう</sup> 向一郎 52歳 (旭川ナナカマドLC)

# 報 告 事 項

(報告第1号)

## 複合地区各種会議

- (2023. 11. 17) 2023年10月国際理事会の重要事項 8頁
- (2023. 11. 30) 会費の割引をうける会員種別「特典会員」について 12頁  
「特典会員」カテゴリーからのMyLCI上変更手続きについて 15頁
- (2023. 10. 3) 2023-2024年度 第1回全日本SCP・FWT会議 議事録 16頁
- 一般社団法人日本ライオンズ
  - ◆ 理事会 議事要録
    - (2023. 12. 6) (社)日本ライオンズ第2回定時社員総会 議事録 22頁
    - (2023. 9. 14) (社)日本ライオンズ第3回理事会 議事要録 30頁
    - (2023. 10. 11) (社)日本ライオンズ第4回理事会 議事要録 38頁
    - (2023. 11. 15) (社)日本ライオンズ第5回理事会 議事要録 43頁
    - (2023. 12. 22) (社)日本ライオンズ第5回理事会 議事要録 訂正版 49頁
    - (2023. 12. 6) (社)日本ライオンズ第6回理事会 議事要録 55頁
  - ◆ 国際大会委員会 (Web) 議事要録
    - (2023. 10. 10) (社)日本ライオンズ「第3回国際大会委員会 (Web)」議事要録 60頁
    - (2023. 11. 29) (社)日本ライオンズ「第4回国際大会委員会 (Web)」議事要録 66頁

◆ 会則委員会WEB会議議事録

(2023. 10. 19)	(社)日本ライオンズ第3回会則委員長 (WEB)	議事要録	71頁
(2023. 11. 24)	(社)日本ライオンズ第4回会則委員長 (WEB)	議事要録	79頁
(2023. 12. 11)	(社)日本ライオンズ第5回会則委員長 (対面)	議事要録	84頁

◆ Y C E 委員会 会議

(2023. 10. 5)	(社)日本ライオンズ第2回Y C E委員会 (対面)	要録	88頁
(2023. 11. 21)	(社)日本ライオンズ第1回Y C E実務者会議 (ZOOM)	議事録	90頁
(2023. 11. 26)	(社)日本ライオンズ第3回Y C E委員会 (ZOOM)	議事録	99頁

◆ アラート委員会 議事録

(2023. 10. 26)	臨時アラート委員会 (ZOOM)	議事録	103頁
----------------	------------------	-----	------

● 2023-2024年度ライオン誌日本語版委員会

(2023. 11. 9)	2023-2024年度 第4回会議 (ZOOM)	114頁
(2023. 12. 8)	2023-2024年度 第5回会議 (ZOOM)	118頁
(2024. 1. 10)	2023-2024年度 第6回会議 (ZOOM)	124頁

## エジプト・カイロで開催された2023年10月国際理事会の重要事項

2023年11月17日

先の国際理事会で審議及び決議された事項のうち、日本のライオンズクラブ運営にとって重要であると思われることを以下の通りご報告いたします。正式に翻訳された決議事項要約は、国際協会公式ウェブサイトおよびライオン誌に追って掲載されますので、そちらをご確認ください。この報告は、内容を前もって複合地区および地区のリーダー各位にお知らせする目的で提供されるものであり、使用される用語等は後日修正される場合がある点ご了承ください。

1. 国際会則の解釈を修正し、会員がクラブの代議員者数確定のために算入されるには、1年と1日の間、一つのクラブの正会員である必要があることとする。
2. 第3副会長候補者推薦ガイドラインを改正し、8月の執行委員会までに執行委員会が諮問委員会の推薦を検討し、10月・11月の理事会までに理事会が候補者を推薦することを義務付けることとする。
3. 会員数が1,000人以上の地区と、会員数が1,000人未満の地区で平均1%以上の成長を遂げている地区が、地区に影響を与える地区再編成案について投票できるよう地区再平成方針の変更を承認。この方針変更は、国際会則付則の改正を必要とするため、その改正案は2024年3月理事会に置いて会則付則委員会で審議される。
4. 赤字となる、2023-2024年度第一四半期予算見通しを承認。
5. 現行の、ALLI参加に対するレオライオン奨学金を来年度からはFDI参加に対する奨学金へと移行する計画を支持。
6. LCIPの1回目の参加で認証を受けられなかった受講者に対し、ビデオ申請により再申請し認証を求めるための申請期限を2年間と規定することを承認。
7. リーダーシップ開発研究会補助金の申請期限を2023年12月31日まで延長することを承認。
8. 第二副地区ガバナーおよび第一副地区ガバナー／地区ガバナー・エレクト研修プログラムの将来的なモデルの設計に役立てるため、複合地区および単一地区を対象とした調査を今後実施することを支持。
9. ライオンズクラブ国際協会を女性や若者にとってより親しみやすいものとするための方法を検討する特別委員会を設置することを決議。（8月長期計画委員会で報告

された件を承認決議)

各会則地域から2名の委員が国際会長により選任され、日本からはMD330のL.小川晶子がこの委員会に所属する。

10. ライオンズクラブ国際協会のグローバル奉仕目標にメンタルヘルスまたはウェルネスを追加する可能性について、調査研究を進めることを決議。
11. 2023 - 2024年度マーケティング補助金申請43件を承認。これにより今年度の補助金予算は終了。
12. レオをライオンズ会員種別にする可能性について調査・審議するための特別委員会の設置を承認。
13. 企業内クラブ・会員の機会を調査するための今後のステップについて協議。
14. ミッション1.5の推進のため、グローバルアクションチームのMD/Dコーディネーター研修のための追加資金と、イニシアチブ推進のためのグッズ等作成のための予算を承認。
15. 「割引会員」の権利を明確にするため理事会方針書を改正。(この件については下に別途説明)
16. 2022 - 2023トップテンYCE委員長を決定。会則地域5は増澤前議長の推薦により、MD334のHIDENORI KAWASHIMAライオンが受賞。
17. 現在は国際協会の公式プログラムからは削除されたアラート・プログラムについて、災害発生時のライオンズの取り組みを明確化し、統一されたルール等を設置する必要性からもこのプログラムを再度公式プログラムとする可能性について検討。グローバル奉仕目標の再検討の議論とあわせ、引き続き審議することを支持。

## 会費の割引を受ける会員種別について

2023年国際大会の代議員投票により新設された会員種別、「割引会員（Discounted Member）」について本理事会で再度検討が行われました。

これは「会員種別」であり、家族会員、レオライオン会員、学生会員、若年成人会員などの「会員プログラム」により、減額された会費を支払うことを認められたすべての会員が含まれます。

この新たな種別は、会費を全額支払う正会員とまったく同じ権利を持ちます。唯一異なるのは、クラブから地区大会、複合地区大会、国際大会に送ることのできる代議員数を計算する際のクラブ会員数にはカウントされません。

下は新たに整理された会員種別表です。

### 会員種別表

種別	会費即時支払 (クラブ、地区、国際)	クラブ活動参加	良い印象を与える言動	クラブ、地区又は国際 の役職への立候補資格	投票権・自身が代議員になる資格	地区又は国際 の大会の代議員 数算出の対象
正会員	必要	必要	必要	有	有	対象になる
賛助会員	必要	可能な時	必要	無	クラブ事項のみ	対象になる
準会員	クラブ会費のみ 支払う	可能な時	必要	無	地区大会（第一 クラブ） クラブ事項（第 1及び第2クラ ブ）	対象にならない
<b>割引会員</b> [本項は 2024年1月 1日施行]	必要	必要	必要	有	有	対象にならない
名誉会員	必要なし クラ ブが国際及び地 区の会費を支払 う	可能な時	必要	無	無	対象にならない
終身会員	クラブ及び地区 の会費を払い、 国際会費は払わ ない	可能な時	必要	正会員の義務を 果たしていれば 有	正会員の義務を 果たしていれば 有	対象になる
不在会員	必要	可能な時	必要	無	クラブ事項のみ	対象になる
優待会員	必要	可能な時	必要	無	有	対象になる



10月の理事会では、「1年と1日」との表現の解釈を改める決議がなされました。この会則解釈の調整に伴い、連続した1年と1日の間、一つのクラブで会費全額を支払った会員のみが、クラブの代議員資格総数の計算に算入されることになりました。

ただし、割引会員が2023年12月15日までに会費を全額支払う会員に変更された場合には、1年と1日の条件を満たしていなくても、2024年に開催される大会の代議員資格総数の計算には算入されます。

割引会員の会員種別に対応するシステム変更が期日までに実施されない可能性があります。現在の家族会員、レオライオン会員、学生会員、若年成人会員が、代議員資格総数の計算に算入される全額支払う会員に変更されたい場合には、MyLCI上で2023年12月15日までに（日本時間の12月16日午後3時）正会員に変更する手続きを行ってください。

現在の家族会員、レオライオン会員、学生会員、若年成人会員が、代議員資格総数の計算に算入される必要を感じない場合には、何も手続きをする必要はありません。その場合は、これまで通り減額された会費となり、自らが代議員となる資格、奉仕活動に参加し、役職に立候補する資格も正会員と同様に与えられます。

なお、「割引会員」という訳語は、現在国際本部で再検討が行われており変更される可能性があります。

## 会費の割引を受ける会員種別「特典会員」について

2023年11月17日通知  
2023年11月21日補足修正  
2023年11月30日補足修正

2023年国際大会の代議員投票により新設された会員種別について、2023年10月カイロ国際理事会で再度検討が行われました。

これは「会員種別」であり、家族会員、レオライオン会員、学生会員、若年成人会員などの「会員プログラム」により、減額された会費を支払うことを認められたすべての会員が含まれます。

この新たな種別は、会費を全額支払う正会員とまったく同じ権利を持ちます。唯一異なるのは、クラブから地区大会、複合地区大会、国際大会に送ることのできる代議員数を計算する際のクラブ会員数にはカウントされません。

また、「割引会員」という言葉が、会員そのものが割引された立場であるかのような印象を与えるとのご意見をいただき、翻訳通訳を管轄する地区およびクラブ行政部太平洋アジア課で再度見直しが行われた結果、「特典会員」を訳語として選択することに変更されましたのでお知らせいたします。

なお、10月の理事会では、「1年と1日」との表現の解釈を改める決議がなされました。この会則解釈の調整に伴い、連続した1年と1日の間、一つのクラブで会費全額を支払った会員のみが、クラブの代議員資格総数の計算に算入されることになりました。

ただし、割引会員が2023年12月15日までに会費を全額支払う会員に変更された場合には、1年と1日の条件を満たしていなくても、2024年に開催される大会の代議員資格総数の計算には算入されます。

次ページに掲載したものは、新たに整理された会員種別表です。ご確認ください。

この会員種別表は、新たに特典会員が加わっただけでなく、右側から2つの列について、代議員数算出の対象であるかどうかを示しているのか、その種別が代議員になれるか否かを示しているのかあいまいかつ混乱した記述がありましたので、下の通り修正いたしました。

現在ウェブサイトに掲載されている国際理事会方針書第17章「会員」及び第7章「会則付則」の付則添付物として掲載されている会員種別表については、追って修正されますが現在は不正確な部分がある点、ご注意ください。

会費即時支払（クラブ、地区、国際）の項目に関しては、それぞれの種別に応じて、権限を有する組織の会則付則によって支払い義務があるとされた場合、誰が支払い義務を有するかを示しております。これまでも正会員である家族会員の地区費複合地区費、あるいは終身会員の会費について地区や複合地区、あるいはクラブの会則付則で減免を規定されてこられたように、特典会員に関しても、これをしてはならない、という規定ではないことを申し添えます。

現在の家族会員、レオライオン会員、学生会員、若年成人会員が、代議員資格総数の計算に算入される必要を感じない場合には、何も手続きをする必要はありません。その場合は、これまで通り減額された会費となり、自らが代議員となる資格、奉仕活動に参加し、役職に立候補する資格も正会員と同様に与えられます。

## 会員種別表

種別	会費即時支払 (クラブ、地区、国際)	クラブ活動参加	良い印象を与える言動	クラブ、地区又は国際の役職への立候補資格	投票権・自身が代議員になる資格	地区又は国際の大会の代議員数算出の対象
正会員	必要	必要	必要	有	有	対象になる
賛助会員	必要	可能な時	必要	無	クラブ事項のみ	対象になる
準会員	クラブ会費のみ支払う	可能な時	必要	無	地区大会（第一クラブ） クラブ事項（第1及び第2クラブ）	対象にならない
<b>特典会員</b> [本項は 2024年1月 1日施行]	<b>必要</b>	<b>必要</b>	<b>必要</b>	<b>有</b>	<b>有</b>	<b>対象にならない</b>
名誉会員	必要なし クラブが国際及び地区の会費を支払う	可能な時	必要	無	無	対象にならない
終身会員	クラブ及び地区の会費を払い、国際会費は払わない	可能な時	必要	正会員の義務を果たしていれば有	正会員の義務を果たしていれば有	対象になる
不在会員	必要	可能な時	必要	無	クラブ事項のみ	対象になる
優待会員	必要	可能な時	必要	無	有	対象になる

### ■今後の手続き

割引会員の会員種別に対応するシステム変更が期日までに実施されない可能性があります。現在の家族会員、レオライオン会員、学生会員、若年成人会員が、代議員資格総数の計算に算入される全額支払う会員に変更されたい場合には、MyLCI上で2023年12月15日までに（日本時間の12月16日午後3時）正会員に変更する手続きを行ってください。までに、MyLCIにより

対象会員について「会員割引を放棄する」をクリックし、変更の手続きを行ってください。  
MyLCI の手続き方法については別紙を参照ください。

ご存じの通り、国際協会では現在すべての会員システムをセールスフォースに移行する作業を進めており、~~その関係で現行の MyLCI へのシステム変更は行われな可能性が高い状況です。~~  
~~(結論が出ていないためはっきりせず申し訳ありません。)~~そのため、今回は代議員数算出の際の対象になるという意味が正しく反映されることが重要であるという判断から、現在の家族会員が割引を受けない家族会員として登録されたい場合には、~~今回は正会員への変更手続きを行ってください。~~ます。

~~担当部長によりますと、セールスフォースへの移行と会員システムの準備が整った際には、家族会員として登録し、「会費の割引を辞退する」という選択をすることが可能になるそうです。~~  
従いまして、「国際会費全額を支払う家族会員」というカテゴリで登録・把握することは可能になります。

また、他の会員種別や会員プログラム同様、1月1日以降に全額を支払う正会員の選択をした割引を放棄した会員が割引を受ける家族会員へと変更することは可能ですし、逆もまた可能です。ただし、割引を受ける特典会員となった家族会員が全額を支払う会員になる場合には、導入当初の例外期間を除き、1年と1日以上継続してその会員種別である必要が生じます。

また、全額を支払う家族会員は、特典会員に移行する可能性があるという意味で、世帯主の家族会員とは異なります。

特典会員という会員種別を設けた理由はすでにご説明した通りです。奉仕活動やクリスマス例会などのみに参加し、代議員数に反映されることなどを必要としない家族会員はそのまま現状維持としていただければ問題ありません。

家族会員プログラム、学生会員プログラムなどの会員プログラムは、その分野を新たな奉仕の担い手として開拓したいという国際協会の意思を反映して作られた会員プログラムであり、その意思に変わりはありません。

協会のシステム変更についてが明らかになりましたら、今後のシステム上の対応等については改めてご説明申し上げます。

ライオンズクラブ国際協会  
OSEAL 調整事務局  
事務局長 マーズ佐子

## 「特典会員」カテゴリからの MyLCI 上変更手続きについて

2023.11.30

1. 会員報告を行う権限があるユーザーが MyLCI にログインし、ライオンズクラブ> 会員を選択する。
2. 会員の中から、現在特典会員（割引を受けている会員）の名前を探し、右側の「会員割引を放棄する」をクリックする



3. 内容を確認し、会員割引を放棄するをクリックする。



4. 割引を受ける特典会員に戻る場合には、同じ場所にある「会員割引を要請する」をクリックする。

エラーの報告・システムに関するお問い合わせは MSCJapan@lionsclubs.org /050-1791-5827

## 2023-24 年度 第 1 回全日本 SCP・FWT 会議議事録

報告日：2023 年 10 月 3 日

会議名	2023-2024 年度 全日本ライオンズ 第 1 回 SCP・FWT コーディネーター会議		
開催日時	2023 年 9 月 26 日（火）13:00~14:30		
会場	ZOOM オンライン		
出席者	GAT エリアリーダー		L 小川 晶子
	SPC・FWT 顧問		L 高橋 かず子
	複合地区 SPC・FWT コーディネーター		複合地区 SPC・FWT 副コーディネーター
	330	L 鳥居 眞弓	330 L 浅井 洋一郎
331	L 熊谷 敬子	331 L 小野内 雅子【欠席】	
332	L 太田 美紀【欠席】	332 L 佐藤 有里恵【欠席】	
333	L 伊藤 和子	333 L 古渡 孝枝	
334	L 弓矢 直美	334 L 村木 峰子	
335	L 畑山 裕子	334 L 両澤 雅子【欠席】	
336	L 鶴飼 恵美	335 L 鯖江 敏子	
337	L 古賀 京子	337 L 天願 和美【欠席】	
作成者	MD336 L 鶴飼 恵美		
司会進行	L 村木 峰子 (MD334SCP・FWT 副コーディネーター・GAT セクレタリー)		
会議概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会</li> <li>2. GAT エリアリーダーご挨拶</li> <li>3. 委員自己紹介</li> <li>4. 議事録作成者</li> <li>5. エリアリーダーからの報告及び協議事項 <ol style="list-style-type: none"> <li>① 国際協会からの諮問事項&amp;ミッション 1.5 について</li> <li>② FWT 委員会の立ち位置</li> <li>③ 各地区から現況と計画</li> <li>④ 質問</li> <li>⑤ その他（報告事項・確認事項）</li> </ol> </li> <li>6. 次回開催日の確認</li> <li>7. 閉会</li> </ol>		

議事録署名人：

会議内容
<p><b>(1) 開会 MD334 副コーディネーター L 村木 峰子</b></p> <p>出席者確認 (初出席の皆様、怖がらずに参加して下さい。笑)</p>
<p><b>(2) GAT エリアリーダーご挨拶 L 小川 晶子</b></p> <p>今期 SCP・FWT コーディネーターは、二つの顔を持たなくてはならない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先ず、一つ目の顔は GAT としての顔であり、地区ごとの活動を行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ミッション 1.5 活動で、2027 年までに会員数 150 万人を目指して活動する。</li> <li>ミッション 1.5 は何の為にされるか? を説く事が大切である。</li> </ul> </li> <li>天変地異、戦争などで救いを待つ人数が増えている現在、10 億人に奉仕の枠を広げる為に、少しでも多くの人に奉仕を届ける為に、担い手を増やす必要が有る。</li> <li>また、LCIF100 \$ 寄付の数字が上がって来ているので、有効な補助金活用を考える必要が有る。</li> <li>・二つ目の顔は SCP・FWT としての顔であり、これまでと変わらない活動を続行する。</li> </ul>
<p><b>(3) 委員自己紹介</b></p> <p>11 名の出席委員が順次自己紹介 (今期 1 年間、どうぞよろしくお願いいたします。)</p> <p>【顧問】高橋 かず子 L</p> <p>小川リーダーの後押し、バックアップをして行きたい。</p>
<p><b>(4) 議事録作成者</b></p> <p>今回は MD335 が作成順だが、体調不良の為 MD336 が作成する。</p>
<p><b>(5) エリアリーダーからの報告及び協議事項</b></p> <p>① FWT 委員会の立ち位置</p> <p>世界課題の対応に、今女性の力を必要としています。</p> <p>現在日本の女性会員は 23%位だがこれは家族会員を含んでおり、実質活動しているのは 8~10%位かと考える。</p> <p>各大会で女性の意見が通るように、パティヒル国際会長がおっしゃっている 23%を目指さなくてはならない。</p> <p>例えば、2,800 のクラブに 1 名ずつ女性が入会すれば、2,800 名の増員となる。</p> <p>FWT は、毎年女性の目線と感性を活かした活動を行っている。</p> <p>今期、新たな活動を提案したい。</p> <p>個人的な負担無く、女性会員グループを増やしていく活動です。</p>

ここで、女性会員増員の為に小川リーダーが作成されたパワーポイントを画面にて共有。

**【世界課題の対応に 今、女性の力を必要としています】**

テーマは、「企業内、組織内での女性クラブの結成」

- ・小児がん支援活動
- ・人道支援（例：ウクライナ人による料理教室）
- ・環境保護（例：女性全員が天ぷら油の適切な処理をし、CO2の削減を実践する）
- ・食糧支援（貧困・飢餓のこども達に対して）
- ・海外とのネットワーク（真の Our Nation's Safety に繋がる）
- ・SDGsの支援（企業のSDGs活動のアピール）

※このパワーポイントを持って、各企業を回る。

永年温めていた物が、やがていつか結果となって表われる事を、3.11 災害時のクッキー作りに参加した女性学生が成長し、奉仕活動に参加したいと語った例が物語っている。また別の例として、松岡エリアリーダーからの、京都の学生さんだった方が成長し、東京の会社で支部を立ち上げたいとの話も有る。

クラブ名の件；企業内、組織内での(女性)クラブには、地区名は必須だが、企業名を付けることも可能である。

まずは、1つの活動に特化したスペシャルティクラブとして立ち上げる。

【伊藤L】地区によって差が有り、会費の件で疑問が有る。

【小川リーダー】月10万円位であれば、福利厚生費の利用が可能。

山田PIPは看護師さんで、職場内クラブを結成のご意向。

【熊谷L】療法士20人で支部結成しており、会費は親クラブが負担

【古渡L】看護師を20年間していたので声掛けをしているが、多忙な日常でなかなか形にならない。

【小川リーダー】アラート時に緊急活動をするだけでも可能であり、有事に活動するクラブの結成を目指しても良い。

3.11 災害時も、女性の力が大きかった。

**② 国際協会からの諮問事項&ミッション1.5について**

27日福岡、28日名古屋、29日東京にてセミナー開催予定。

**いつ？ 誰がやるのか？**

「女性リーダーを育成している」&「社会貢献している」

これをキーワードに、今、私たちがやる！！



③ 各地区から現況と計画		
MD330	鳥居 L	<p>今期は出遅れている。</p> <p>A 地区：活発な動き。レモネードスタンドが中心。 退会者が多く出ている。次は会員増強にシフトする。</p> <p>B 地区：女性新会員が 13 名を入会させる。 喜ばしいが、一人の力に頼り過ぎない。 藤沢で新クラブ結成の予定。支部結成にも向かっている。</p> <p>C 地区：SCP が外れているのは、議長の勘違いから。 今期は、FWT として活動する。</p>
	浅井 L	河川清掃など、環境保護に特化した活動を推し進める。
MD331	熊谷 L	<p>8 月・ミッション 1.5 セミナー開催</p> <p>9 月・地区 RC/ZC 会議、GMT 会議開催</p> <p>会員増強に関しては、招待例会を実施している。</p> <p>A 地区：支部結成の動き</p> <p>B 地区：エクステンション無し</p> <p>C 地区：2 支部結成</p> <p>各地区とも、ヘッドネーション、古本募金、食糧支援、河川清掃などを実施している。</p>
MD333	伊藤 L	<p>GMT との合同会議を 2 度実施。</p> <p>湯沢にて開催の研修会は、実りある研修会であった。</p> <p>千葉にて、1 支部結成。</p> <p>B 地区の退会者処理が前期行われていなくて、今期にずれ込んでいる。</p>
MD334	弓矢 L	<p>A・B・C・D4 地区で、合計 36 支部の結成を目標としている。</p> <p>楽しいクラブ活動を、目標としている。</p> <p>A 地区では、浴衣を寄贈して外国人にプレゼントした。</p> <p>12 月末までに、7 支部の結成予定</p> <p>学生会員の地区費免除が棚上げのままだが、今期中には免除が決定する予定。</p> <p>ライオン誌代を含む日本ライオンズ賛助会費も、ガバナー会にて免除の方向。</p>



<p>おりがみの学生が、ZOOMにて離島のこども達に勉強を教える。 ライオンズとの関わりは・・・ 母親たちに支部を結成してもらい、会員のこども達は無料で学習支援が受けられる。 PCを設置し、自由に使える環境を提供し、受信する支援をサポートする。 なお、おりがみの学生5名が支部に入会済み。</p> <p>沖縄のみならず、北海道も広く雪深く、学習塾に行く環境が厳しい。 FWTが、僻地の学習支援を行う！！</p>
<p><b>④ 質問</b></p> <p>【古賀L】 解散したクラブは、1年以内に10名で同じ名前のクラブを結成する事は可能か？ 【小川リーダー】 1年以内であれば入会金は不要だが、新クラブの結成は20名から。</p>
<p><b>⑤ その他(報告事項・確認事項)</b></p> <p>この後、即会議時に使用した資料を送信する。 改善点が有れば皆で手を加えて、より良い資料にして行きたい。</p>
<p><b>(6)次回開催日の確認</b></p> <p>11月のOSEAL終了後、中旬以降に開催。 企業内クラブについての報告を、宿題とする。</p>
<p><b>(7)閉会</b></p> <p>L村木 峰子</p>

以上

書責 MD336SPC・FWT コーディネーター 鶴飼 恵美

**(2023-24) 一般社団法人日本ライオンズ 第2回定時社員総会 (全国ガバナー会) 議事録**

2023年12月6日(水) 13:30-16:00 AP日本橋 Cルーム

**出席者リスト****2023-24年度正社員【地区ガバナー】**

330-A 地区ガバナー 阿部 かな子【欠席】  
 330-B 地区ガバナー 石田 真一  
 330-C 地区ガバナー 田中 雄一 ※  
 331-A 地区ガバナー 設楽 幸子  
 331-B 地区ガバナー 藤原 回向【欠席】  
 331-C 地区ガバナー 渡部 義男  
 332-A 地区ガバナー 大矢 進  
 332-B 地区ガバナー 高橋 寛  
 332-C 地区ガバナー 渡邊 俊弥  
 332-D 地区ガバナー 門馬 弘  
 332-E 地区ガバナー 西村 公夫  
 332-F 地区ガバナー 石垣 勝康  
 333-A 地区ガバナー 鈴木 壽男  
 333-B 地区ガバナー 後藤 一男【欠席】  
 333-C 地区ガバナー 北野 淳子  
 333-D 地区ガバナー 福田 勝巳【欠席】  
 333-E 地区ガバナー 齊藤 正行  
 334-A 地区ガバナー 木野村 好己【欠席】  
 334-B 地区ガバナー 川嶋 富士雄【欠席】  
 334-C 地区ガバナー 前田 磨  
 334-D 地区ガバナー 小出 進  
 334-E 地区ガバナー 喜多 友一  
 335-A 地区ガバナー 山中 健  
 335-B 地区ガバナー 西尾 良典  
 335-C 地区ガバナー 山本 忍  
 335-D 地区ガバナー 廣田 晃一  
 336-A 地区ガバナー 山崎 勝彦  
 336-B 地区ガバナー 藤井 信英  
 336-C 地区ガバナー 三口 巖  
 336-D 地区ガバナー 山崎 もとみ  
 337-A 地区ガバナー 中村 巧  
 337-B 地区ガバナー 下堂 蘭 一将  
 337-C 地区ガバナー 古賀 義行  
 337-D 地区ガバナー 新里 正雄 ※  
 337-E 地区ガバナー 伊藤 竜彦

**※ガバナー、議長兼任****2023-24年度正社員【理事会理事】**

公益財団法人日本ライオンズ理事長 不老 安正  
 2022-23一般社団法人日本ライオンズ理事長 村木 秀之

**【2023-24年度 協議会議長】**

MD330 議長 田中 雄一  
 MD331 議長 松浦 淳一【WEB】  
 MD332 議長 栗村 安弘  
 MD333 議長 星野 勝美  
 MD334 議長 戸祭 宏樹  
 MD335 議長 中谷 豊重  
 MD336 議長 澤 辰水  
 MD337 議長 新里 正雄

**【2022-23年度 協議会議長】**

MD330 議長 吉本 晴夫  
 MD331 議長 須藤 敏幸  
 MD332 議長 田名部 智之  
 MD333 議長 松本 宰史  
 MD334 議長 増澤 義治  
 MD335 議長 吉村 弘吉  
 MD336 議長 池原 堅  
 MD337 議長 玉川 孝

**【2022-24年度監事】 2年任期の2年目**

MD330 元議長 今井 文彦  
 MD331 元議長 佐々木 忠康  
 MD334 元議長 橋本 勝策  
 MD336 元議長 岡村 聖爾【欠席】

正社員総数 55名 (出席 47名・Web1名・欠席7名)

**【オブザーバー】**

法律顧問 池田 和司  
 会計顧問 吉田 宗一郎  
 事務局補佐 菅原 孝明

(午後 1 時午後 1 時 30 分開始)

・定足数の確認

増澤専務理事より、本日出席者人数の確認。

正社員 55 名中 48 名の出席。定款 17 条 総正社員の過半数の出席により、社員総会の成立の確認。  
今回は審議事項なしのため議決権行使書での参加は無。

・出席者紹介およびご挨拶

- ・一般社団法人日本ライオンズ 田名部理事長よりご挨拶。
- ・一般社団法人日本ライオンズ 村木前理事長よりご挨拶。
- ・公益財団法人日本ライオンズ 不老理事長よりご挨拶。

・議事録署名人選出、議事録作成人選出

議事録作成人として MD330 田中常務理事・MD335 中常務理事。補助として菅原事務局補佐。  
議事録署名人として 334-E 地区喜多ガバナー・336-B 地区藤井ガバナーを指名。

・議長の指名

定款第 16 条により、田名部理事長が議長に指名される。

・各種報告内容

報告事項

(1) 上半期活動報告

田名部理事長より報告。会議開催実績の他、各MDを訪問したことや、OSEAL フォーラムへの参加し各種会議へ出席したこと、下半期の予定について報告。

(2) 各種委員会報告

ア 会則委員会 松本委員長

① 役員必携を発行した。

4 月を目標にして、役員必携（改訂版）の発行準備をしている。こちらを参照すればクラブ運営について分かるようになっているので、ぜひクラブ三役にはお持ちいただき、次期、三役研修会に活用していただきたい。

② 1 月末を目標にしてライオンズ必携第 6 1 版の編集中である。

今年度はかなり会則変更が多い。役職者には特に必ず携帯いただくようお願いしたい。

新会員の入会キットと一緒に渡してほしい。

【質疑・要望・意見】

- ① 必携について、紙ベースでいいのか？ネットで提供できないのか？（山本ガバナー）

→・一般社団法人日本ライオンズのウェブサイトに掲載している。是非活用していただきたい。準地区のウェブサイトとリンクをはっていただきたい。

イ 国際大会委員会 吉村委員長

- ① 2025年北海道オセアルフォーラム

国際大会委員会では国際大会、オセアルフォーラムを主幹としているが、現あ位は2025年北海道オセアルフォーラムと、2030年北海道国際大会（立候補準備中）と北海道を意識して動いていると報告。

- ② マニラ・オセアルフォーラム（2023年11月2-5日）

・日本から1490名の登録  
・登録キットの不備が見受けられ、記念誌や出席証明がなかった。IDカードが発行できなかった。晚餐会での食事が出なかったことや会議や晚餐会での時間がルーズであった等、現地フォーラム委員会には努力をいただいたものの不手際が見受けられた。札幌オセアルフォーラムの反省としたい。

・来年は、タイのパタヤで開催される。（2024年11月）

- ③ メルボルン国際大会（2024年6月）

・スケジュールの説明と、早期登録のお願い。  
・6月22日夕方（予定）に代議員会を開催予定。  
・ホテルの件 各MD公認TCがホテルを斡旋するので、利用をお願いする。  
現時点では1泊3万2千-5千円ほどの予定、このホテルと会場とシャトルバスを運行してもらえるよう交渉を行う予定である。

【質疑・要望・意見】

- ① 国際大会の7月開催は考えてほしい。（石垣ガバナー）

・国際大会については日本ライオンズの範疇ではない事を理解いただきたい。日程・開催場所については、7年前から決まっている。

- ② ポータルサイト（LIONPORTAL）はどうなっているか。（石垣ガバナー）

・ポータルサイトは、国際協会によれば2024年1月から公開予定。

注：12/28付けでOSEALより公開延期の連絡があった。

ウ アラート委員会 池原委員長

- ① 組織、規約、資金の問題があるが、今年度はまずはシンプルで災害時に迅速に動きやすい組織作りを目指して活動中である。
- ② 委員会運営規約と現行組織図が合致していない部分があり。  
現状に合わせた組織図にすることと、組織のシンプル化をはかっている。完成後に社員総会で諮る予定。
- ③ 次年度（2025年）全国アラートフォーラム MD333 で開催予定。その他引き継ぎのため研修会制度について検討中。
- ④ 8複合対象 備蓄庫（現在時点336、331は整備済み）、緊急支援金につきアンケートを実施。地区によりかなり幅はあるが、今後の災害への備えとして申し送り等を行いたい。
- ⑤ 今年度のアラートフォーラム  
・岡山市民会館にて開催。大学受験と重なりホテルが確保できないため2024年2月3日に変更している。多くの方にご参加をいただきたいと呼びかけ。  
登録料・懇親会キャンセル受付（開催2日前まで）についてと、今年度以降は準地区から開催地への振り込みをお願いすることを本日の理事会にて決定されたことが報告された。
- ⑥ その他  
・今後の災害に備え最善の努力をお願いする。災害時のアラート規約の確認と、お持ちでない場合は作成いただき、周知徹底をお願いしたい。

【質疑・要望・意見】

- ① 全国組織としてのアラート委員会の役割を分かりやすくしてほしい。本来であれば地区に設置をし、機敏性のある組織にすべきではないか？（渡邊ガバナー）  
→・問題点が組織にあったかどうかも含め大変不透明であったため、今年度は0から組織作りに全力投球を行っている。組織の情報の流れを迅速かつ分かりやすくすることや、組織自体をシンプルにし、問題点を解決していきたい。機敏性の高いアラート組織を作っていきたい。  
動きやすいアラート委員会を作るために意見があれば、どしどしいただきたい。
- ② 9/8のいわき市の台風時に、アラート委員会が勝手に動いて困った。  
アラート委員会が、ガバナーの了解なしに活動していた。  
ボランティアが必要なのに、緊急の必要のない場面で炊き出しばかりしていた。  
食中毒の発生の懸念もある。支援に来ていただいたことはありがたいがやはりガバナーを頂点として活動を行うべきであると思う。（門馬ガバナー）  
→・地区アラート委員長・ガバナーが中心となり動いていくことが重要と考えて

いる。ガバナー、議長の要望に応えることができるよう、委員会内で再度、申し合わせしていく。

- ③ 災害時の被害状況について地元のガバナーの意見も聞いてほしい。(石垣ガバナー)

→きちんと意見をきき、進めていく。

エ SON委員会 増澤専務より

・SONの説明と、11月18.19日 長野市での開催報告、今後の開催予定について

- ② 2/11、12 北海道、名寄市にて雪上競技

- ② 2/24、25 長野、氷上競技・閉会式

・広島大会では各クラブより5000円のご支援を頂いたが、今回はLCIFからの支援金を充てるため金銭のご支援は頂いていないが、ボランティアとしてご協力をいただいていることの報告。

【質疑・要望・意見】

- ① SONの開催について、今後の資金援助については決まっているか。(西村ガバナーより)

→・今回の開催について、SONにて開催のあり方を考えようという話になり、協力金の依頼を行わなかったというところもある。今後も同様にLCIFからの支援で開催を行うようになると現在のところは聞いている。

オ PRマーケティング委員会 (ライオン誌) 増澤専務

- ① 経費を節約しながら、紙ベースで年4回、WEB版を運営している。月1回編集会議を行い、取材や掲載記事についての検討を行っている。今回は経費削減と発行回数維持のため、取材地に近い各複合地区委員が取材を行うこととした。

・その他社団HPの更新、メールマガジン等活動報告があり、ライオン誌LINE登録が呼びかけられた。

カ 国際理事候補者資格審査委員会 (松本委員長)

- ① MD334 元議長 L仁科良三の審査を行い、国際理事推薦候補者としての資格を問題なく満たしていると決議した件の報告。

- ② 昨年度の名称変更を受け規約の改正についても会則委員会で進めていく。

キ YCE委員会 (吉村委員長)

- ① 2023年冬期から派遣を再開した件と人数の報告。

- ② 11/23 YCE実務者会議を開催した。



③ YCEの制服を変更する。ベストに変更する。

ベストの見本が示された。日の丸をイメージしたデザインにしたことや寄せ書きができるように白を基調としていることなど説明。2024年春から間に合うようにしたい。価格は6000円から7000円を予定している。

【質疑・要望・意見】

① 受入家庭マニュアル（330～337、統一マニュアル）がかなり古いので、新しいマニュアルを作成してはどうか。（北野ガバナー）

→・統一マニュアルを2～3年前に作成している。再度、早急に検討し、速やかに複合を通じて準地区へ提供したい。

ク ライオンズクエスト・薬物乱用防止委員会 玉川委員長

① 各地区委員会構成について各ガバナーへ質問。地区により、クエストと薬物乱用委員会の組織編成がまちまちである。アンケートをとって現状把握したい。

アンケートについては組織の統一を目的とするものでなく、あくまで現状把握のためである。

【質疑・要望・意見】

クエストに代わるような教育プログラムを各学校に提案してきている会社があり、ライオンズクエストと競合している。プログラムの見直しが必要なのは、→プログラムの内容については国際協会より JAID へ送られている。取り急ぎ現状把握を行いたい。

(3) 質疑、要望

ア 定款の社員の入社に関する規定について（山崎ガバナー）

定款第7条2項において、新入社員の承認は社員総会となっているが、内規第1条ではガバナーになった時点で選任されるものとなっている、整合性を持たすため、新入社員承認は理事会もしくは代表理事の承認とするなど、定款変更を含めて検討できないか、とのご提案。今後の理事会にて前向きに審議を行い、次回社員総会にてお諮りすることとする。

イ (一社) 日本ライオンズ役員のプロトコールはないのか？（三口ガバナー）

→・式典の際に困るという意見もあったため理事会で協議した結果、原則として、議長・元議長など公認プロトコールのとおりとなる。

ローカルプロトコールとして、日本ライオンズ理事長は、議長の上に設けさせて

いる。

エ (公財) 日本ライオンズの理事長のプロトコルをどうするかについて、総会の意見を聞きたい。決定は理事会となるが、その前に皆様の意見を聞くと本日の理事会にて申し合わせを行った。あくまで席次等決定のためのローカルプロトコルであることを念頭にご意見を頂きたい。(田名部理事長)

・先に不老理事長のお話を聞き、その後意見を募ったほうがいいのではという意件があり、後ほどご意見をいただくこととした。

→・不老理事長の活動報告後に改めて諮った結果、ローカルプロトコルとして記載することとし、ガバナーの総意で賛成を得たものとして認識させていただいた。この場で本件について理事の意見を諮り賛成多数で承認を得た。掲載順については会則委員会での協議内容を元にした松本会則委員長の提案により一社理事長の次に掲載する。

#### (4) 監事講評 (佐々木監事)

前回、今回と充実した会議ができています。皆様から意見が活発に寄せられ、頼もしく感じられました。

議長・ガバナーはライオンズという組織の中でみな仲間であり、上も下もない。今後とも、ライオニズムを十分に理解いただいたうえ、高揚に邁進していただきたい。

#### ケ その他

##### ① MD330の賛助会費について (田名部理事長)

・現在、未納である。一般社団法人法においては半期の納付がない場合は役職につくことができない。

日本ライオンズとしても MD330 と話し合いを重ねてきて、前向きに解決について進んでいるが、MD330から年次大会まで決議を行うことが困難であり、会費の準備ができていないという事務的な問題がある。

次の年次大会まで猶予してもらえないかとのMD330田中議長から申し出があったので、友愛と寛容の精神に基づき理事会でこれを了承としたことの報告があり、ガバナー各位の了承を得た。

・(公財) 日本ライオンズ 活動報告 公益財団法人日本ライオンズ不老理事長より

・公益財団立ち上げに至った経緯と、財団の主な事業について説明。

世界各国で自国のために財団を立ち上げている国が多くあり、日本としても有志が集まり

2020年5月12日に前身となる一般財団法人日本LCIFを結成。災害や児童養護施設への支援を行ってきたが、その後名称変更があり、2021年10月28日～31日に開催されたサンディエゴ国際理事会にて国際協会に承認される。現在は特別支援学級フットサル大会と、児童養護施設の学習支援に絞って活動しており、文部科学省に後援をいただくなど各所へご理解も頂いている。今後は人道支援や災害支援を行う予定である。

【質疑・要望・意見】

- ① (一社)日本ライオンズにおいて、今後のあり方、ルール等を定めていただきたい。協力金についても会員からのさらなる理解が必要であり、誰がコンセンサスを取り、運用の詳しい方法について明確にしてほしいことや、また一般社団法人日本ライオンズの立ち位置を明確にしてほしいという意見。

田名部理事長より、皆様と一緒に勉強し理解を含め、社団・財団と両輪として協力できるようにしていくと回答。

- ② 331-A設楽ガバナーより、地区での取り組みが紹介され、公益化の説明を受け、昨年度より財団の委員会を設け、協力金を含め活動していることが報告された。

・その他

- ・増澤専務理事より、日本ライオンズ事務所年末年始休暇についてのお知らせと、第3回(3月19日 火 東京)第4回(6月5日 水 東京)社員総会日程のお知らせ

以上

議事録作成人：

常務理事	田中 雄一
常務理事	中谷 豊重
事務局補佐	菅原 孝明

議事録署名人：

一般社団法人日本ライオンズ理事長	田名部智之【押印省略】
334-E 地区ガバナー	喜多 友一【押印省略】
336-B 地区ガバナー	藤井 信英【押印省略】



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2 - 4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-執 M 3 >

(2023-2024 年度)

一般社団法人日本ライオンズ 23-24 年度第 3 回理事会 議事要録

開催日時：2023 年 9 月 14 日(木)13：30-16：00

場 所：北海道岩見沢市 ホテルサンプラザ

出席者：

理事長	田名部 智之	(八戸)	理事 (一般財団法人日本ライオンズ理事長)
副理事長	池原 堅	(福山久松)	不老 安正 (大宰府) 【欠席】
副理事長	松浦 淳一	(岩見沢はまなす)	理事
専務理事	増澤 義治	(諏訪湖)	(一般社団法人日本ライオンズ前理事長)
			村木 秀之 (東京数寄屋橋)
常務理事	田中 雄一	(狭山) 【欠席】	
常務理事	栗村 安弘	(大船渡)	監事 今井 文彦 (東京巢鴨) 【欠席】
常務理事	星野 勝美	(太田) 【欠席】	監事 佐々木 忠康 (小樽)
常務理事	戸祭 宏樹	(鯖江王山)	監事 橋本 勝策 (焼津)
常務理事	中谷 豊重	(岸和田)	監事 岡村 聖爾 (下関) 【欠席】
常務理事	澤 辰水	(下関)	
			<u>オブザーバー：</u>
常務理事	新里 正雄	(沖縄) 【欠席】	法律顧問
			池田 和司 (東京桜門) 【欠席】
理事	吉本 晴夫	(藤沢中央) 【欠席】	会計顧問
理事	須藤 敏幸	(伊達)	吉田 宗一郎(東京武蔵野) 【欠席】
理事	松本 宰司	(南房総) 【欠席】	事務局長補佐
理事	吉村 弘吉	(和歌山) 【WEB】	菅原 孝明 (八戸)
理事	玉川 孝	(熊本葵) 【欠席】	

以上



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-執M3>

## 1. 出席者確認・本日の進行について

進行：23-24年度 増澤義治専務理事

田名部理事長挨拶 本年度理事会はガバナーと密に意思疎通を図るために12回開催、開催地は前年度に引き続き持ち回りとする。前回の執行理事会で承認を得た八戸ライオンズクラブ 菅原孝明を理事長補佐、事務局長補佐として承認を頂きたい。(承認を得たので今後は、議事録作成を中心に行っていく。)

## 2. 議事録作成人の指名：事務局長補佐 菅原

## 3. 参加者ご挨拶

・22-23年度理事長 村木 秀之

日本ライオンズの理事会で全てが決まるのではなく、各複合地区に持ち帰っていただき更に準地区にてお伝えいただく事が日本ライオンズの進むべき道であり、田名部理事長がやられようとしている事である。

## 4. 本日の議案について：

### ①LCIF公式訪問について

・増澤専務理事より説明とLCIF理事長公式訪問日程の確認。

9/15札幌、9/18京都

・増澤専務理事より第3回執行理事会において確認事項としていた、福岡、名古屋、東京で行われるAPシン第2副国際会長によるミッション1.5セミナーの件、各複合からの会場への参加予定人数が報告された。

福岡担当地区 335から21名 336、337、未定

名古屋担当地区 334、335から120名

東京担当地区 330から333から174名

より多くの方へ参加していただきたい旨の呼びかけがあり。

・前回執行理事会にて戸祭常務理事より発言のあった、ミッション1.5セミナーの名古屋ハイブリッド対応についてはOSEAL調整事務局へ確認した結果開催決定とし、WEB参加者が有るかの確認とアドレスの発信を各複合に行っていくことを確認した。

・増澤専務理事よりファブリシオ第1副国際会長来日希望の件、こちらからの希望としては就任後来日とするが、先方が来たいという場合は対応が必要となるので、LCIからの情報を待ち、今後の執行理事会で話をさせて頂くとの報告がされた。

・須藤理事よりLCIF公式訪問についてパターンのようなものが有るかとの質問があった。

これにつき増澤専務理事より説明、こちらから依頼をする場合は就任後とし、国際会長、LCIF理事長は基本的に公式訪問している。今回のセミナーによる来日は公式訪問にカウントしないものと認識している。

### ②スペシャルオリンピックス日本 長野・北海道での開催について



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-執M3>

- ・増澤専務理事より説明、今回はLCIFよりSO予算(30万ドル)が当てられており、その中から日本開催分の経費は賄えるため、昨年の広島のように各クラブから5,000円の協力金のお願いの様なことではない。但し、大会のボランティアに対する募集について力を入れて頂ければありがたい。加えて、SO選手と近隣クラブとの交流に協力頂きたい旨話が来ていると報告があった。

### ③マニラ・フォーラムについて

- ・増澤専務理事より登録人数について説明、8月31日時点の数字しか出ていない。目標数(2190名)に向けてご協力いただきたい。フォーラム委員長・マイケルソーPIDからの依頼として韓国の数字だけは抜きたいとの事、各複合にてご協力をお願いしたい旨説明があった。
- ・田名部理事長より国際大会委員会の報告、現在登録数600名と聞いているがそれでも1500程足りない。公式のツアーが決定していないなど各複合にて作業的な部分が遅れている印象、各会員の判断が鈍るので急ぐ必要がある。今回のオセアルフォーラムは、来年の札幌大会を控えていることから登録にご協力をお願いしたい旨報告があった。
- ・増澤専務理事より登録料の払い方について報告があった。現金での支払いを求められたが、税関の問題や、支払い履歴を担保する観点から振り込みとしたいため口座を作ってくださいようお願いするつもりである旨の説明があった。

### ④MD330から提出された文書について

- ・増澤専務理事より説明、要請事項が5つあり、要望事項1・2・3の3つに関しては回答を求められており、4・5については後日でよいと記載されている。これらを理事会において明確な回答を出せる状況はないと思っている。会費については規約で金額や納入についてきちんと決められているが、年次大会にて一応は採決されていることからもう一度MD330で代議員総会を開き当該採決を無かったことにして納入して頂く方向にして頂かなくてはいけないが、2,3についてはライオン誌についてである。これについては各顧問、社労士、過去お勤めの方の話を聞き資料を作成中である。これについては一同にそろった状態で話さなければ火種となる為、留意することが必要。ライオン誌検討委員会にて各人がしっかりと統一見解として複合地区にて通せるようにしなければならない。
- ・田名部理事長より説明、要請事項1についてこの内容の通りとは思っていない。仕組みとして年12回理事会を開催し、ガバナーと議長の対話の時間を持っていて、本理事会の決定事項でもってガバナーに押し付けるという事をやっていないという仕組みを理解してもらおう事で誤解は解けるはずである。  
要請事項2,3については、社団規約が各複合、地区の規約とずれがあることが判明したことから、ライオン誌検討委員会をオールスターでしっかりと開催してこの問題を解決していく事で信用を得ることが必要である。MD330にはこの仕組みを説明する必要



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-執M3>

がある。又、ライオン誌の会計を別にすべきと要望があるが、そうではなく社団の内のライオン誌について全ての予算、経費等をしっかりと示すことで理解を得る事ができるものと思っている。要請事項4についても、現役国際理事に協力を頂き国際理事会で確認をいただき、統一見解を待つことが良いかと思えます。要請事項5については執行部にて取りまとめ理事会を経てお示し出来ることと思っている。要請事項1も同様である。このやり方でよいかの承認を本理事会で承認を得たい旨諮り承認を得た。

- ・栗村常務理事より発言あり、理事会の二回に一回は検討委員会の報告があってはいかかか。
- ・増澤専務理事より説明、二回目の検討委員会の計画をしているが、ライオン誌側の人数が少なかったため同数にするよう努め、公平性や透明性を担保したい。半期で解決していきたい。
- ・戸祭常務理事より発言、委員をもう決めていかなければならないのでは
- ・田名部理事長より検討委員案説明、今般の件にはいくつかのターニングポイントがあるが、社団側は当時の社団から藤川専務理事など、現理事長含め6名程、ライオン誌委員長、編集長または長く携わっていた方などで社団と同数になるよう調整してはどうか。また、現国際理事3名も重要である。これで承認を得たい旨諮り、承認を得た。
- ・村木理事より検討委員会について発言、2億2千万の件は識名理事長が再任時にライオン誌として一般会計に上がったと記憶しているので、藤川専務理事とのお二方にお聞きするのがよろしいのかと思う。加えて、330からなぜこのような文書が出たのかも含め今後精査すれば出てくるかと思うので、ご迷惑をお掛けしますがよろしくお願い致します。
- ・中谷常務理事から発言、社団がライオン誌のお金を使っている旨の話が上がってしまっているためしっかりとエビデンスを示すべき。
- ・増澤専務理事より説明、その件については2015年から8年間の経費を精査している。様々な間接経費を入れると2億以上の経費が出ている模様である。その辺を丁寧に一覧で示せるようにしていく。
- ・田名部理事長より発言、エビデンスを示そうとも話は並行するとみている。その際に、折衷案を準備して丁寧に対応すべき。検討委員会が全てではなく、議長の皆さんが全てですので議長、ガバナーの皆さんが理解し総会で決議頂けば本年度に形ができるのでその為の資料を作成していく。
- ・須藤理事より発言、80円はライオン誌への一般会員からの思いであることに留意しなければ並行線のままであろう。そのためには、理事長の言うとおりに明々白々とすべき。
- ・栗村常務理事より質問、2015年以前のライオン誌会計は発行したうえで剰余金が出ていたという認識でよいか。加えて、2016年以降の会計の流れを丁寧に説明すべき。
- ・増澤専務理事より回答、当時の会計を8複合連絡協議会で開示を求めたが、当時の顧問弁護士に拒否された経緯がある事を説明され、当時は6ドルの援助金が入っていた為剩



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-執M3>

余金が出ていた旨回答する。その援助金は下がってきたため現在はマイナスになっている旨を説明した。

#### ⑤ライオン誌委員会について

##### ・田名部理事長より現状説明

ライオン誌委員会には3人の長（編集長 委員長 日本ライオンズ PR マーケティング委員長）があり、編集長は編集の責任者なので問題ないが、ライオン誌委員長・PR マーケティング委員長については2重構造となってしまっており、去年トラブルになった原因である。他の委員会は前議長（委員長）、現議長（副委員長）で統一されているが、ライオン誌委員会のみ委員にとどまっている。今季は日本ライオンズ PR マーケティング委員長と一本化する予定であったが、第一回ライオン誌委員会において多数決と根回しでライオン誌委員長を決めてしまい、結果として今期も2重構造になってしまった。

社団のルールには違反しており許したくはないが、ライオン誌委員会の本来の目的である編集についての会議時間が短くなってしまうため、会議内では苦言は呈したがあえて強硬には反対していない。編集においては独立性を保つことは結構な事だが、組織上の独立性では無い。ライオン誌検討委員会の中で、正していく予定である。

・増澤専務理事より発言、議長の中で統一見解を本理事会で持ったことを確認し、次年度以降その方向性で行くこととなる旨説明した。

・増澤専務理事よりライオン誌取材における交通費支給について、すでに設置されている複合地区委員を活用すれば経費削減となる。交通費支給についてガバナー協議会にてガバナーにご協力いただけるかお話をして頂きたい。

採決は各 DG への説明の後とする。

#### ⑥会則委員会について（学生会員会費）

・増澤専務理事より説明、学生会員 賛助会費の件について会則委員長からの要望について各複合地区により異なっていると思うが日本ライオンズとして方向性を統一しなければならない。80円の賛助会費を免除するかどうか各議長 地区ガバナーより学生会員はいるのか、現在賛助会費についてどうなっているのかの意見を聞いて頂くようお願いした。

その結果で、次回下関での理事会にて決定していきたい。

#### ⑦一般財団法人日本ライオンズについて

・田名部理事長より、一般財団法人日本ライオンズ 不老理事長より公益化について相





一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-執M3>

談があった旨が報告される。現在、公益化への課題として安定した収入の確保があり、相談を頂いている。一部の人間からの巨額の寄付だけでは公益法人化は難しいのではないかと指摘されているようだ。よって、広く浅く集めることもライオンズとして可能ではないかと当局から言われている。

公益化については長い目で見ると、将来的に日本のライオンズにとって日本のLCIFと位置づけ、財団を利用した災害支援やアクティビティを行うなどメリットになる。前向きに考えていく事はいいのではないかと意見があった。

・増澤専務理事より国際協会からの認可についての発言、一社・一財について国際協会からの認可について疑問が出ているので確認したが、財団については承認の一文がある。一社については見つけられないので確認してみるとの事。又、不老理事長が出席の際にはご発言を頂く旨説明があった。

一財への協力については、地区ガバナーと話していただく。

#### ⑧国際理事と一社ライオンズとのコミュニケーションについて

- ・田名部理事長より説明があった、今年度から現職国際理事は理事として含めないこととしたが、国際レベルの全般的な議題（国際役員の公式訪問、会則関係、会員増強関係、大会関係など）を知る機会が無くなり世界レベルの情報においての支障が出ている。その負の部分の払拭するアイデアを頂戴したい旨の話があった。
- ・増澤専務理事より説明、国際理事が一社にいないという事の弊害が出てきている。何かあった場合オセアル事務局から各複合には発信があるが、日本ライオンズには一切ない。この様な負の部分がある件について懇談会を開催するなど、皆様から意見を頂戴し改善する方向で発信し、今後の理事会に反映していきたい旨説明があった。
- ・池原副理事長より発言あり、そもそもオセアル調整事務局は社団と国際理事との関係如何によらず情報は下ろすべきである。このように組織的な問題があるようだとの意見。
- ・須藤理事より発言、現職国際理事には組織上何らかの形で関わって頂く必要がある。日本ライオンズとしてお願いをする必要があるのではないか。今後執行理事会で意見を出していきたいと思う。
- ・栗村常務理事より発言、国際理事は社団との関係如何によらず情報は下ろすべき立場ではないかとの意見。
- ・戸祭常務理事より発言、12回理事会があるのでたまに呼んではどうか。
- ・中谷常務理事から発言、今期ミッション1.5についての議論等が社団では全くな



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-執M3>

い件が、皆さんに社団と国際協会の縦の関係について心配させているのではないか。

その後OSEAL調整事務局とのコミュニケーションも課題であるという意見が出、どのような情報の流れを作っていくかについて地区ガバナーと話していただいた上フィードバックをいただきたいと呼びかけがあった。

#### ⑨前回からの継続審議事項について

##### ・旅費規程の変更について

・増澤専務理事より説明、現在滞っている旅費に関しては28日前の航空券の計算でやる旨を諮り承認を得た。ライオン誌委員会の旅費がプールではなく社団から支払いをしている件や、今後の交通費支給について、地区ガバナーからの意見をフィードバックしてほしい。

##### ・コンプライアンス委員会立ち上げについて

・増澤専務理事より説明、理事会内委員会で検討いただく旨を諮り承認を得る。

#### ⑩LCIFよりハワイ山火事・モロッコ地震支援協力依頼について

・増澤専務理事より説明、この件については既にオセアル事務局より発信されている会員一人あたり1,000円を一か月以内にお願ひしたい。文章については複合と各地区に行っているの確認願ひたい。

#### ⑪役員必携発行について

・中谷常務理事から報告、配布価格についてこの理事会で決定してほしい旨委員長より指示があったとの報告。単価600円で決定した。

### 3. 各種報告事項

直近で開催された会議について、各委員長より報告があった。

- ・YCE委員会より、YCE委員の制服について説明があった。ベストを作成することとなった。5,000円で作成出来る旨報告があった。業者未定
- ・アラート委員会より、第一回アラート委員会の報告があった。アラート災害任意規則（案）があるが、案は削除願ひたい。
- ・国際大会委員会より、OSEALフォーラムについて

#### ① 早期登録 (USD130) の締め切り日の延長(日本向け特別待遇)

2023年8月31日 → 9月30日まで

#### ② 登録料と支払方法について

A,8月31日迄の登録数申し込み及び送金 早期登録料金 (US\$130) 適用  
1名 18,500円



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-執M3>

B.9月1日~30日迄の登録申し込み及び送金

早期登録料金 (US\$130) 適用

1名 19,000円

最低でも2,000に行くようご尽力いただきたい。

メルボルン大会について

MD公式ツアー1社を決めて頂く(議長決定事項)

6月23日7:00~代議員朝食会を予定している

#### 4. その他報告事項

次回開催予定会議についての日程確認。現時点では以下の通り。

・次回執行理事会・理事会開催予定

10/3 (火) 第3回執行理事会ハイブリッド

10/11 (水) 第4回理事会 (下関)

11/7 (火) 第4回執行理事会ハイブリッド

11/15 (水) 第5回理事会 (大阪)

以上

2023年9月14日

議事録署名人

一般社団法人日本ライオンズ

理事長 田名部 智之 【押印省略】

監事 佐々木 忠康 【押印省略】

監事 橋本 勝策 【押印省略】

(2023-2024 年度)

一般社団法人日本ライオンズ 23-24 年度第 4 回理事会 議事要録

開催日時：2023 年 10 月 11 日(木)13：30-16：30

場 所：山口県下関市

出席者：

理事長	田名部 智之 (八戸)	理事 (一般財団法人日本ライオンズ理事長)
副理事長	池原 堅 (福山久松)	注：11/1 より公益財団法人日本ライオンズ理事長
副理事長	松浦 淳一(岩見沢はまなす)	不老 安正 (大宰府)
専務理事	増澤 義治 (諏訪湖)	理事
		(一般社団法人日本ライオンズ前理事長)
常務理事	田中 雄一(狭山) 【欠席】	村木 秀之 (東京数寄屋橋)
常務理事	栗村 安弘(大船渡) 【欠席】	
常務理事	星野 勝美(太田)	監事 今井 文彦 (東京巣鴨) 【WEB】
常務理事	戸祭 宏樹(鯖江王山)	監事 佐々木 忠康 (小樽) 【WEB】
常務理事	中谷 豊重(岸和田)	監事 橋本 勝策 (焼津)
常務理事	澤 辰水(下関)	監事 岡村 聖爾 (下関)
常務理事	新里 正雄(沖縄)	
理事	吉本 晴夫(藤沢中央)	<u>オブザーバー：</u>
理事	須藤 敏幸(伊達)	事務局補佐
理事	松本 宰司(南房総)	菅原 孝明 (八戸)
理事	吉村 弘吉(和歌山)	法律顧問
理事	玉川 孝(熊本葵)	池田 和司 (東京桜門) 【欠席】
		会計顧問
		吉田 宗一郎(東京武蔵野) 【WEB】

以上

## 1. 出席者確認・本日の進行について

進行：23-24年度 増澤義治専務理事

## 2. 議事録作成人の指名：事務局補佐 菅原

## 3. 参加者ご挨拶

- ・一般財団法人日本ライオンズ理事長 不老 安正
- ・22-23年度理事長 村木 秀之

## 4. 本日の議案について：

### ①学生会員の賛助会費免除について

・増澤専務理事より説明と執行理事会において学生会員の会費免除の見解で一致したことの確認。レオについては今後の検討事項とし、学生会員の賛助会費免除について採決。

→賛成多数で可決。

### ②ミッション1.5 報告用フォームについて

- ・中谷常務理事より335にて作成された報告フォームについて説明があり。

ミッション1.5の月次報告で335複合地区が使用するグーグルフォームを全国レベルでも使用しようと小川エリアリーダーが検討されており、当該報告フォームを使用することについて、社団理事会においての承認について採決。

→賛成多数で可決。但し、8複合に向ける発信や運用については小川・松岡両エリアリーダーに一任する。

### ③旅費規程の変更について

・増澤専務理事より説明と、航空運賃については執行理事会において価格表の中央値とする意見で一致したことの確認。執行理事会においての当該案について採決

→賛成多数で可決

### ④MD330への回答について

・田名部理事長より旧回答案（資料青色）と最新の回答案について説明があり各要請事項への回答について採決を取った。

要請事項1の回答。原案より今後の部分を削除して決定の採決。

→賛成多数で可決。

要請事項2の回答。原則、旧回答案を採用することの採決。（一部修正含む）

→賛成多数で可決。

要請事項3の回答。増澤専務理事より会計処理を統合したことによる余剰金、人件費、運営費、等につき説明があり、回答案については統一見解、賛助会費80円である旨を確認、再度変更し図る旨の説明があった。岡村監事からは、会計監査はきちんと行われていると発言があった。

要請事項4の回答 旧回答案を採用する事の採決。尚、ライオン誌の独立性とは編集に

ついでのみである旨の社団統一見解を確認し、干渉が行われていない旨を掲載する。

→賛成多数で可決

要請事項5の回答。原則、旧回答案を採用することとし、訂正は行わないことを採決。  
尚、330の賛助会費未納については当初12月中には全額支払う予定であったが代議員会の開催について時間と予算の問題があり、1月以降になる可能性が有るとの事について  
MD330 議長田中常務理事より連絡があった件が理事長より報告され、了承頂く件も採決。

→賛成多数で可決。

⑤OSEALフォーラム規則の改正案について

・増澤専務理事より主にステアリング委員会構成についての規則修正の説明と、議長・ガバナーへのオセアルフォーラムでの会議参加へのお願い。改正案（原案のとおり）について採決。

→賛成多数で可決。

⑥メルボルン国際大会について

・国際大会委員長・吉村理事よりLCI国際大会員会の説明があった。日本のツアーバスの問題があり指摘を受けた事の報告、各MD議長による速やかな公認ツアーコーディネーター

(MDTC)の承認のお願いがあった。また公認TCの中から幹事TCとして、MD335TCである(株)JTB 大阪第二事業部 沼間氏が選出された件の報告と、公認TCが押さえたホテルを利用するようお願いがあった。

⑦緊急アラート災害支援運営規則 改正案について

・アラート委員長・池原副理事長より説明、アラートの問題点として委員との意思疎通と、コンセンサスに問題がある点と、組織構成については会議不足であると報告。

詳細について打合せを見直ししており、シンプルなくみを目指している。10月26日に臨時アラート委員会開催予定。

⑧国際理事・OSEAL事務局とのコミュニケーションについて

・増澤専務理事より説明、今回は進展がない為審議報告なし

⑨一般財団法人日本ライオンズについて

一般財団法人日本ライオンズ理事長 不老理事より説明、去る 2021 年 10 月にサンディエゴで開催された国際理事会において、財団が正式に承認されている件の報告、内閣府公益財団法人の認定手続きを開始した旨説明と、フットサル・寺子屋事業の説明をされた。公益化には定期的な収入が必要である事(会員負担)皆さんの理解を得ていきたい旨の説明をされた。

注： 11/1 付で内閣府より認定され、公益財団日本ライオンズとなりました。

協力金 1000 円については地区へ持ち帰り、ガバナーと話をさせていただく。

⑩12/6開催 第2回定時社員総会への審議対象議案について

・増澤専務理事より説明、現時点では今回の審議事項はなし。

11/15 第5回理事会で社員総会について審議する予定。

### 3. 各種報告事項(直近に開催された会議報告)

・直近で開催された会議について、各委員長より報告があった。

YCE委員会報告 ライオン誌委員会	吉村理事より説明 増澤専務理事より説明	派遣数の報告37派遣47人の報告 委員長より委員会会計についての質問があった。予算計上し運営するべきとの考えを示した。
国際大会委員会	吉村理事より	第60回オセアルフォーラムで予定されていた日本のレセプションの開催は無し。議長、ガバナーは毎朝開催される会議に出るようお願いがあった。
会則委員会	松本委員長より	コンプライアンス委員会について、総務人事委員会内で運営を行うことについて報告があり、決議の結果全員の承認を得た。

### 4. その他報告事項

次回開催予定会議についての日程確認。現時点では以下の通り。

・次回執行理事会・理事会開催予定

11/7 (火) 第4回執行理事会 WEB

11/15 (水) 第5回理事会(大阪・AP 大阪駅前)

12/6 (水) 第6回理事会・第2回定時社員総会(東京・AP日本橋)

監事より講評

・岡村監事より

下関へお越しいただいたことへのお礼。

MD330 賛助会費問題については本筋を曲げないよう、解決をお願いします。

ライオン誌問題について、くれぐれもあまり妥協しないように日本ライオンズとしての公式の地位を守ってほしい。

公益財団法人日本ライオンズについてはMD336では決議がされておらず、他の地区も決議されているところとされていないところがある。

国際協会より認可を受けているという文章をあげていただき、財団の在り方や協力について各複合年次大会にかけていただくのがよいのではと思う。

以上

2023年10月11日

議事録作成人 事務局補佐 菅原 孝明

議事録署名人

一般社団法人日本ライオンズ

理事長 田名部 智之 【押印省略】

監事 今井 文彦 【押印省略】

監事 佐々木 忠康 【押印省略】

監事 橋本 勝策 【押印省略】

監事 岡村 聖爾 【押印省略】



(2023-2024 年度)

一般社団法人日本ライオンズ 23-24 年度第 5 回理事会 議事要録

開催日時：2023 年 11 月 15 日(水)13：30-16：30

場 所：大阪府 AP 大阪駅前

出席者：

理事長	田名部 智之 (八戸)	理事 (公益財団法人日本ライオンズ理事長)
副理事長	池原 堅 (福山久松)	不老 安正 (大幸府) 【欠席】
副理事長	松浦 淳一(岩見沢はまなす)	理事
専務理事	増澤 義治 (諏訪湖)	(一般社団法人日本ライオンズ前理事長)
		村木 秀之 (東京数寄屋橋)
常務理事	田中 雄一(狭山) 【WEB】	監事 今井 文彦 (東京巣鴨) 【WEB】
常務理事	栗村 安弘(大船渡) 【WEB】	監事 佐々木 忠康 (小樽) 【WEB】
常務理事	星野 勝美(太田)	監事 橋本 勝策 (焼津)
常務理事	戸祭 宏樹(鯖江王山)	監事 岡村 聖爾 (下関)
常務理事	中谷 豊重(岸和田)	
常務理事	澤 辰水(下関)	
常務理事	新里 正雄(沖縄)	
		<u>オブザーバー：</u>
理事	吉本 晴夫(藤沢中央)	事務局補佐
理事	須藤 敏幸(伊達)	菅原 孝明 (八戸)
理事	松本 宰司(南房総)	法律顧問
理事	吉村 弘吉(和歌山)	池田 和司 (東京桜門) 【欠席】
理事	玉川 孝(熊本葵) 【欠席】	会計顧問
		吉田 宗一郎(東京武蔵野) 【WEB】

以上

1. 出席者確認・本日の進行について

進行：23-24年度 増澤義治専務理事

2. 議事録作成人の指名：事務局補佐 菅原孝明様

3. 参加者ご挨拶

・22-23年度理事長 村木秀之

4. 本日の議案について：

◆10/11 第3回執行理事会（WEB）からの継続協議事項

①公益財団法人 日本ライオンズ 公益認定の確認

協力金についてはさらなる協議が必要のため、公益認定書類の確認と、日本ライオンズ事務局内の公益財団法人日本ライオンズ事務スペース工事が事務長立ち会いの元、無事完了した件の報告。

②第2回定時社員総会 開催について

2023年12月6日（水）13：30～16：00 AP日本橋にて対面で開催と参加予定者（当法人の正社員55名・法律顧問・会計顧問）について承認を得た。国際理事の皆さんとGATリーダーについて、今回はお呼びしない。別日程で意見交換会の開催を予定。

◆その他追加協議・確認事項

①会則関係

・家族会員の件およびレオライオンの賛助会費について

→特典会員（旧割引会員）について、賛助会費はいただかない。

賛成多数にて理事会決議として総会に送る。

・社団構成員のプロトコールについて

→社団の理事長のプロトコールを議長の上に盛り込みたい。

→あくまでも会議進行等のためのローカルプロトコールとしての記載であり、社団が複合地区の上というわけではない。

→今回は理事長だけを掲載することが賛成多数で承認。

次期理事長は、理事や特に専務理事の立ち位置を変えていくよう引っ張ってほしい。LCIへ社団を認めさせる一歩としたい。

・コンプライアンス委員会について

→総務委員会の中で立ち上げてほしいので下準備として継続審議として、委員会から具体的な文章が来たら次回の理事会に出すので今回は決を採らない。

・一般社団法人日本ライオンズ 監事の人数について

→各複合地区はある意味最高の団体であるため各複合から監事を出すべき。1複合1000万単位で社団に会費を納めることになり、複合年次大会にて報告できる。

→前回の執行理事会で池田法律顧問より団体の規模・理事の人数を考えると監事8名は多いと意見あり。

→会則委員会を中心として採んでほしいので継続審議とする。

・ライオンズ必携第 61 版発行について

→ポストン国際大会にて会則の変更が多く出た。

→歴代ガバナーのページを省略し、年表を 3 ページに簡略化する。

→国際理事候補者関係について

国際理事資格審査委員会の名称変更に伴う内容の変更について、本体は複合地区年次大会で決議が必要だが今回は発行に間に合わないため（案）として掲載。

新旧対照表を複合年次大会で事後報告であるが決議してほしい。

→非常にタイトなスケジュールですが丁寧にやるので手元に届き次第速やかに確認してほしい。間に合わなければ臨時理事会を開催。

②マニラ・フォーラムでの決議事項の確認

資料3参照

→OSEALフォーラム ステアリング委員会の参加人数がいままでは理事長のみだったが次回より議長4名と理事長の計5名に増えることもあり、参加者を選ぶ必要があるため今年度・次年度の引き継ぎ会をなるべく早く開催する。

③アラート委員会関係

・アラートフォーラム岡山開催について

2024年2月24日 岡山市民会館 最大約700名（500名予定） 登録締め切り1月25日  
登録料：フォーラム2,000円/人、懇親会8,000円/人 振込先：MD336の口座  
主催：（一社）日本ライオンズ 大会委員長：MD336の委員長  
→アラートフォーラム組織図については、第3回社員総会にて正式に報告する。

④総務人事関係

鬼塚さんを派遣社員から正社員へ。全員一致により承認された。

⑤第2回社員総会での審議事項について

審議事項は無い。説明事項とその他事項で決して社団は上から話をする組織ではなく、広くガバナー・議長と話し合いをして、意見を吸い上げつつ運営を進めていることを伝えたい。（全員賛成）

理事会の中で決定したものを報告する。四半期の決算が今回間に合わないと思う。今日皆さんにご承認頂いた分は、社員総会の中で各ガバナーへ提示し承認いただき、ご報告となる。

・賛助会員の会費の話題の中でキャンパスクラブの話題が出たが、会則委員長より、特典会員

(旧割引会員)については無料でよいのではと見解が示された。

#### ⑥事務所会議室利用について

##### 資料5 参照

新事務所の法人管理外の会議が増加。現状は先着順、所定の利用申請書を提出し利用。

申請書には参加人数や対面 web ハイブリッドなど開催形式を明記、web 会議利用の際はどこまで法人側に依頼されるかによって職員の負担が重くなる。付随する処理としてウェブ会議出欠取りまとめ法人のズーム利用の場合、接続先案内と出欠取りまとめまでを依頼するのか、またその会議が開始されるまでフォローしなければならないのか。できれば。借りる方が各自行ってほしい。対面については従来通り、基本的に利用者の方で会議運営準備を整えてもらう。資料の事前準備配布追加の場合は、事務所でコピーを無料で利用可能。職員に資料の引き出しやコピーは受けない、会議中のお茶提供はしない。室内にサービスコーナーを設けて各自自由に利用できるようにする。現状としては、ペットボトルお茶、また水の持ち込みは可能。今後、法人関連の対面会議中には持ち込みか実費を出してもらうようお願いをしていく。会議室の利用料は近隣の公共施設等の料金を考慮し、基本的に3時間単位で3000円位を予定。会議室の予約は日本ライオンズ関係のみとし、原則法人会議優先(理事会・執行理事会・委員会)。開催の申請書へ使用者の個人名を記載、後々問題が起こらないようにする。

金額、利用方法等は総務人事委員会にて協議し、理事会へ上程予定。

#### ⑦その他

→日本ライオンズ、OSEAL調整事務局と擦り合わせを行って頂きたい。GMT・FWTなど指示が複合に来ておらず、GETやミッション1.5関係も連絡がない場合があり一部コーディネーターから苦言あり。

各コーディネーター、議長との摺り合わせが社団の役割だが今期は組織改革に注力している。来期以降は、社団がその調整力を高めるべき。

→12/6社員総会にWEB参加は無いか。1副、2副もオブザーバー参加させては。

総会は基本対面での参加をお願いするが、どうしても対面参加できない場合はWEBも用意する。

1副、2副もオブザーバー参加は協議事項とする。

→メルボルン大会早期登録料設定はどうなっているのか、社団でとりまとめは無いか。

国際協会は個人参加でもよいとなっている。しかし、日本としては、できるだけ日本のライオンがまとまって行動したいということで、いわゆる公認トラベルコーディネーター（公認TC）制度がある。そこに国際大会委員会で決定した、日本として使用するホテルを部屋の確保をお願いしてまとめて登録しているという形を取りたい。しかし、現実可能なかどうかは、国際協会の動きを見ながらやってみないと分からない。ただ、日本のホテルがある程度確定した後、国際協会の方からそこにシャトルバスを回していただければ、公認TCが個別でバスを手配する必要がなくなり、ツアー参加時の旅行料金もずいぶん安くなるのではないかという方向に動いています。ですから、基本的に日本では登録は準地区それから複合という形で登録をまとめていただきたい。代議員会だけは社団でまとめる。

・会員同士のトラブルの事例が報告され、ライオンズ会員としてふさわしい行動をとっていかなければ世間から認められなくなってしまうとし、社団としても一人一人が自覚を持ち誠心誠意行動していくことや、コンプライアンス委員会立ち上げ時の運営方法が協議された。

→札幌で開催されるOSEALフォーラム2025について、OEC役員が会場とホテルを視察し、プレゼンを行った。規模は1万2千、会場のコンセプトに承認を得た。又、2030年国際大会に札幌市が立候補する予定である。現在ホテル等（約3000室）調整を行っている。

→役員必携には会員種別ごとに投票時の代議員数算出の分母に入れる・入れない、の区分があるが、今回のライオンズ必携にも同様の表が入っているので参考にしてほしい。

→次回執行理事会・理事会開催予定

12/6（水） 第6回理事会・第2回定時社員総会（東京・AP日本橋）

### 3. 各種報告事項（直近に開催された会議報告）

協議事項内で報告されたため、省略

### 4. その他報告事項

・監事より総括

・橋本監事より

→よい会議であったと思う。本日の内容を各複合に持ち帰り、しっかりとご説明頂きたい。それが議長の役目である。実行力を持っていただきたい。

・岡村監事より

→プロトコールについては毎回話がでるが今回の決定でよろしいと思う。監事の増員については8人では多すぎる、業務内容的に不要ではと考える。ライオンズ必携について、年表のガバナ一名を削除するとクレームが出る可能性が高いため、慎重に行った方が良いと思われる。

・今井監事より

→丁寧に皆さんに納得していただきたいという姿勢すごくわかった。本当に良い方法でやられていると思う。監事としてもさらに力を入れていきたい。ライオンズクラブはちゃんと奉仕活動してgood standingであるべき。

・佐々木監事より

→ガバナー・議長を選ぶには特に地区に資する人を出してほしいということを優先すべき。従ってその時に自分の自己紹介の履歴があるが、その懲罰のところに書かない限りは絶対にこれは審議される。是非、懲罰欄に記入をさせ事実関係を可視化した方が良いと思う。

以上

2023年11月15日

議事録作成人 事務局補佐 菅原 孝明

議事録署名人

一般社団法人日本ライオンズ

理事長 田名部 智之 【押印省略】

監事 今井 文彦 【押印省略】

監事 佐々木 忠康 【押印省略】

監事 橋本 勝策 【押印省略】

監事 岡村 聖爾 【押印省略】

(2023-2024 年度)

一般社団法人日本ライオンズ 23-24 年度第 5 回理事会 議事要録

12.22 訂正版

開催日時：2023 年 11 月 15 日(水)13：30-16：30

場 所：大阪府 AP 大阪駅前

出席者：

理事長	田名部 智之(八戸)	理事(公益財団法人日本ライオンズ理事長)
副理事長	池原 堅(福山久松)	不老 安正(大幸府)【欠席】
副理事長	松浦 淳一(岩見沢はまなす)	理事
専務理事	増澤 義治(諏訪湖)	(一般社団法人日本ライオンズ前理事長)
		村木 秀之(東京数寄屋橋)
常務理事	田中 雄一(狭山)【WEB】	
常務理事	栗村 安弘(大船渡)【WEB】	監事 今井 文彦(東京巣鴨)【WEB】
常務理事	星野 勝美(太田)	監事 佐々木 忠康(小樽)【WEB】
常務理事	戸祭 宏樹(鯖江王山)	監事 橋本 勝策(焼津)
常務理事	中谷 豊重(岸和田)	監事 岡村 聖爾(下関)
常務理事	澤 辰水(下関)	
常務理事	新里 正雄(沖縄)	<u>オブザーバー：</u>
		事務局補佐
理事	吉本 晴夫(藤沢中央)	菅原 孝明(八戸)
理事	須藤 敏幸(伊達)	法律顧問
理事	松本 宰司(南房総)	池田 和司(東京桜門)【欠席】
理事	吉村 弘吉(和歌山)	会計顧問
理事	玉川 孝(熊本葵)【欠席】	吉田 宗一郎(東京武蔵野)【WEB】

以上

1. 出席者確認・本日の進行について

進行：23-24年度 増澤義治専務理事

2. 議事録作成人の指名：事務局補佐 菅原孝明様

3. 参加者ご挨拶

・22-23年度理事長 村木秀之

4. 本日の議案について：

◆10/11 第3回執行理事会（WEB）からの継続協議事項

①公益財団法人 日本ライオンズ 公益認定の確認

協力金についてはさらなる協議が必要のため、公益認定書類の確認と、日本ライオンズ事務局内の公益財団法人日本ライオンズ事務スペース工事が事務長立ち会いの元、無事完了した件の報告。

②第2回定時社員総会 開催について

2023年12月6日（水）13：30～16：00 AP日本橋にて対面で開催と参加予定者（当法人の正社員55名・法律顧問・会計顧問）について承認を得た。国際理事の皆さんとGATリーダーについて、今回はお呼びしない。別日程で意見交換会の開催を予定。

◆その他追加協議・確認事項

①会則関係

・家族会員の件およびレオライオンの賛助会費について

→特典会員（旧割引会員）について、賛助会費はいただかない。

賛成多数にて理事会決議として総会に送る。

・社団構成員のプロトコールについて

→社団の理事長のプロトコールを議長の上に盛り込みたい。

→あくまでも会議進行等のためのローカルプロトコールとしての記載であり、社団が複合地区の上というわけではない。

→今回は理事長だけを掲載することが賛成多数で承認。

次期理事長は、理事や特に専務理事の立ち位置を変えていくよう引っ張ってほしい。LCIへ社団を認めさせる一歩としたい。

・コンプライアンス委員会について

→総務委員会の中で立ち上げてほしいので下準備として継続審議として、委員会から具体的な文章が来たら次回の理事会に出すので今回は決を採らない。

・一般社団法人日本ライオンズ 監事の人数について

→各複合地区はある意味最高の団体であるため各複合から監事を出すべき。1複合1000万単位で社団に会費を納めることになり、複合年次大会にて報告できる。

→前回の執行理事会で池田法律顧問より団体の規模・理事の人数を考えると監事8名は多いと意見あり。



→会則委員会を中心として揉んでほしいので継続審議とする。

・ライオンズ必携第 61 版発行について

→ポストン国際大会にて会則の変更が多く出た。

→歴代ガバナーのページを省略し、年表を 3 ページに簡略化する。

→国際理事候補者関係について

国際理事資格審査委員会の名称変更に伴う内容の変更について、本体は複合地区年次大会で決議が必要だが今回は発行に間に合わないため（案）として掲載。

新旧対照表を複合年次大会で事後報告であるが決議してほしい。

→非常にタイトなスケジュールですが丁寧にやるので手元に届き次第速やかに確認してほしい。間に合わなければ臨時理事会を開催。

②マニラ・フォーラムでの決議事項の確認

資料3参照

→O S E A Lフォーラム ステアリング委員会の参加人数がいままでは理事長のみだったが次回より議長4名と理事長の計5名に増えることもあり、参加者を選ぶ必要があるため今年度・次年度の引き継ぎ会をなるべく早く開催する。

③アラート委員会関係

・アラートフォーラム岡山開催について

2024年2月24日 岡山市民会館 最大約700名（500名予定） 登録締め切り1月25日  
登録料：フォーラム2,000円/人、懇親会8,000円/人 振込先：MD336の口座  
主催：（一社）日本ライオンズ 大会委員長：MD336の委員長  
→アラートフォーラム組織図については、第3回社員総会にて正式に報告する。

④総務人事関係

鬼塚さんを派遣社員から正社員へ。全員一致により承認された。

⑤第2回社員総会での審議事項について

審議事項は無い。説明事項とその他事項で決して社団は上から話をする組織ではなく、広くガバナー・議長と話し合いをして、意見を吸い上げつつ運営を進めていることを伝えたい。（全員賛成）

理事会の中で決定したものを報告する。四半期の決算が今回間に合わないと思う。今日皆さんにご承認頂いた分は、社員総会の中で各ガバナーへ提示し承認いただき、ご報告となる。

・賛助会員の会費の話題の中でキャンパスクラブの話題が出たが、会則委員長より、特典会員

(旧割引会員)については無料でよいのではと見解が示された。

#### ⑥事務所会議室利用について

##### 資料5 参照

新事務所の法人管理外の会議が増加。現状は先着順、所定の利用申請書を提出し利用。申請書には参加人数や対面 web ハイブリッドなど開催形式を明記、web 会議利用の際はどこまで法人側に依頼されるかによって職員の負担が重くなる。付随する処理としてウェブ会議出欠取りまとめ法人のズーム利用の場合、接続先案内と出欠取りまとめまでを依頼するのか、またその会議が開始されるまでフォローしなければならないのか。できれば。借りる方が各自行ってほしい。対面については従来通り、基本的に利用者の方で会議運営準備を整えてもらう。資料の事前準備配布追加の場合は、事務所でコピーを無料で利用可能。職員に資料の引き出しやコピーは受けない、会議中のお茶提供はしない。室内にサービスコーナーを設けて各自自由に利用できるようにする。現状としては、ペットボトルお茶、また水の持ち込みは可能。今後、法人関連の対面会議中には持ち込みか実費を出してもらうようお願いをしていく。会議室の利用料は近隣の公共施設等の料金を考慮し、基本的に3時間単位で3000円位を予定。会議室の予約は日本ライオンズ関係のみとし、原則法人会議優先(理事会・執行理事会・委員会)。開催の申請書へ使用者の個人名を記載、後々問題が起こらないようにする。金額、利用方法等は総務人事委員会にて協議し、理事会へ上程予定。

#### ⑦その他

→日本ライオンズ、OSEAL調整事務局と擦り合わせを行って頂きたい。GMT・FWTなど指示が複合に来ておらず、GETやミッション1.5関係も連絡がない場合があり一部コーディネーターから苦言あり。各コーディネーター、議長との摺り合わせが社団の役割だが今期は組織改革に注力している。来期以降は、社団がその調整力を高めるべき。

→12/6社員総会にWEB参加は無いのか。1副、2副もオブザーバー参加させては。

総会は基本対面での参加をお願いするが、どうしても対面参加できない場合はWEBも用意する。

1副、2副もオブザーバー参加は協議事項とする。

→メルボルン大会早期登録料設定はどうなっているのか、社団でとりまとめは無いのか。

国際協会は個人参加でもよいとなっている。しかし、日本としては、できるだけ日本のライオンがまとまって行動したいということで、いわゆる公認トラベルコーディネーター（公認TC）制度がある。そこに国際大会委員会で決定した、日本として使用するホテルを部屋の確保をお願いしてまとめて登録していると言う形を取りたい。しかし、現実可能なかどうかは、国際協会の動きを見ながらやってみないと分からない。ただ、日本のホテルがある程度確定した後、国際協会の方からそこにシャトルバスを回していただければ、公認TCが個別でバスを手配する必要がなくなり、ツアー参加時の旅行料金もずいぶん安くなるのではないかという方向に動いています。ですから、基本的に日本では登録は準地区それから複合という形で登録をまとめていただきたい。代議員会だけは社団でまとめる。

・会員同士のトラブルの事例が報告され、ライオンズ会員としてふさわしい行動をとっていかなければ世間から認められなくなってしまうとし、社団としても一人一人が自覚を持ち誠心誠意行動していくことや、コンプライアンス委員会立ち上げ時の運営方法が協議された。

→札幌で開催されるOSEALフォーラム2025について、OEC役員が会場とホテルを視察し、プレゼンを行った。規模は1万2千、会場のコンセプトに承認を得た。又、2030年国際大会に札幌市が立候補する予定である。現在ホテル等（約3000室）調整を行っている。

→役員必携には会員種別ごとに投票時の代議員数算出の分母に入れる・入れない、の区分があるが、今回のライオンズ必携にも同様の表が入っているので参考にしてほしい。

→次回執行理事会・理事会開催予定

12/6（水） 第6回理事会・第2回定時社員総会（東京・AP日本橋）

### 3. 各種報告事項（直近に開催された会議報告）

協議事項内で報告されたため、省略

### 4. その他報告事項

・監事より総括

・橋本監事より

→よい会議であったと思う。本日の内容を各複合に持ち帰り、しっかりとご説明頂きたい。それが議長の役目である。実行力を持っていただきたい。

・岡村監事より

→プロトコールについては毎回話がでるが今回の決定でよろしいと思う。監事の増員については8人では多すぎる、業務内容的に不要ではと考える。ライオンズ必携について、年表のガバナ一名を削除するとクレームが出る可能性が高いため、慎重に行った方が良いと思われる。

・今井監事より

→丁寧に皆さんに納得していただきたいという姿勢すごくわかった。本当に良い方法でやられていると思う。監事としてもさらに力を入れていきたい。ライオンズクラブはちゃんと奉仕活動してgood standingであるべき。

・佐々木監事より

→ガバナー・議長を選ぶには特に地区に資する人を出してほしいということを優先すべき。従ってその時に自分の自己紹介の履歴があるが、その懲罰のところに書かない限りは絶対にこれは審議される。是非、賞罰欄に記入をさせ事実関係を可視化した方が良いと思う。

以上

2023年11月15日

議事録作成人 事務局補佐 菅原 孝明

議事録署名人

一般社団法人日本ライオンズ

理事長 田名部 智之 【押印省略】

監事 今井 文彦 【押印省略】

監事 佐々木 忠康 【押印省略】

監事 橋本 勝策 【押印省略】

監事 岡村 聖爾 【押印省略】

(2023-2024 年度)

一般社団法人日本ライオンズ 23-24 年度第 6 回理事会 議事要録

開催日時：2023 年 12 月 6 日(水)11：00-12：00

場 所：日本ライオンズ事務所

出席者：

理事長	田名部 智之 (八戸)	理事 (公益財団法人日本ライオンズ理事長)
副理事長	池原 堅 (福山久松)	不老 安正 (大幸府)
副理事長	松浦 淳一(岩見沢はまなす) <b>【WEB】</b>	理事
専務理事	増澤 義治 (諏訪湖)	(一般社団法人日本ライオンズ前理事長)
		村木 秀之 (東京数寄屋橋)
常務理事	田中 雄一(狭山)	
常務理事	栗村 安弘(大船渡)	監事 今井 文彦 (東京巣鴨) <b>【欠席】</b>
常務理事	星野 勝美(太田)	監事 佐々木 忠康 (小樽)
常務理事	戸祭 宏樹(鯖江王山)	監事 橋本 勝策 (焼津)
常務理事	中谷 豊重(岸和田)	監事 岡村 聖爾 (下関北) <b>【WEB】</b>
常務理事	澤 辰水(下関)	
常務理事	新里 正雄(沖縄)	
		<u>オブザーバー：</u>
理事	吉本 晴夫(藤沢中央)	事務局補佐
理事	須藤 敏幸(伊達)	菅原 孝明 (八戸)
理事	松本 宰司(南房総)	法律顧問
理事	吉村 弘吉(和歌山)	池田 和司 (東京桜門)
理事	玉川 孝(熊本葵) <b>【欠席】</b>	会計顧問
		吉田 宗一郎(東京武蔵野)

以上

1. 参加者ご挨拶 田名部理事長・村木前理事長

2. 出席者確認・本日の進行について

進行：23-24年度 増澤義治専務理事

2. 議事録作成人の指名：事務局補佐 菅原

4. 本日の議案について：

増澤事務長よりまず本日の議案について説明

・第2回社員総会進行について

午後からの開催概要の確認と、今回は報告事項のみの開催になることが確認された。

本日午後13:30から16:00まで対面で開催したい。

会場に関しては、AP日本橋会議室C。各委員長は報告事項として各委員会の報告をお願いしたい。報告をいただくとともに、この範囲の中にあつたものをプラスアルファしてご報告いただければありがたい旨の説明があつた。

・年次大会予定とお祝辞について

各地区より送られている日程案が示され、理事会構成員より埋まっていない箇所の報告を一部いただいた。

お祝辞については社団より取りまとめ、各複合・地区へお送りするが掲載については各自のご判断をいただく旨の説明。

3 3 1 C地区 4月26日 苫小牧グランドホテルニュー王子

3 3 1 A地区 5月12日 札幌 会場 札幌パークホテル

複合地区 5月25日 札幌 会場 札幌京王プラザ

3 3 0 複合地区 5月20日 東京 会場 ホテル雅叙園

3 3 7 D地区 4月13日 那覇 会場 パシフィックホテル沖縄

複合地区 5月18日 那覇 会場 那覇文化芸術劇場なはーと

3 3 6 C地区 4月14日 広島 会場 リーガロイヤルホテル広島

3 3 4 D地区 4月20日 金沢 会場 ホテル金沢

・今後の予定について

直近の理事会の開催予定のほか、2024年7月までの予定案の確認。

第7回 理事会 1月19日 盛岡 ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング

第8回 理事会 2月26日 福井 富士屋会館（鯖江市）

第 9回	理事会	3月19日	東京	(第3回社員総会同日開催)
第10回	理事会	4月18日	沖縄	リザンシーパークホテル谷茶ベイ
第11回	理事会	5月14日	草津	現時点では未定
第12回	理事会	6月 5日	東京	(第4回社員総会同日開催)

#### その他予定

- ・アラートフォーラム岡山 2024年2月3日(土)
  - ・SON長野 2024年2月24日(土)・25日(日) 翌26日が福井での理事会のこともあり多くの方に参加をいただきたい。
  - ・新旧引き継ぎについて 5月半ばごろを予定。パタヤのステアリング委員会への参加者決定も必要なこともあり、次期議長候補者へご参加をお願いする。
  - ・6月21-25日 メルボルン国際大会
  - ・7月末 次年度第1回社員総会を予定
- その他国際理事候補者推薦要望書 締切についての説明。

#### その他

##### ・日本ライオンズ事務局 年末年始休暇について

年末年始の休暇は12月29日から年明け1月4日まで、事務局は休み。もし緊急連絡があるようでしたら増澤義治専務理事まで。

##### ・アラート委員会より

アラートフォーラムが2月23日で予定していたが2月3日に変更。理由は大学入試が23日のためホテルがすでに埋まっており、宿泊場所の確報が難しいため。

また懇親会の出欠変更については2日前となる2月1日まで可能。請求書は後日MD336より発行予定。

登録・懇親会費の振込の件 準地区より名簿・参加料金を精査した上、MD 336へ振り込むこととし、後日日本ライオンズへ決算書をご提出いただく。

アラートフォーラムが持ち回りで開催されることから、次回も同様に準地区より開催地区MDへ振り込みを行うことを決議。名簿をお送りの際は複合へCCでお送りいただく。

##### ・会則委員会より

一般社団法人理事長はローカルプロトコールとして議長の上で承認いただいていたが、公益財団法人日本ライオンズの理事長もローカルプロトコール上、同一レベルで位置づけをお願いしたい旨が会則委員長より、会則委員会での内容を元に提案。

尚、社員総会の審議事項ではないが総会にて意見聴取、説明を丁寧に行う事を確認した。社員総会で採決を行うことができないかと提案があったが、池田法律顧問より総会での決議の場合は事前の周知が必要な旨説明があり、書面決議等での決議も検討する。

ライオンズ必携について、印刷が12月には印刷が開催予定、各地区に対して単価のお知らせもしなければいけない。基本的には一冊220円、6万冊。去年は6万5千冊。できれば220円前後の範囲内で10円ないし20円の値上げが出てくる可能性がある。頒布価格の決定については理事長一任とさせて頂きたい旨説明があり、承認される。

**※注：その後単価は250円に決定済**

**・MD330賛助会費について**

田中常務理事より、現在前向きに事は進んでいるものの、事務手続きにおいて下期5月2日に行われる複合年次大会まで解決が伸びることにご理解ご協力を頂きたい旨の説明があった。この件について満場一致で承認された。

**・公益財団法人日本ライオンズについて**

一般社団法人日本ライオンズと公益財団法人日本ライオンズとの関わりについて協議。災害支援という観点から、災害支援については公益財団法人で行うべきではないかとの意見、アラート委員会の立ち位置についても意見が出た。

**・理事長より総括**

まずは知るところから、ということで全国を回らせて頂いてわかったが、まずは正しくご理解をいただくことが重要であると感じた。ガバナーになるための勉強をたくさんしてきたが、社団は何か、財団とは何か、その繋がりは何かなど、まだまだ分かりにくいところがあると感じる。クレームやネガティブなイメージを具体的に聞いたが日本ライオンズとは直接関係のない部分も多いと感じた。

しかし、関係ないとは言わず、今から次年度以降、勉強会をきちんとやって理解を深めるべきであり、理解をした上での議論が必要であると考え。財団についても理解を深め、どのように今後携わっていけばいいのかということも研究していかないといけない。

これからも丁寧にやっていきたい旨の説明があった。

以上



2023年12月6日

議事録作成人 事務局補佐 菅原 孝明

議事録署名人

一般社団法人日本ライオンズ

理事長 田名部 智之 【押印省略】

監事 佐々木 忠康 【押印省略】

監事 橋本 勝策 【押印省略】

監事 岡村 聖爾 【押印省略】

「第3回国際大会委員会 (Web)」議事要録

作成人：MD336 徳永 修

開催日：2023年10月10日

◎出席者：

国際理事

2022-24 国際理事/LCI 大会委員会	鶴嶋 浩二	(札幌中島 LC)
2023-25 国際理事	城阪 勝喜	(大阪港 LC) 【欠席】
2023-25 国際理事	濱野 雅司	(岩槻 LC)

一般社団法人日本ライオンズ

専務理事/国際大会委員会 (補)	増澤 義治	(諏訪湖 LC)
------------------	-------	----------

国際大会委員会

委員長	吉村 弘吉	(和歌山 LC)
副委員長/副理事長	松浦 淳一	(岩見沢はまなす LC)

各複合地区国際大会委員

MD330 委員長	伊賀 則夫	(東京葵 LC)
MD331 委員長	本所 光男	(室蘭東 LC)
MD332 委員長	村上 孝	(水沢中央 LC)
MD333 委員長	岡野 良男	(土浦環 LC)
MD334 委員長	大山 恭範	(一宮 LC)
MD335 委員長	江草 長史	(和田山 LC)
MD336 委員長	徳永 修	(尾道 LC)
MD337 委員長	曾山 純廣	(霧島みらい LC)

オブザーバー

MD333-E 国際大会委員長	車田 一恵	(霞ヶ浦 LC)
MD333-E 国際大会副委員長	藤野 将寛	(霞ヶ浦 LC)

以上

■開会宣言 国際大会委員長 吉村弘吉

■出席者確認、別紙

■進行について 進行表に基づいて行う

■議事録作成人指名 MD 3 3 6 徳永 修

■議案

### 1、ご挨拶、国際大会委員会の報告 国際理事/LCI 大会委員 鶴嶋 浩二

先週、LCI から連絡があったと思うが、前回の会議で取り決めた、公認 TC の業者を決めてそこを主にするという形は変えずに進める。

各 MD 等からの質問は、国際大会委員会を通してとりまとめ、オセアル調整事務局へ一本化する方向で進める。

3 人の国際理事がカイロでの国際理事会へ明日出発する。前回委員会で競技した主要ホテルについては委員会にてしっかりと伝えていく。日本の利益となるように動いていく。

### 2、OSEAL フォーラム（マニラ）最新事情の確認

各登録者数の確認（9/30 日）（資料 A）

2023、10、6 現在 全日本登録者 目標 2190 人に対し、1412 人  
国際会長晩餐会目標 300 人に対し、260 人  
ゴルフ 12 人

最善を尽くしていただいた。

公認 TC の予想によると、実際の参加者は

MD330:150 人、MD331:60 人、MD332:25 人、MD333:80 人、MD334:140 人、  
MD335:220 人、MD336:30 人、MD337:40 人。合計 745 人

OSEAL フォーラムのスケジュールについて、今回国際理事候補者が出ないので日本レセプションは、開催しない。

（資料 D3）の 2 ページ

OSEAL フォーラムでは公認 TC は関係ないので、OSEAL フォーラムにおいては各 MD、準地区、グループ、個人など参加方法については自由。

ただしフォーラム期間中は、勉強会などがあるので、ツアーは控えてほしい。

特に MD 議長、各ガバナーは、3、4、5 日、朝 8 時 30 分からの会議に必ず出席を要請

8人の大会委員会委員は11月4日国際会長晩餐会(19:00~22:30)30分前に集合し、受付にて、参加者の確認、テーブルへの案内をお願いする、

### 3、第106回メルボルン国際大会、最新事情の確認

10月2日の公認TCとの打ち合わせ会議(資料B1)

各MDの公認TCが確定した。

公認業者の資格要件(資料B2)の報告書を議長を通して、提出してほしい

8MDの代表窓口は、MD335公認TCのJTB。

公認TCで相談した結果、メルボルンのホテルは、(ホテル情報資料参照)

グランドハイアットメルボルン、ザウエスティンメルボルン、シェラトンメルボルンの3ホテルをメインのホテルとし、約700室を押さえない。

予備として、インターコンチネンタル、メルボルンマリオット。

公認TCは、LCIよりIDを取得し、各MDのホテルを押さえにかかると、

過不足の調整するため、早めの登録に取り掛かってほしい。

#### ・鶴嶋国際理事

グランドハイアットはシングル部屋、ザウエスティンメルボルンはツインなので使い分けができる。この二つは近いので路面電車が使えて便利、好立地。

3つのホテル内で、各MDや準地区などの集いなど、企画できるように、またリーズナブルへ利用できるよう交渉をしていただくよう公認TCへお願いをしている。

公認ツアー以外のメンバーは、3つのホテルの中から、部屋の振り分けをする。

#### ・各メンバーから質問を聞くが、特になし。全員一致でホテルについて承認される。

#### ・鶴嶋国際理事

国際理事会で、日本のホテルを伝え、3つのホテルで700部屋を押さえ、それを回るシャトルバスを確保するようにする。ホテルのデポジットが発生する事情等もあり、早めの人数の取りまとめをお願いしたい。

(資料B4)

#### ・公認TCからの要請、質問、

公認TCは一年任期と決まっているが、各準地区で独自にTCを決めている場合があり、規定で定められている旅行ライセンス一種を持っていない業者もある。非公認の業者が勝

手にツアーを出した結果、公認 TC が手配した部屋が利用されないなどの問題もある。非公認の業者が止めてはいけない場所にバスを止めたりなどして LCI でも大きな問題となっている。

ホテルは MD 公認 TC からの仕入れというのが原則である。

特にメルボルンでは日本としてまとまって部屋を確保するように LCI へ交渉することもあり、利用を徹底していきたい。準地区の業者へは公認 TC が押さえた部屋を買っていただき、部屋を埋めていくようにする。各複合単位で準地区の委員長・TC との打ち合わせが必要かと思われる。

・各質問

MD336 徳永氏

個人や、クラブで登録する場合は自由で良いのか？かなりの数が自分で手配をしている。

吉村委員長より→準地区の場合・グループでツアーを組む場合、部屋は JTB が押さえた部屋を購入し利用してほしい。

・メルボルンの参加人数の予想、700 部屋なので、1000 人くらいか。

・ホテルの料金表示について質問があり、オーストラリアドルでの表記であることが確認された。

MD334 大山氏

JTB など公認 TC は、個人予約などの倍くらい高いという声もある。

MD331 本所氏

国際大会はホテルが決まっているので、経験上、個人も公認 TC もそんなに大差ないと思う。

ボストンの場合も最終的にはあまり差がなかった。

MD335 江草氏

今回は、早いスタートなので、問題は少ないと思う

吉村委員長

各 MD は、準地区や、クラブなどと、話し合いをしてほしい。公認 TC 申請の書式出来ているので確定して早く取りかかって欲しい。

MD334 大山氏

マニラ、登録が 10 月 15 日まで延長になっている (19,000 円) 人数を増やしてほしい。  
MD 3 3 4 は人数が増えたので、国際協会へ申し込む

MD335 江草氏

パレードのユニフォームについて、いままでは国際理事候補者を出す MD が中心となっていたが、今回は国際理事候補者が出ないので、どこがどのように決めるのか？  
MD 3 3 5 では、日本のアニメとのコラボを企画しては、意見があった。  
南半球なのであの時期は寒いし、トレーナーなどはどうかという意見もあった。パレード開始時間なども考慮すべき。

吉村委員長

パレードについては 12 月もしくは来年早々から議論が必要だと思っている。そもそもパレードをするのかどうか、少人数 (MD で人数をそろえる) でやるか、など含めて次回委員会で検討したい。

・濱野国際理事

多くの方にご参加いただくことが一番の成功。国際大会なので、たくさん参加の国からの参加者に合うことができれば、モチベーションも上がる。日本では団体での参加がやりやすいと思うがいろいろな事情もあり、公認 TC、グループ、個人バランスをとって欲しい。

パレードは、日本は大所帯になり真ん中がだれる傾向もある。個人的な意見だが、少数精鋭でいいパフォーマンスをする、そしてそれをみんなで応援するのも良いとおもう。

・吉村委員長

パレードについて、O S E A L フォーラムの後にみなさんの意見を聞きたい。

・増澤専務理事

登録キットについての説明。

(キットの画像を元に説明) 60<sup>th</sup> OSEAL FORUM BAG  
大きさ、重さ、中身、紹介、一個 700 グラム

・吉村委員長

例えば、MD331 だと、登録 313 人、実際の参加は 60 人、登録料を頂いている以上、約 250 個持ち帰らなければならない。半端な重量、カサではない。輸送の場合は高額な送料・関税等が発生した例もある。公認 TC に頼む、送るなどよく検討することが必要。

・松浦副委員長

8 つの MD それぞれ登録方法が違うが、それぞれの複合でキットの持ち帰りについては対策をしておいてほしい。

・濱野国際理事

これから国際理事会参加のためエジプトへ行き、ケニアを廻って 23 日帰国予定。  
ぜひ国際理事へ質問等ぶつけていただきたい。直接答えられることができなくても、LCI へつなぐことができるので、困ったことはどんどん質問してほしい。

・吉村委員長

次回の日程 11 月 29 日午後、Zoom で開催の予定

・松浦副委員長

若い人は、インターネットで旅行予約する人も多い。  
メルボルンへの参加について今回は初の試みとなるが、700 室を確保してもらうこと、シャトルバスのことなど本部へ交渉していく事項がいろいろとある。早い登録と、部屋は公認 TC を通じて手配したホテルへ宿泊をいただくよう、MD 大会員長へは皆様へアナウンスを頂くよう、宜しく願いしたい。

終了

作成者；MD335 江草長史

開催日；2023年11月29日

\* 出席者

国際理事

2022~2024 国際理事/LCI 大会委員会	鶴嶋浩二 (札幌中島 LC)
2023~2025 国際理事	城阪勝喜 (大阪港 LC) 欠席
2023~2025 国際理事	濱野雅司 (岩槻 LC)

一般社団法人日本ライオンズ

理事長	田名部智之 (八戸 LC)
副理事長	池原 堅 (福山久松 LC)
専務理事/国際大会委員会(補)	増澤義治 (諏訪湖 LC) 欠席

国際大会委員会

委員長	吉村弘吉 (和歌山 LC)
副委員長/副理事長	松浦淳一 (岩見沢はまなす LC)

各複合地区国際大会委員

MD330 委員長	伊賀則夫 (東京葵 LC)
MD331 委員長	本所光男 (室蘭東 LC)
MD332 委員長	村上 孝 (水沢中央 LC)
MD333 委員長	岡野良男 (土浦環 LC)
MD334 委員長	大山恭範 (一宮 LC)
MD335 委員長	江草長史 (和田山 LC)
MD336 委員長	徳永 修 (尾道 LC)
MD337 委員長	曾山純廣 (霧島みらい LC)

オブザーバー

MD333-E 国際大会委員長	車田一恵 (霞ヶ浦 LC)
MD333-E 国際大会副委員長	藤野将寛 (霞ヶ浦 LC)

公認 TC 代表

MD335 公認 TC/株式会社 JTB	沼間章作
----------------------	------



**\* 開会宣言**

13時30分 吉村弘吉国際大会委員長より開会が宣言された

**\* ごあいさつ**

**■一般社団法人日本ライオンズ 理事長 L田名部智之**

こんにちは。

鶴嶋、濱野国際理事ご出席いただきありがとうございます。

先ほど福岡から戻りましたが、専務理事を福岡においてきましたので、本日は欠席いたします。

本年度は丁寧な運営をやっていこうと全国を回っているところで、今回はMD337を訪問して5名の地区ガバナーと話し合いをして質問やら、社団の方針を説明し、ご理解をいただいた。残すはMD330のみとなりました。

本日は国際大会委員会ということで、各複合地区より活発な意見を出していただき、来る『メルボルン国際大会』の成功へ向けて、しっかり準備をしていただきたい。本日はよろしくお祈いします。

**■一般社団法人日本ライオンズ 副理事長/国際大会副委員長 L松浦淳一**

こんにちは。

鶴嶋、濱野国際理事ご出席いただきありがとうございます。

本日は少し角度を変えてご報告いたします。

MD331では鶴嶋国際理事を先頭に来る『札幌大会』に向けて動き出していますが、ホテル確保に苦勞しています。

HQ及び地区ガバナー用1500室はなんとか確保出来たが、残り3500室の確保に向け努力しているが、7年後の民間企業のホテルの確約は難しいのが現状である。

しかし、いろんな制約がある中MD331が一丸となり努力しておりますので、今後も『札幌大会』成功へ向けご支援よろしくお祈いいたします。

**\* 出席者確認及び進行について**

出席者名簿を確認、事前送付の次第を確認

**\* 議事録作成人の指名**

MD335 国際大会委員長 江草長史が指名される

### ■鶴嶋国際理事ごあいさつ

札幌が大変なことになっています。

今回は今までのように JTB さんなどの業者さんに頼らず、自分たちの手でやっていますが、7年後のホテルの確保が非常に難しく、特にオーナー様と現場との連絡ができていなくて、現場サイドで話をしていく上で、7年後の状況がわからない中で部屋数を確保することが非常に難しい。

今まで立候補を予定していた地区が立候補を断念した理由がホテルの問題であったと聞いて納得ができた。

カイロでの国際理事会で日本からの要望をまとめ、皆さんにご理解をいただいた。

また、協会を通すことで協会にマージンが入るというあらぬ噂が流れ困惑している。

### ■濱野国際理事ごあいさつ

こんにちは。

本日は国際理事という立場で参加しています。

先日のマニラ・オセアルフォーラムでは、お力添えをいただきありがとうございました。

また、この委員会の中でしっかりと討論することが札幌大会へとつながっていくのでよろしくをお願いいたします。

相手の立場と参加する立場の両方わかるのが今の日本なので、しっかりと協議していただきたい。

## 【議案】

### 1. OSEAL フォーラムについて

#### (1) マニラ大会報告（資料 A）

#### (2) マニラ大会の反省（資料 B-1）

- ・開会式など式の途中で帰ってしまう→（提案）最後にパネル前で写真撮影する企画
- ・日本は他の国と比べて元気がない
- ・場所取りに問題がある
- ・国際会長晩餐会でチケットの不備があった
- ・国際会長晩餐会で段取りが悪い（お国柄）、通訳がない
- ・登録キットの不備(中身が揃ってない、参加証明書やガイドブック等)
- ・観光を入れる入れないの問題
- ・フォーラム開催日程数が厳しい（地区・MD 会議調整等）
- ・エージェントの進行管理が悪かった
- ・国際会長晩餐会会場の音響が悪い

### 「まとめ」 鶴嶋国際理事

- ・会議内容がひどい（定足数、決議内容を発表しない）  
→会議時山田 PIP の進言に対応無かった
- ・ID 同士の話し合いが出来ていない
- ・日本からのセミナー参加が少ない
- ・開会式への参加者が少ない（'25 札幌大会での対応）
- ・大会記念誌掲載不備については日本の意見・要望を伝えた
- ・従来 2 月開催のステアリング会議は、6 月開催に変更（次期担当者が出席する）  
また参加人数は「4 名+LCIF 理事」と改定、旅費は出ないため 1~2 名参加で検討して  
いただきたい→次期理事会への引継事項

### 田名部理事長からの補足

- ・大会記念誌は挨拶分等入れた訂正版を再発行していただくことで話が進んでいる  
（部数はおそらく 100~200 部）
- ・チェジュフォーラム報告書についても実は未発行であり、配布されていない

### (3)第 61 回パタヤ大会【2024 年 11 月 14 日（木）～11 月 17 日（日）タイ・パタヤ】

日程の説明（資料 C）

## 2. メルボルン国際大会について【2024 年 6 月 21 日（金）～25 日（火）】

### (1) 公認 TC の件

- ・公認 TC 代表沼間氏より説明（資料 D-1、グループ登録手順、資料 D-2）
- ・まだすべての複合が公認をとれていないため動けない
- ・日本からのホテルの確保ができない
- ・グランドハイアットメルボルンを中心に 600 室を確保する  
→12/10 時点で公認 TC とは進捗確認を行い、その状況によっては鶴嶋国際理事へ報告

### (2) 日程の説明

- ・代議員会（日本の代議員のための投票説明）  
→6 月 22 日（投票前）夕方辺り（2 時間程度）を想定、次回会議で再検討
- ・なるべくお金のかからないようにする
- ・準備（席順、登録、受付等）については吉村委員長指名により、  
331 本所委員、332 村上委員に開催案を練っていただき次回会議で提案していただく

### (3) インターナショナルパレードの件

- ・今までと同じように全員参加 or MD ごとの参加、又は参加者を絞る

- ・準備の担当はどこがするのか？
- ・次回会議に各 MD の意見を集約する
- ・本年度は国際理事候補者がいないため日本全体で準備する
- ・ユニフォームの種類及びデザインはどうするか？  
→コンペ形式で行なう（公認業者に依頼）
- ・種類は冬ということを考え法被は採用しない→ポロシャツ、トレーナー、スタジャン・・・
- ・アニメ等、著作権のかかるものは使用料がかかる
- ・札幌大会のPR活動としてロゴをデザインする
- ・ピンバッチは喜んでもらえるようなデザインにする
- ・小旗を持つと一体感があるように見える工夫になる→ツールの重要性  
→バレードの参加は決定だが、体制（全員参加 or MD 毎・・・）、ユニフォームの提案については各自 MD に持ち帰り宿題とし、次回会議で意見交換する

**\* 開会宣言およびご挨拶**

**■一般社団法人日本ライオンズ 副理事長 L池原堅**

国際大会およびフォーラム開催は大事な大会のため結束してできるだけ多くの方に行っていたきたいが、パターンがほとんど同じのため、若い会員たちが参加しようという気が無い。開催地では若い方が参加したいと思う仕組みを時間をかけて作り大改革していただきたいと期待する

**3. 次回開催日**

2024年1月18日（木）13時30分～16時00分

以上

(2023-2024 年度)

**第3回会則委員会 (WEB) 議事要録**

◎日 時： 2023年10月19日(木) 10:00-12:00

◎システム： ZOOMシステム

◎出席者：

一般社団法人日本ライオンズ：

理事長 田名部 智之 (八戸 LC)

委員長 (MD333 前協議会議長)

松本 宰史 (南房総 LC)

副委員長 (MD335 協議会議長)

中谷 豊重 (岸和田 LC) 【欠席】

専務理事

増澤 義治(諏訪湖 LC)

各複合地区会則委員長：

330 複合地区会則委員長

細川 孝雄 (東京赤坂 LC)

331 複合地区会則委員長

馬場 哲也 (函館東 LC) 【欠席】

332 複合地区会則委員長

荒川 友成 (郡山西 LC)

333 複合地区会則委員長

岩沼 忠伺 (千葉ネオ LC)

334 複合地区会則委員長

野村 善弘 (岡崎竜城 LC)

335 複合地区会則委員長

小林 寛 (姫路中央 LC)

336 複合地区会則委員長

松岡 諒 (福山久松 LC)

337 複合地区会則委員長

高野 正勝 (佐賀葉がくれ LC)

① 開会宣言

松本会則委員長より開会の宣言。

② 一般社団法人日本ライオンズ理事長ご挨拶

田名部理事長よりご挨拶。

日本ライオンズとしても過去の問題を整理整頓している最中。会則委員会はかなり重要な位置を占めており、方向性を付けてもらい指針としたい。

社団のプロトコールについてもOSEAL調整事務局からの意見もあり、このようにさまざまなことを小さいところからきちんと決めないといろいろな誤解が生じる。皆様の力を借りて今年度中にいろいろなことを方向付けていきたいのでよろしくお願いします。

③ 出席者確認

④ 議事録作成人の指名

MD333 岩沼委員長・MD335 小林委員長が指名された。

**主要議案：**

**1. 前回議事録の確認**

松本委員長より前回議事録の確認事項について説明。

- ・前回からの審議事項等が確認される。
- ・コンプライアンス委員会について、運営は総務人事委員会とし、会則委員会ではルール等整備していくことが第4回理事会にて確認されたことが報告された。

**2. 2023-24年度 『役員必携』発行について**

進捗状況の確認が行われ、現在のところ当初のスケジュールから遅れがないことが確認された。

松本委員長

：2024-2025年度版は来年4～5月頃に次年度クラブ三役に向けて発刊したい。

大きな変更点はないようですが、今年度発行後検討を加え新バージョンで制作したい。

新バージョンではライオンズクラブとしての社会規範・禁忌事項（現在の必携P128掲載）を充実させ、コンプライアンス委員会の基本となるものをまとめて、新役員必携に掲載していきたい

い。各地区において、会則委員会がこれらの事項を周知徹底させて頂きたい。

MD335 小林委員長

：ファインとドネーションについて、30～60万円をクラブ事業費に計上するが、運営費が足りなくなった場合は、それを運営費に回している場合がある。

金額の大きさにより発言権が大きくなりがちであり公平性が保たれず、役職者のドネーションが大きくなるが多いため、新会員が役職に就く前に退会する事例がある。ファインとドネーションの在り方についてきっちりと線引きをするよう発信が必要ではないか。

松本委員長

：基本的な考えを見直していただくことが必要ではないかと思う。ドネーションの在り方については当然のことであるので現在掲載はないが、コンプライアンス関係の事項に掲載してもいいのではないか。以降検討していく。

### 3. ライオンズ必携発行について

- ・第61版発行へ向けて

松本委員長

：ライオンズ必携・役員必携の色は、共にライオンズカラーに立ち返り、紺（ブルー）にします。

ライオンズ必携は規則が中心となったもので、国際会則・付則はボストン国際大会での変更箇所を更新。

標準版クラブ会則はLCIのデータを掲載。変更点はそのまま掲載する。

割引会員（二人目以降の家族会員・学生会員・レオ会員）は、123Pの準会員と名誉会員の間に位置し、代議員数にカウントされない。

割引会員の複合・地区会費は従来通りで良いのではないか。地区によっては考え方が異なることもあるので意見を聞きたい。

田名部理事長

：各複合地区の協議会議長の意見をまとめた結果、一般社団法人日本ライオンズでは、割引会員（レオ会員は今後まとめる）の社団への賛助会費を無料にする方向に向かっている。8複合地区

で統一性があり混乱が生じにくいとの理由。

**MD335 小林委員長**

：団体に所属している限り、義務と責任がある。なぜ無料の方向に向いているのか理解に苦しむ。

割引会員の名称のイメージが悪い。変えてほしいと複合から意見が出ている。

**松本委員長**

：正会員なのに割引会員ではちょっと引いてしまうかも。

**MD336 松岡委員長**

：英語の直訳（ディスカウントメンバー）と思うが、どこで決めたのか。正会員で集めたのに、今更割引会員では気分を害されるのでは。

**松本委員長**

：スペシャリティークラブがあるように、スペシャル会員はどうでしょうかね。今後どう対応するか。将来的には名前を変えても良いのではないかと思います。

ライオンズ必携に、複合地区複合地区会則では、LCI で変更した個所を反映する。

1～2月発行の予定。それに向けて準備をします。皆様方にも考えていただく。

複合地区会則は、国際会則と標準地区会則を反映させたものをたたき台にします。

**166P** 国際理事候補者選挙手続規則を今一度見直さなければならないので、次回委員会で検討したい。

**172P** オセアルガイドライン（国際理事に立候補するためのオセアル地域の中で決められたガイドライン）についても検討をしたい。

**田名部理事長**

：国際理事候補者資格審査委員会については、昨年度の期中に名称と役割が変更になった。ルールが変わったり、理解できてなかったりすれば委員会参加者が戸惑ってしまうので、スムーズに決議できるようにガイドラインや周知等、態勢を整えて頂きたい。

**松本委員長**



：クラブ必携の変更において、名称変更・資格審査委員会等が反映されていないので、どう反映させるか。

次回の委員会で深く検討したいので、ライオンズ必携をご熟読の上、皆様方のより深いご意見の発表をお願いします。

199P プロトコールは理事会 LCI 方針書のとおりにします。

257P 歴代地区ガバナー・議長・国際理事の変更をピックアップし、新しい役員を反映する。役員必携が出来上がったらご自分の地区の部分の確認をお願いします。

#### MD335 小林委員長

：歴代地区ガバナーが必携に掲載することが必要なのか。役員については大切な歴史なので、日本ライオンズ・複合地区事務局・準地区事務所にそれなりの形で保管すればいいのではないか。

松本委員長

：年度ごとの議長・ガバナーについては複合・地区の事務方が必要とされている。なおガバナーは役員必携でも確認が可能。

最新版で追加された略語集については、引き続き掲載予定。

#### MD336 松岡委員長

：必携に複合地区会則標準版地区会則が掲載されているのに、準地区標準版会則・付則が掲載されていないのは何故か。LCIのWeb上では標準地区会則が載っている。もし理由等がわかればお聞きしたい。

松本委員長

：掲載がない理由について詳しくは不明。複合地区会則に準じて準地区が運営されている。

#### MD333 岩沼委員長

；自分の場合は、役員必携の『地区について』を参考に運営を行った。

松本委員長

：複合地区会則も全会員に対しては、掲載しなくても良いのではないかと議論も成り立つ。複合・準地区の会則を削除・追加との議論ではない。会則などは、すべからくWeb上に挙げてしまっても良いのではないか。必携は薄く読み易く。

国際会則・複合会則・地区会則等々については、現在用が足りている。

**MD332 荒川委員長**

：年表は必携には必要無いと思う。分厚過ぎて会員が読まないのではないか。やはり Web 上に残しても良いのではないか。

**MD334 野村委員長**

：複合会則の中には、地区会則が網羅されているので、地区会則を重複して載せる必要は無いように思う。

**MD337 高野委員長**

：全体の流れは難しいように思う。ライオンズの集団なので、もう少し簡単に奉仕が出来るような状況を望む。

**MD335 小林委員長**

：時間はかかると思うが若い世代のメンバーが増えるような素地を作っていくことが大切。

**・コンプライアンス委員会について**

松本委員長：

次の役員必携にてまとめ上げたいと思いますので、次回開催までに皆様の考えをまとめ、次回委員会にて発表して下さい。

田名部理事長

：昨年度からの引継ぎ事項のコンプライアンス委員会については総務人事委員会の中で運営することとなった。禁忌事項やルールなど、今年度会則委員会で議論していただきたい。

コンプライアンス委員会立ち上げのきっかけの一つとして、昨年度、一部の規約引用のみで他の会員を追及するといったことや、会員同士の紛争が複合・地区を越え、日本ライオンズへ相談が寄せられることなどがあった。

禁忌事項を守り会員同士が納得しておけばそれで済んだ。

項目を増やす、わかりやすくするなどして、文字通りしてはいけないことを明確にし、注意を促す。ライオンらしからぬ行動などを、必携に載せて、会員全体に周知していく。皆様の合意をもってルールを作っていきたいと考えている。

松本委員長

：ライオンズ必携にも友愛と相互理解の精神について書かれており、重要なテーマである。しっかりしたルールの作成と周知徹底を行う方向で進める。禁忌事項について各自の立場で見直しをいただき、次回会議にて発表をしていく。

#### 4. その他

MD334 野村委員長

：(ボストン国際理事会決議事項について) 地区GATメンバーと地区LCIFコーディネーターについてキャビネット構成員として投票権を与えることになったとあるが、複合での決議は必要か、それとも周知のみで問題はないか。

松本委員長

：決議は必要ないと思われる。

MD334 野村委員長

：現在、正会員と2人名以降の家族会員は別に集計をしていると思うが、割引会員の制度の後、集計方法は変わらないか。

松本委員長

：従来と同じで問題はないと思われる（会員種別を発表する）

田名部理事長

：冒頭でお話ししたが社団役職者の立ち位置について、日本独自のプロトコールとして整理をお願いしたい。

理由としては複合・地区・OSEAL調整事務局より、国際役員来日の際など、席次や順番の決定に困ることがあり、トラブルを避けるためにも決めて欲しいと要望がある。

例として、理事長・副理事長・専務理事・監事・監査・前理事長あたりまでのプロトコールをどこに置くかをご協議いただきたい。

松本委員長

今年度中に協議したい。社団は8複合議長のサポート的な存在であるが、社団の立ち位置の見直し等を含め、整理することが必要だと思われる

田名部理事長

日本以外に複合地区が複数ある場合、ほとんどの国で社団のような組織・事務局を持っており、

複合・議長を色々な形でサポートしている。そのため海外から来た方が社団の存在に異議や疑問を持ったりすることはない。他の国では元議長が運営に関わっていることがあり、プロトコールも元議長としている場合があるので、そのあたりに位置付けられれば良いかと思う。

松本委員長 重要性を理解し、継続審議としていく。

・次回開催予定について

第4回会則委員会 11/24 (金) 10:00-12:00 WEB

第5回会則委員会 12/11 (月) 15:00-17:00 日本ライオンズ事務局

⑤ 閉会挨拶 一般社団法人日本ライオンズ理事長 田名部 智之

2023年10月19日

議事録作成人

MD333 会則委員会委員長 岩沼 忠伺

MD335 会則委員会委員長 小林 寛

議事録署名人

会則委員長 松本宰史

(2023-2024年度)  
第4回会則委員会 (WEB) 議事要録

◎日時：2023年11月24日(金) 10:00~12:00

◎システム：Zoomシステム

◎出席者：

一般社団法人日本ライオンズ：各複合地区会則委員長：

理事長 田名部智之(八戸LC) 330複合地区会則委員長  
細川孝雄(東京赤坂LC)

委員長 (MD333協議会議長) 331複合地区会則委員長  
松本幸史(南房総LC) 馬場哲也(函館東LC)

副委員長 (MD335協議会議長) 332複合地区会則委員長  
中谷豊重(岸和田LC) 荒川友成(郡山西LC)

専務理事 333複合地区会則委員長  
増澤義治(諏訪湖LC) 岩沼忠伺(千葉ネオLC)

334複合地区会則委員長  
野村善弘(岡崎竜城LC)

335複合地区会則委員長  
小林 寛(姫路中央LC)

336複合地区会則委員長  
松岡 鯨(福山久松LC)

337複合地区会則委員長  
高野正勝(佐賀葉がくれLC)

- ① 開会宣言  
松本会則委員長より開会宣言。
- ② 一般社団法人日本ライオンズ理事長挨拶  
今期、会則委員会において役員必携及びライオンズ必携61版の制作がここ数年で一番スムーズに進行しており、委員会の皆様にはご負担をお掛けしておりますが、ライオンズの為になっており、やりがいのある一年になっていると思います。  
各複合地区を訪問し、各地区ガバナー・各メンバーとお話をさせて頂いた中で、日本ライオンズの立ち位置・地区ガバナーとしての役割・複合出向者の権限 等々が伝わっていないを確認しました。  
今後、メンバーの皆さんの声を各委員会に繁栄させていきたい。  
来月の委員会は、対面開催する様ですので楽しみにしております。
- ③ 出席者の確認  
別紙資料確認願います。
- ④ 議事録作成人の指名  
MD331馬場委員長・MD334野村委員長が指名された。

議案：

1. 前回議事録の確認  
松本委員長より前回議事録の確認事項について説明。
  - ・前回審議事項が確認される。役員必携の発行について完結（次期役員に2024年4月発行予定）  
ライオンズ必携の進捗状況について。  
コンプライアンス委員会の現況報告。  
その他・会員種別（割引会員～特典会員へ名称変更について報告）  
次回委員会開催は、東京にて対面と致します。
2. 田名部理事長からの諮問事項の件について  
田名部理事長
  - ・家族会員、特典会員（旧訳：割引会員）について  
国際本部に変更して頂いたので、国内では落ち着きました。
  - ・社団構成員のプロトコールにつて  
プロトコールは、理事会において決議された。理事長のみを記載する。松本委員長  
プロトコール表を説明し、1年と1日同じクラブの部分強調され  
皆さんからご意見を問う。  
皆さんは、特になかった。
3. 前回からの継続議題について
  - ・コンプライアンス関係、禁忌事項について松本委員長  
役員必携P125、皆さんからご意見を問う。  
小林委員長  
ライオンズ組織の存在理由、人間性、インテリジェンス等を再確認し、ライオンズ全体で考えることではないのか。  
松本委員長  
おっしゃる通りで、地区リーダーとして襟を正し、ステータスと自覚が必要で、会則委員会のみならずGLT（指導力育成）研修との連携が必須で、今後の課題です。  
岩沼委員長  
禁忌事項を前面に出し、学ぶことが必要。  
田名部理事長  
335地区に訪問の際、社団の行っていること（責任・権限などについて）ライ

オンズ必携を読んでもよくわからないので、社団としても勉強会を是非開催して頂きたいとの意見がありました。

松本委員長

複合地区の目的は情報の共有が第一であり、8複合のリーダーが理解し地区へ持ち帰り、伝えて説明することが大事です。

特に、言わないと聞かないと分からないのが会則です。

荒川委員長

先般、332MDにて簡単に説明したところ、役員必携を持っていないメンバーが多数おり驚愕しました、又、ライオンズ必携は毎年同じだから必要ないという意見がありました、やはり全員が必携を取得し携帯して頂くことが必須である。

松本委員長

ライオンズ必携は、毎年変わっているので全メンバーに取得させる。

特に、地区運営の会則部分が相当変わっているので毎年取得は必須。

岩沼委員長

20年前のライオン誌に、諸先輩の経験談の記載が多くありました自分も随分勉強になりましたので、又復活させて頂きたい。

#### 4. ライオンズ必携第61版発行について

松本委員長

グラ版が遅れておりますので、後日皆さんにはPDFで送信致します。スケジュール確認され、初校が11月24日現在、届いてませんので一週間ほどずれる可能性があり、ページ数の確認等々時間的にタイトなる予想、部数アンケート調査開始し今回65,000冊・÷924万見積前年度より10%の値上げもあり、60版では¥200でしたが61版は¥220で、理事会に提案する予定。出来れば、全会員及び新入会員の分も購入して頂きたい。

増澤専務理事

今回、構成を委員会メンバー8名で間に合うのか疑問？間違いがあった場合の責任は？各地区に落として確認させて頂きたい。皆さんに確認頂きたい。

中谷委員長

地区に一度確認した方がよい。

年表のガバナーリストを除いたのでしょうか。

松本委員長

役員必携に記載されているので、必携をより薄くする為にも年表のガバナーリストを除き、今後ウェブ版に掲載する予定です。

増澤専務理事

ガバナー名が無くなると苦情があると思いますし、除いた理由の一致が必要逆にライオンズ必携の方に、ガバナーリストが必要では？

小林委員長

それなら、何の為の委員会なのか意味がないのでは。

個人の感情で潰されるのは大きな問題である。

責任の問題ですが、委員会の立場からすると責任は取れません。

増澤専務理事

慎重に進めて頂きたい事と、責任はないと思いますがクレームがあるのでは？その辺を、丁寧に進めて頂きたい。

岩沼委員長

年表があると厚くて、ポケットに入らないので無くてよい。

荒川委員長

年表無くてよい。

馬場委員長

年表無くてよい。

今迄、構成確認は業者がしていたのですか？

松本委員長

基本、事務局員が確認していた。

野村委員長

年表無くてよい。

松岡委員長

スケジュールに問題があり、各複合に意見を問うと収拾が付かなくなる。

年表はどちらでもよい。責任問題は複合で受け止める。

高野委員長

まだ、勉強させてください。

細川委員長

役員必携では、割引会員で～ライオンズ必携では、特典会員ですか。

松本委員長

ポケット版は全て、特典会員に変更します。

年表を削除して50ページ減りますが、標準版地区会則が抜けていたので

複合会則第2章がボリュームアップされましたので、さほど減らない。

年表削除を地区に確認するかどうか！賛否を取る。

確認を取らない事を賛成多数可決。

松本委員長

ライオンズ必携第61版 主な改訂箇所一覧を説明される。

※なぜ改定が必要なのか！ミッション1.5を実行する為の権限を有する。

P13

彼→その人。

P31,32

目的 大きく変更。

P51

削除。

P74

地区ガバナー（より明確に、MDに説明要）

P88

会員種別最後(g.賛助会員)に次ぎに(h.特典会員)追加

P139

複合地区の目次を付けた。

P140

第3条 構成。

P144

第6条 複合地区年次大会（国際理事候補者資格審査委員会規則に変更）MD年次大会にて決議必要。

P149

第2章 地区（所属クラブに30日前までに通知する）各キャビネット承認必要。

P154

第16章 各地区コーディネーターに投票権が与えられる。

P155

第17章 PR→マーケティング・IT→テクノロジー。

第19章 解任が新たに追加された。

P164

〇〇〇複合地区第〇〇回年次大会議事規則例が新たに追加された。

3. 委員会（変更）5. 審議（変更：再質問2回は超えてならない）6. 採決（変更：今まで拍手で承認でしたが拳手により過半数に変更）

P166

名称変更：国際理事候補者資格審査委員会規則（改正案）  
全国8複合地区年次大会決議後有効となる。

P199

公認プロトコール

12. 一般社団法人日本ライオンズ理事長が入る。※※

※※8複合議長情報等取りまとめ役としての位置づけとする。

5. その他

新たに追加されたページ

- ・別紙：複合地区大会開催手順（例）
- ・別紙：地区大会開催手順（例）
- ・別紙：指名委員会チェックリスト（地区ガバナー・第一第二各候補者）
- ・別紙：新入会員入会式参考例及び進行と次第（例）

以上を参考資料として追加。



松本委員長

以上ですが、ご意見ご質問ございますか？

細川委員長

役員必携では、割引会員で～ライオンズ必携では混乱するのでは？

統一できないでしょうか？

松本委員長

説明が必要だと思いますので、皆さんにその対応をお願いしたい。

私達の役目でないでしょうか。

馬場委員長

331MDでは、第3回1月に開催されるガバナー協議会で、各自役員必携を持参いただいで概略説明する予定です。

中谷委員長

P130赤文字部分ですが、国際協会はいくまで割引会員で日本ライオンズが特典会員となったことを付け加えが必要と思います。

小林委員長

第2章 地区（所属クラブに30日前までに通知する）キャビネット会議承認事項ですよ。

松本委員長

キャビネット会議承認必要です。

荒川委員長

今回ライオンズ必携の重要部分が変更されておりますので、全メンバーが取得し一読し更に、携帯して頂く事が必須です。

松本委員長

ライオンズメンバーとしての基本は、ピンバッチとライオンズ必携を携帯して頂く事を意識につなげたと思いますので、宜しくお願い致します。

・次回開催予定について

第5回会則委員会 12月11日月曜日 15：00～17：00

日本ライオンズ事務局【対面】

⑤ 閉会挨拶 一般社団法人日本ライオンズ理事長 田名部 智之

2023年11月24日

議事録作成人

MD331会則委員長 馬場哲也

MD334会則委員長 野村善弘

議事録署名人

会則委員長 松本宰史

(2023-2024 年度)

第5回会則委員会(対面)議事要録

◎日 時： 2023年12月11日(月) 15:00-17:00

◎会 場： 日本ライオンズ事務所

◎出席者：

一般社団法人日本ライオンズ：

理事長 田名部 智之(八戸LC)

委員長 (MD333 前協議会議長)

松本 宰史 (南房総LC)

副委員長 (MD335 協議会議長)

中谷 豊重 (岸和田LC)

専務理事

増澤 義治(諏訪湖LC)

各複合地区会則委員長：

330 複合地区会則委員長

細川 孝雄 (東京赤坂LC)

331 複合地区会則委員長

馬場 哲也 (函館東LC) 【欠席】

332 複合地区会則委員長

荒川 友成 (郡山西LC)

333 複合地区会則委員長

岩沼 忠伺 (千葉ネオLC)

334 複合地区会則委員長

野村 善弘 (岡崎竜城LC)

335 複合地区会則委員長

小林 寛 (姫路中央LC)

336 複合地区会則委員長

松岡 諒 (福山久松LC)

337 複合地区会則委員長

高野 正勝 (佐賀葉がくれLC) 【欠席】

① 開会宣言

松本会則委員長より開会の宣言。

② 一般社団法人日本ライオンズ理事長ご挨拶

田名部理事長よりご挨拶。全複合地区の協議会議長、全準地区のガバナーと面談した。様々な意見をいただいたが、今期、丁寧に対応し解決に向けて進めている旨、説明があった。

③ 出席者確認

④ 議事録作成人の指名

細川委員・松岡委員が指名された。

主要議案：

1. 前回議事録の確認

松本委員長より前回議事録の確認事項について説明。

時間が許せばコンプライアンス委員会についての議論を進めたい。

2. ライオンズ必携第 61 版改定について

(1) スケジュール

松本委員長から、元々の予定よりも一週間程度遅れているが、12月18日には印刷部数の集計を終えて発注する。来年1月末には配送できる予定であると説明。

(2) 発行部数

松本委員長より、昨年よりも発行部数が減少する見込みであるとの説明。

役員必携について、ライオンズ必携と間違えて注文したとの理由で多数キャンセルがあったが、次期クラブ三役研修会で再利用するとしてキャンセルを受けなかったとの事例が報告された。

(3) 変更内容の確認

松本委員長より、禁忌事項を載せるなど主な内容変更について説明。

(4) 複合地区会則、国際理事候補者資格審査委員会規則についての複合地区大会での承認

松本委員長より、複合地区会則、国際理事候補者資格審査委員会規則改正について、各複合地区大会で承認が必要であると説明。

(5) 複合地区会則、国際理事候補者資格審査委員会規則を必携に掲載することの是非

複合地区会則、国際理事候補者資格審査委員会規則の改正後の条文を必携に掲載するが、これらは来年の各複合地区大会で承認されてから効力を生じる。効力を生じる前に必携に載せることについて誤解を招くおそれがあるが、どのようにしたら良いか協議した。

協議の結果、改正条項案の最後に、「(注)」として、複合会則の改正部分については2023～2024年の各複合地区大会の閉会後に効力を生じる旨付記することとした。

(6) 国際理事候補者資格審査委員会規則について

増澤専務理事より、同委員会が「推薦」とすると誤解を招くおそれがあるとの指摘があり、これを受けて、同規則について次のとおり変更することとした。

ア 第2条の目的を「本委員会の目的は、地区及び複合地区から推薦を受けた国際理事候補者の資格を審査することにある。」

イ 第4条cの「選出、推薦」を「資格審査」

ウ 第14条を削除（以下の条項の数字を一つずつ繰り上げる）

(7) 価格について

6万部であれば220円であるが、6万部を下回れば余った印刷用紙を買い取る必要があるため、10円から20円程度値上げをしなければならない。このことについては、理事長一任ということで理事会で承認済みであると松本委員長より報告。

(8) その他

ア 松本委員長より、役員必携について次期クラブ三役研修会で各委員が講師となって説明してもらいたい、必携の変更点についてガバナーに伝達して欲しいと要望。

イ 松本委員長より、改正箇所について、ライオン誌に投稿予定であると報告。

ウ 松本委員長より、複合地区大会の議事規則を新規搭載すると説明（特に動議の取扱いについて）。

エ 中谷副委員長、荒川・岩沼各委員より、複合年次大会で決議が必要な箇所を各複合に案内してはどうか、会則の改正点について説明する次期クラブ三役研修会向けのビデオレターを作成してはどうかなど改正点について周知すべきとの意見。

オ 小林委員から、発行部数が、会員数より少ないとの問題提起。各ガバナーに、必携を購入するよう働きかけるべきとの意見。

### 3. 公益財団法人日本ライオンズ理事長 ローカルプロトコルの件

松本委員長より、ローカルプロトコルとして、公式プロトコルの枠外に、8複合として一般社団法人及び公益財団法人日本ライオンズの両理事長を、複合協議会議長の上に配置したと報告。既に、理事会、社員総会を通じて、各ガバナーも承認済みとのこと。

田名部理事長より、プロトコルは、日本ライオンズが複合の上位組織であるという意味ではないこと、外国と関わる際に、日本ライオンズ理事長の扱いで混乱を招き、オセアルからも位置付けを明確にするよう要請があったこと、日本ライオンズという組織そのものに対する様々な意見があることは承知しているが、混乱を招かないための措置であり、組織についての議論とは別問題と捉えていること、この理解について各委員は各複合で説明を尽くして欲しいことが説明、要望された。

荒川委員より、公益財団法人の理事長が一般社団法人の理事に就任していること、公益財団法人の説明を聞いたが、一般社団法人が公認されていないかのような話があり理解できていないとの意見があった。これに対し、田名部理事長より、2018年11月5日に、エイミーJ. ペーニャ法律顧問から山田元国際会長宛に、一般社団法人日本ライオンズが国際協会からライオンズの名称と紋章を使用することについて許可を得ていると返答を受けており、公認を受けていないとの指摘は当たらないと説明。

#### ・次回開催予定について

第6回会則委員会 1/22(月) 10:00-12:00 WEB

#### ⑤ 閉会挨拶 会則委員会副委員長 中谷 豊重

2023年12月11日

議事録作成人

MD330 会則委員会委員長 細川 孝雄

MD336 会則委員会委員長 松岡 諒

議事録署名人

一般社団法人日本ライオンズ 会則委員会委員長 松本 宰史

一般社団法人日本ライオンズ  
2023～2024 年度 第 2 回 YCE 委員会要録

◎日時 2023 年 10 月 5 日 15:00～17:00

◎開催方法 対面（日本ライオンズ事務所）

◎出席者

一般社団法人日本ライオンズ

理事長 田名部 智之 (八戸 LC)  
専務理事 増澤 義治 (諏訪湖 LC)

YCE 委員会

委員長 吉村 弘吉 (和歌山 LC)

各複合地区 YCE 委員長

MD 3 3 0 副委員長 青木 秀茂 (東京吉祥寺 LC) 代理出席  
MD 3 3 1 委員長 鈴木 善一 (千歳 LC)  
MD 3 3 2 委員長 菊池 徳男 (北上国見 LC)  
MD 3 3 3 委員長 藤川 清幸 (前橋中央 LC)  
MD 3 3 4 委員長 石本 雅之 (鯖江 LC)  
MD 3 3 5 委員長 正岡 章 (吹田江坂 LC)  
MD 3 3 6 委員長 蔵本 守雄 (高松源平 LC)  
MD 3 3 7 委員長 岡 秀昭 (大川 LC)

◎本日の出席者確認及び進行について

- ・吉村委員長は開会を宣言し、出席者を確認の上、挨拶を行った。

◎議事録作成人の指名

- ・委員 (MD335 委員長) 正岡章を議事録作成人に指名した。

◎議案

1. 前回議事録確認

前回の議事録を確認した。

各複合地区の幹事旅行社の確認があり、各複合とも 1 社とのこと。

2. 各複合地区より冬期交換予定について

MD 3 3 0 派遣：マレーシア 3 名、ニュージーランド 1 名

受入：シンガポール 1 名

MD 3 3 1 派遣・受入なし

- MD 3 3 2 派遣受入予定なし
- MD 3 3 3 派遣：メキシコ3名、マレーシア5名  
受入：メキシコ3名、シンガポール2名
- MD 3 3 4 派遣：ドイツ4名、イタリア7名、マレーシア4名、  
ニュージーランド1名  
受入：ドイツ5名、イタリア8名
- MD 3 3 5 派遣：マレーシア6名、ニュージーランド2名  
ドイツ1名、イタリア1名  
受入：マレーシア13名
- MD 3 3 6 派遣・受入なし
- MD 3 3 7 派遣：シンガポール9名  
受入：シンガポール3名

3. 今回問い合わせのあったニュージャージー州の窓口は332とし、インドは335とする。

◎夏期交換について現段階の計画確認

- MD 3 3 0 夏期春期合わせて、派遣52名、受入57名の予定
- MD 3 3 1 窓口3ヶ国と10月中にコンタクトを取り、調整する。
- MD 3 3 2 窓口として活動する。
- MD 3 3 3 夏期に25名でのユースキャンプを予定。  
ハンガリーとの派遣受入各1名を予定。
- MD 3 3 4 ユースキャンプ及び派遣受入の予定。
- MD 3 3 5 ユースキャンプ及び派遣受入の予定。
- MD 3 3 6 窓口の台湾と派遣受入とも8名の予定。
- MD 3 3 7 窓口のシンガポールと派遣受入とも8名の予定。

◎ユニフォーム新調について

フジマキネクタイとグローリーシバタ2社からの提案に対し、フジマキネクタイの方を採用する。  
布地ベストでカラーは白地に赤の縁ライン、胸に赤のYCEロゴ、背に赤地に白抜きのYCEロゴを入れ、JAPANのロゴも入れる。  
生地が3種類あるので、サンプル作成後に決定する。

◎次回委員会の開催について

11月24日13:00～16:00にWEB開催。

以上

一般社団法人日本ライオンズ  
2023～2024 年度 第1回 YCE 実務者会議 議事録

- ◎ 日 時：2023年11月21日(火)13：00～15：00
- ◎ 開催方法：ZOOMシステム
- ◎ 司 会：MD333YCE委員長 L藤川清幸

◎ 出席者

一般社団法人

日本ライオンズ	理事長	田名部 智之	(八戸 LC)
	専務理事	増澤 義治	(諏訪湖 LC)
	YCE委員長	吉村 弘吉	(和歌山 LC)
	YCE副委員長	田中 雄一	(狭山 LC)
各複合地区 YCE 委員会	MD330委員長	ベイリー 久美子	(加須 LC)
	MD331委員長	鈴木 善一	(千歳 LC)
	MD332委員長	菊池 徳男	(北上国見 LC)
	MD333委員長	藤川 清幸	(前橋中央 LC)
	MD334委員長	石本 雅之	(鯖江 LC)
	MD335委員長	正岡 章	(吹田江坂 LC)
	MD336委員長	蔵本 守雄	(高松源平 LC)
	MD337委員長	岡 秀昭	(大川 LC)

この他、各複合地区YCE副委員長、準地区委員長、複合地区事務局員等含む  
合計66名出席

1. 開会及び出席者の確認

藤川 MD333YCE 委員長は開会を宣言し出席者の確認を行った。

2. 議事録署名人及び作成人の指名

議事録署名人及び議事録作成人として下記の者を指名した。

議事録署名人 日本ライオンズ YCE 委員長 L 吉村 弘吉

議事録作成人 MD333YCE 特別委員 L 小久保兼佑

MD333YCE 特別委員 L 佐藤久栄

3. 日本ライオンズ理事長挨拶

田名部理事長が挨拶をした。



4. 日本ライオンズ YCE 委員長挨拶  
吉村委員長が挨拶をした。

5. 日本ライオンズ YCE 副委員長挨拶  
田中副委員長が挨拶をした。

6. 会議の目的説明

MD333YCE 委員長 L 藤川清幸

YCE 事業が素晴らしい事業であることは十分理解してはいるが、コロナ後の事業再開において、そもそもの膨大な事務量であることや事務処理方法を変更したことで様々な課題が浮き彫りになっている。また、各複合地区事務局の皆様も大変な思いをしている状況の中で、実際にこの事業に携わっている皆様のお力を集約して、YCE 事業の運営がより良い方向に向かっていくようにしたい旨説明があった。

7. 各複合地区の現状報告（実務的課題等）

MD330 ベイリー委員長

夏期事業再開に向けてヨーロッパ方面とはメールのやり取りが出来ているが、アメリカ MD4 との連絡が取れていないことが課題。

MD331 鈴木委員長

第 2 回委員会からは進捗はなく夏期に向けて活動を再開する準備が整った段階。

MD332 菊池委員長

当地域は外国人からは訪問先として魅力あるエリアではないために海外から派遣生を募ることが難しい。また、コロナで期間があいたため実務がわかるライオンが居なくなり事務局に頼っている。

MD333 藤川委員長

特別委員が事務を請け負う方向変更しようとしてはいるが事務局からの大きなサポートがあって成り立っているのが実情。様々なフォームや資料のやり取りで複合の判断だけで進められるのではなく準地区とのやり取りもある中で膨大な事務量があり、多くの時間を費やしている。この現状を踏まえて複合地区のツアーコーディネーターに外部委託が出来ない

か検討中である。また、2024年夏期キャンプを25名規模で予定しているが予算的にも厳しいところがあり他複合の情報をいただきたい。

MD334 石本委員長

イタリアとドイツから来日する予定。イタリアからは来日生のアプリケーションフォームが届いているが、ドイツからは人数だけの情報しか届いていない。また、事務処理に事務局員が夜8時まで残ってくれているが、単年度の委員長や経験のない事務局員では対応は無理。

MD335 正岡委員長

過去に関連のあった国々ともメール連絡を取って、派遣受入相手国がコロナ以前よりも増えたことにより、来夏の派遣受入ともに50名規模となり過去最大規模で事務局の事務量が増大している。

日本ライオンズの旅のしおりに変わるものとして渡航マニュアルを作成した。相手国ごとに渡航マニュアルを作ることをお勧めする。

MD336 蔵本委員長

相手国として台湾と交渉しており来夏の再開に向けて準備を進めている。台湾はMDの分割があり5MDに分かれた結果、今まで8名の派遣受入のところ10名に増員の依頼が来ている。

MD337 岡委員長

シンガポールを相手国として進めているが、冬だけの実施の為、夏のキャンプは不可能で冬のキャンプ開催を検討している。来冬の来日生が10名以上になればキャンプの開催が出来ると思う。

8. 実務者の意見

日本ライオンズ YCE 吉村委員長

MD334の状況をカバーするための協議をお願いしたいし、事業再開後の課題として気になることはMD334のドイツからの情報が2週間前でも届いていないこと。この点について実務者の方から助言をいただきたい。

MD330 宮崎事務局員

2週間前にホスト家庭が決まっていないことは良くあることで、出発時に決まっていないこともある。派遣生のご家庭からかなりのお叱りを受けている。その場では「現地では必ずライオンズのメンバーが受けてくれるか

ら安心して派遣に出してください。」と伝えるしかない。派遣生募集の段階でホストファミリーがギリギリまで決まらないことがある旨伝えて募集する必要があるのでは。また、無理をして派遣希望者を受入れて相手国に追加依頼をしても受入家庭が決まらないケースがあるので無理をしないことが重要。

#### MD331 平事務局員

今までアラスカの窓口が無くなった後は窓口をもっていなかったが、今回3ヶ国の窓口となったので今後の対応が大変。MD331の事務局は一人の為、これから誰が対応するのか不安。

来日生同士のSNS、メールでの情報交換があり、ホームステイ先の対応（ドイツニーランドやUSJに連れて行ってもらった云々）、地域の差によって受入家族との関係が悪くなることがあるので、日本ライオンズとして考えてもらいたい。

#### MD332 高橋事務局員

地方のためMD330、MD335さんのような大都市の複合を見習って進めていくことになるので、皆さんの情報をいただきながら手探りで派遣受入を1家庭ずつ増やしていくようにしたい。

窓口は委員長が受け持つと決まったものの派遣受入が決まった後の、実際の事務処理、アプリケーションフォーム等のやり取りについて不安が残る。

#### MD333 藤原事務局員

安全を第一に考えていただきたい。例えば、募集を締め切った後に派遣生を追加するような行為は、複合職員の作業に影響が出るだけでなく、先ほど話があった相手国からアプリケーションフォーム等が届かないといった事につながりますので、安全を最優先に考えてやめてもらいたい。

窓口制度について直接やり取りをした方が、効率が良いと思う。当複合の藤川委員長が以前から社団HPにYCEのサイトを作り日本全国のYCEキャンプ、ホームステイの有無を掲載の上、各複合へのリンクを貼ることを提案しているが、再度ご検討をいただきたい。

MD333はMD334からの窓口移管について断っていたのだが、最終的に移管された相手国に対しての対応如何はこちらの自由という条件で譲歩することとなった。しかしながら、現状は社団から指示または依頼が来ている。指揮命令系統を確認の上、改善をお願いしたい。

YCEは奉仕事業であり奉仕するのは職員ではなくライオンである。MD333

では特別委員を配置して事務移管を目指しているが、特別委員の事務量が多く対応が困難であるならば事業のキャパを再検討するなど必要と思う。

#### MD334 山中事務局員

引継ぎは受けているが実際の実務は初めてで後手に回っているのが実情。アプリケーションフォーム等の資料がなかなか来ないということは聞いてはいたがどこまで待てばよいのか日々探り探りで対応している。また、日本ライオンズで共通のフォーム等あるのであれば、情報共有をしてもらいたい。

#### MD335 真下事務局員

ホストファミリーが見つけれない、または海外派遣生が保護者の意向で無理に行かせた場合に1日でホームシックになってしまうことがある。派遣も受入も無理がある。受入れられるキャパはどのくらいか検討するべき。ニュージーランドは以前10名の受入だったが来夏からホストファミリーが見つからず4名と言われている。MD335としても同じ状況があるので、普通にこだわる必要はないと思う。窓口については直接やり取りをして良いと思う。キャンプのあるなしで変わると思うが、ホームステイだけであれば特に直接で良いと思う。また、キャンプについて予算がきついということであれば合同で実施することも良いのではないか。ツアーコーディネーターについては派遣生と直接やり取りをしてチケットの取得をしてもらいたい。特に国内移動の分は事務局が関与することなく進めてもらえば事務量がかなり削減できる。

#### MD333 藤川委員長

先ほど述べたように MD333 ではツアーコーディネーターに外部委託することを検討しているが、日本全体として同じ仕組みを構築できれば良い状況を作られると思っている。

#### MD336 高杉事務局員

受入家庭を見つけることが困難になってきている状況を踏まえて受入人数をよく検討してもらいたい。英語圏からが良い、男性より女性が良い等、条件が付くことが多い。当初 YCE 専属で雇入れられたが現状は他の職員が辞めていて、他の業務と並行して全て自分が対応している。つまり、YCE 専属の従業員が必要だっ

たと言える。現状はコロナで YCE が中断している間にすべての業務がさらに増えてきていてキャパオーバーになることを懸念している。

#### MD337 山下事務局員

コロナ明けの対応として事前に協議があり信頼できる相手国としてシンガポールとだけ再開することが決まっていたので、現状ではそれほど困ってはいない。ただ、日本ライオンズからのマニュアルや募集要項、頒布品の申込書など委員会の後に情報共有されていたものが現在は発信されていない。うまく機能していないのではないか。

また、窓口について MD337 ではシンガポールに絞って対応することにした。他の振り分けられた国々は情報を持っていないために一旦保留にしている。これらの国と交流が途切れてしまうことを考え、YCE 事業を今後活性化することを求めるのであれば、担当窓口制度を開放した方が良い。

#### MD337 北プロジェクトチームメンバー

コロナ過 3 年間の間に YCE で事故が起こった際の対応マニュアルを作成した。その他、多くの議論を重ね、国際協会の法務部との協議もしてきた。プロジェクトチームの議事録や作成したマニュアル、アプリケーションフォーム等、細分化されて資料が残っているはずなので確認をしてもらいたい。

また、来日生のホームステイ地区についても協議済みで、来日に関する相手国とは、受入れるのは日本なので、日本国内のどの県に行くかは指定できないことを説明の上、交渉を進めるように決まったはず。この事を含めて共通事項をある程度決めていったはずなのに現日本ライオンズ YCE 委員会に伝わっていないこと、日本ライオンズから複合地区に情報共有されていないことが残念でならない。コロナ過の 3 年間に一生懸命やってきたことが無駄になってしまっている。

今までは日本ライオンズが複合地区の派遣枠の情報を取りまとめて全国の複合に情報発信するようしていたのだが、現状は複合地区の委員長同士のやり取りで決まっている状況で不平等さを感じていて、地方へは派遣生が来なくなってしまう。

MD337 では青少年育成事業のスペシャリティークラブを立ち上げて、このクラブで事務作業をフォローしていくようにした。同様のことを複合地区、準地区での検討、日本レベルでも検討してはどうか。

また、旅のしおりの最新版がないので MD335 複合地区独自のマニュアルを作成したとの話があったが、このような良い情報を日本ライオンズで吸い

上げて各複合地区に情報発信することも検討してもらいたいし、これらをもとに日本ライオンズでさらに良いものにしていくことも必要。良い書類は良い書類として日本ライオンズで作し、日本ライオンズから複合地区に情報発信していくという循環を作り、YCE 事業の潤滑油になっていかないと日本ライオンズの YCE 委員会の必要性がなくなってしまう。あらためてこの事を検討してもらいたいし、今までのルールも確認してもらいたい。

日本ライオンズ YCE 吉村委員長

もっともな意見として承りましたし、北 L の発言が本来のあり方だと思う。また、マニュアル等引き継いでいなかったことを反省している。日本 YCE 委員会で情報共有できるようにすることが一番だと思うし、それが出来て初めて MD 間の意思疎通が図れてお互いの協力出来るのではないかと感じた。

MD330 加藤 L

MD337 北 L が発言されていた共通フォーム、ルールに関して早急に日本ライオンズ YCE 委員会で確認をして各複合に情報発信してもらいたい。来日 YCE 生について旅行気分で来る子が多くて困る。日本では派遣生に対して事前オリエンテーションをしているのだが、各相手国では実施されていないと思われる。来日 YCE 生に対して、事前に厳守次項、ルール等の説明を実施してもらうための段取りを日本ライオンズで構築してもらいたい。

MD333 小久保 YCE 特別委員

共通フォームの作成、来日生へのオリエンテーションについてぜひ実施してもらいたい。事務局員の負担軽減で委員長、特別委員で対応をしているが、多量な仕事量からすると今後役員のなり手が居なくなると思う。出来るならばツアーコーディネーターなど専門家に委託するのが良いと思う。受入家庭を探すのがとても困難なので、受入家庭数を確認した上で来日生を募集した方が良い。

MD332 YCE 洞口副委員長

これまで皆様のご意見を聞いていて悲痛な思いばかり伝わってくる。この状況ではこの事業は存続できない。また、共通フォームや共通ルールと

なると全日本レベルで取り組むべきと思う。複合では専属の事務局員は雇用できないが、全国の複合でお金を出し合いながら、日本ライオンズで専属の人員を雇えば情報の共有も図れるし、様々なスキルが蓄積されると思う。

#### MD337 北プロジェクトチームメンバー

コロナで中断している3年間、日本ライオンズ YCE 委員会で同じことを話し合い、日本ライオンズに訴えてきたが拒否され続けてきた。3年間で結論が出ないまま現状になり、共通であるべきものがすべて崩壊している。今の日本ライオンズ YCE 委員会が崩壊していると言える。今になってまた同じ意見が出るということは、やはりそうするべきだったということだ。また、来日生へのオリエンテーションについても、各国でオリエンテーションを実施した生徒を送り出すことの依頼書と誓約書の雛形があるはずなので確認してもらいたい。

#### 日本ライオンズ YCE 吉村委員長

日本ライオンズ YCE 委員会で北 L 指摘の共通資料、マニュアル等を掘り起こして情報共有を図りたい。

日本ライオンズで専門の事務局員を雇うことが出来たら良いと思う。ただ、現在の状況では予算がないので、複合地区に YCE 事務局員負担金のようなものをお願いして実現することが出来るのか検討したい。これにより共通フォームとともに日本は一つであるということを訴えかけられる形で改善していきたい。

皆さんの悲痛な叫び、大変な実態を理解した。

#### MD337 玉川委員

事務局員の皆さんの大変さが良くわかったし、ライオンが事務局に放り投げて顔だけ作っていることも良く分かった。今日はまだ突破口的話し合いだったので今後も意見交換を続けていけたらと思う。

#### 日本ライオンズ田名部理事長

貴重な意見をいただいた。社団がやるべきこと、社団に求められていること、複合で困っていることは社団が解決できる可能性があるということを理解した。社団が拒否している、断っているところととらえているところがあるようだが、全国8複合の議長の皆さんが全国の問題点を持ち寄って解決するのが社団の役割なので、複合地区においては議長へ、準地区においては

ガバナーへ相談していただき、具体的な解決案を社団の理事会に提案してほしい。現在社団にはお金はないが、複合から素晴らしいYCE事業に対してお金を用意し、仕事としては社団が担うべきだということであれば、準備を今期から進めるべく前向きに話を進めたい。

日本ライオンズは拒否している訳ではないので誤解のないようお願いしたい。

#### 日本ライオンズ増澤専務理事

現場で対応されている皆様の声が聞けたのはとても良かったと思う。ご指摘いただいた社団に残っているものに関しては皆さんに提供してフォローしていきたい。今後については多くの意見をいただいたのでYCE委員会で議論していきたいし、複合議長の皆さんからお力添えをいただきながら方向性を見つけていきたい。また、社団で出来ることがあれば努力する。

#### 9. 次回開催日

吉村委員長から来年の夏に向けて共通フォーム等を整えて3月ころに開催の意見があったが、実際は夏に向けて既に動き出している実情を踏まえてももう少し早い段階で開催した方が良いのではとの意見も出た。結果開催日は決まらなかった。

#### 10. 閉会

##### 日本ライオンズYCE 吉村委員長

貴重なご意見ありがとうございます。ライオンズは皆の力で作り上げていくもの。今日のいただいたご意見を聞きながら、国際交流をしていきたい、YCE事業を成功させたいと強く思いました。頑張っていきますので今後もよろしくお願ひします。

議事録署名人 吉村 弘吉

議事録作成人 小久保 兼佑

議事録作成人 佐藤 久栄



(2023-2024)一般社団法人日本ライオンズ

## 第三回 YCE 委員会 議事録

開催日時: 2023年11月24日(金) 13:30~16:00

開催場所: リモート Web 会議(Zoom)

参加者: 一般社団法人日本ライオンズ

理事長	田名部 智之	(八戸 LC)
専務理事	増澤 義治	(諏訪湖 LC)

### YCE 委員会

委員長	吉村 弘吉	(和歌山 LC)
副委員長	田中 雄一	(狭山 LC)

### 各複合地区 YCE 委員

330 複合地区委員長	ベイリー 久美子	(加須 LC)
331 複合地区委員長	鈴木 善一	(千歳 LC)
332 複合地区委員長	菊池 徳男	(北上国見 LC)
333 複合地区委員長	藤川 清幸	(前橋中央 LC)
334 複合地区委員長	石本 雅之	(鯖江 LC)
335 複合地区委員長	正岡 昭	(吹田江坂 LC)
336 複合地区委員長	蔵本 守雄	(高松源平 LC)
337 複合地区委員長	岡 秀昭	(大川 LC)

次第による出席者確認と進行を一般社団法人日本ライオンズ YCE 吉村委員長が行った。

### 挨拶

一般社団法人日本ライオンズ田名部理事長より 11月21日の実務者会議の問題点など解決して行きライオンズ発展に寄与したいと挨拶。

### 議事録作成人の指名

MD331 委員長の鈴木善一を指名した。

### 議題

1. 10月5日開催の議事録に関して確認した。

2. ユニフォームについて

前回フジマキネクタイに発注決定し、添付の変更写真の内容で承諾した。

正面国旗の囲いを鮮明にしてほしい意見もあった。

費用については MD333 藤川委員長にて交渉し各委員長に直接連絡することになった。(交渉にあたり各 MD に後日想定枚数を確認する。)

※発注方法に関しては、各複合地区で取りまとめ→日本ライオンズへ注文する。  
納品に関しては、フジマキネクタイ→各 MD 宛て直接発送とする。  
田中副委員長からは、春季タイへ間に合うようにほしいと要望あり。

3. 冬季交換の情報共有及び最終調整

来日生に関してはマレーシア 13 名・メキシコ 3 名・イタリア 6 名・ドイツ 4 名・  
シンガポール 3 名(6 名記載)  
MD333 地区 5 名・MD334 地区 10 名・MD335 地区 13 名  
シンガポールに関しては 3 名  
(前半 MD337 にて 3 名→後半 MD330・1 名・MD333・2 名)

MD333 藤川委員長より冬季はキャンプをせずウェルカムレセプションのみと報告がされた。

MD334 石本委員長よりドイツに関して返答が無く困惑している状況報告がされた。

4. 夏季交換の情報共有及び最終調整

MD330 アメリカ応答無

フランス 5 名・オランダ 4 名で調整中。

※フランスでのキャンプ開催が 7 月中旬で日本の夏休みとズレているが過去の経緯について質問があった。

MD334 石本委員長が返答した。直接生徒の学校と話して個々に対応した経緯ありと説明された。

MD337 岡委員長より、現状昨今の大学は定期講習などからキャンプ参加は難しいと思われる説明がされた。

MD331 フィンランドより MD333 地区に連絡あり、12 月 1 日議長・ガバナー参加 MDYCE 会議開催承認後スイス・スペイン窓口交渉も併せて行う予定。

※MD334 石本委員長よりヨーロッパフォーラム参加によるフィンランド 10 名・スペイン 1 名・スイス 1 名の希望があることも踏まえて対応予定です。

MD332 春期タイの対応あり。1 名希望・1 名検討中。

テキサスとノルウェーに関して受け入れ可能との返事があり進めて行くとの事。12 月 11 日複合会議にて派遣と併せて調整する。

ニュージャージーに関しては例年仙台育英学園と約 20 名の交換留学事業を行っているので支援する形か、332C 地区にて検討調整中です。

MD333 キャンプを開催。人数については現在 25 名程度で考えており検討中。

MD334 イタリア 17 名派遣希望。ドイツ 5 名派遣・エストニア 2 名交換・ベルギーに関しては例年約 1、2 名交換を行っているので例年通りの予定。

MD331 にてスイスの対応はしてほしいと要望あり。

MD335 マレーシア 25 名・オーストラリア 10 名・ニュージーランド 4 名・

ミシガン2名・アルバータ2名・リトアニア1名・ルーマニア2名派遣予定。キャンプは335-Bにて4日間ほど開催したい。地区としてか複合としての開催かは検討中。

MD336 台湾25名キャンプ開催。ヨーロッパとアメリカは円安等物価価格などから台湾のみで対応。国際協会HPのキャンプ情報からの問い合わせは協議する。

MD337 シンガポール中心に対応。派遣は12名。アメリカなど希望があれば今後協議する。

※派遣締切に関しては基本1月末日から2月上旬で募集締切で統一する。

アプリケーションフォームについて

ヨーロッパ用をベース活用し日本統一書式として利用する。

※ただし、ヨーロッパ（キャンプ含）への派遣の場合は、すべて記入が必要。

フォームⅢのコロナウィルスに関する事項を削除する。

フォームⅤ 費用負担に関する部分も削除する。

※上記2点を反映した統一フォーム変更までは、既存のライオンズユースキャンプ交換の参加申込書の書式フォームを統一書式とし利用いただく。

5. 11月21日(火)開催 YCE 実務者会議について

MD337 地区のプロジェクトチーム作成の事故マニュアルや旅のしおりについて確認した。

増澤専務理事より上記の資料に関しては2022年6月及び各MD委員長に送付した(一社)日本ライオンズYCE資料(14P)2022年4月25日改定資料に関することなので再度確認するよう伝えられた。

上記YCE資料と交換生ハンドブックを併せ地区YCE委員と共有するよう説明された。

6. YCE 幹事旅行会社について

MD330(名鉄観光) MD331(JTB) MD332(日本旅行) MD333(ウィントラベル)

MD334(JTB) MD335(JTB) MD336(近畿ツーリスト岡山支店) MD337(コスモ観光)

7. その他

ID 番号附番について

例)イタリア3名 派遣の場合 IT1(国IT+人数1) IT1・IT2・IT3

受入れの場合 ITJ1(国IT+日本J+人数) ITJ1・ITJ2・ITJ3

8. 次回委員会開催日時

第4回YCE委員会 2024年1月16日 13:30~16:30 web開催

閉会挨拶

一般社団法人日本ライオンズ増澤専務理事より、課題が多いと思われませんが頻繁に連絡

を取り合い調整していただき資料なども現代版に修正していただき 8 複合で共通して利用促進出来れば良いと話され会議参加メンバーに労いの言葉で挨拶され閉会した。

以上。

議事録作成人

MD331YCE 委員長 鈴木善一



2023 年 11 月 1 日

(2023～2024 年度)

臨時アラート委員会(WEB) 議事録

・ 2023 年 10 月 26 日(木) 13:30～15:30 ZOOM システム

・ 出席者

一般社団法人日本ライオンズ

理事長	田名部 智之	(八戸 LC)
専務理事	増澤 義治	(諏訪湖 LC)

アラート委員会委員長	池原 堅	(福山久松 LC)
アラート委員会副委員長	新里 正雄	(沖縄 LC)

日本ライオンズ アラートチーム

統括リーダー	佐々木 健太	(大阪若獅子 LC)
東日本統括リーダー	木村 知紀	(青森 ZERO LC)
西日本統括リーダー	藤井 信英	(岡山みらい LC)

アラート委員

MD330 委員	増田 正明	(東京田無 LC)
MD331 委員	浅野 敬一	(北見中央 LC)
MD332 委員	木川田 明弘	(仙台高砂 LC) 【欠席】
MD333 委員	中田 泰範	(新潟東 LC)
MD334 委員	堀岡 昭夫	(金沢東 LC)
MD335 委員	堀口 清隆	(神戸みなと LC) 【欠席】
MD336 委員	西尾 慎一	(鳥取 LC)
MD337 委員	高野 裕子	(熊本平成 LC)

委員長補佐・MD333 アラート班長  
若林 純也 (水戸葵 LC)



- ・開会宣言 2324 年度 アラート委員会委員長 池原 堅

池原委員長 11月13日の日本ライオンズアラート委員会の開催に向けてより詳細を詰めた  
く今回臨時のアラート委員会を開催することにした。議論を詰めていきたいのでよろしくお  
願いいたします。

- ・出席者の確認(若林委員長補佐)

- ・一般社団法人 日本ライオンズ理事長ご挨拶

田名部智之理事長 社団はさまざまな改革を進めていくつもりである。アラート委員会にお  
いての内規など決めることは今期で決めていく。国内で大きな災害があった場合、スムーズ  
な連携をお願いしたい。来年2月の全国アラートセミナーの機運を上げて行ってほしい。

- ・議事録作成人の指名(334MD 堀岡昭夫委員を指名)

- ・前回議事録の確認・承認

## 議案

- ① 11月13日(月)開催予定 アラート委員会開催場所について

### 池原委員長

11月のアラート委員会を岡山で開催するにあたり、交通費について増澤専務理事より説明を  
お願いしたい

### 増澤専務理事

規約において、現在委員会は東京開催となっている  
東京以外の開催地への旅費は支給されない。  
現在の規約では、自己負担となっている。

### 池原委員長

皆さんの意見をお聞きしたい。

### MD330 増田委員

キャビネット会議で岡山は参加できない。

### MD331 浅野委員

14日はガバ協があるが、何とか参加したい。自己負担で良い。



MD334 堀岡委員

自己負担が良い

MD336 西尾委員

現地を見る必要がある、自己負担が良い

MD337 高野委員

自己負担が良い

東日本木村リーダー

現地の岡山で開催してほしい。顔の見える会議で実行委員の顔合わせも含めて。  
アラートは今までも自己負担が定番であった。

西日本藤井リーダー

会場を見てほしい、アラートは自費が基本  
他の委員会でもあり得るので社団でも考えてほしい。

日本佐々木リーダー

岡山で実行委員会をする場合、東日本の委員に交通費の負担が大きい。  
しかし、交互で全国アラートセミナーを開催するので、お互いさま不平等ではない。  
一部負担は、社団で今後協議してほしい。

池原委員長

会場を見たい、意思疎通が大切である。  
期が変わるたびに、決めたことが変わらないようにしていかなければならない。  
当日、岡山まで参加出来ないメンバーには ZOOM や事前に会場を録画するなど、多くの委員  
が参加できるように方法を考えてほしい。

日本佐々木リーダー

ハイブリットです。  
視察を先にして、事前に会場を録画すればよい。

一号議案 決議

岡山開催で良いか

全員承認



## 交通費は自己負担で良いか 全員承認 以上 2 件可決承認される

### ② 組織図・運営規則に関する件

東日本木村リーダーより組織図の共有をした。

#### 日本佐々木リーダー

池原委員長より指摘があり、開催複合地区に全てお任せしているのが、昨年の仙台での全国アラートセミナーであった。

8 複合からお金をいただいている、余剰金が出ているので次期開催地に渡すことになっている。

そこで、今後開催責任は日本ライオンズアラート委員会とすべきなのではないかと思う。

社団のアラート委員会に、計画委員会を設置するのはどうだろうか？

開催地は、実行委員会としてはどうか？

委員長よりこの組織を作る意味

全国の MD 委員長の意見を聞くのが重要ではないか？

皆さんの意見をアラートセミナー開催に向けて入れていきたい。

補足として、開催にあたり既に 8 月～9 月には開催地では準備をしている。

2 月にフォーラムがあり、2 月～7 月に計画準備実行委員会を、社団アラート委員会内に設置して、8 月には開催地にバトンタッチをする流れが理想的ではないか。

10 月には、全国に案内を出していきたい。

#### 増澤専務理事

開催地の MD 班長をどのように実行委員会にいれるのか？

#### 日本佐々木リーダー

330～337 の班長を実行委員会に入れてはどうか？

計画委員会(社団 日本ライオンズアラート委員会)には、班長は入っていない。

#### 田名部理事長

組織は計画・実行各委員会で良いが、呼び名を変えた方が良いのではないか？

例えば計画委員会を、主催委員会(計画)社団日本ライオンズアラート委員会とし

実行委員会を、開催地委員会(主管)ライオンズクラブ各 MD 地区としてはどうか？

#### 東日本木村リーダー

二つの組織は、内部だけの立て付けになる。





あくまでも、開催は日本ライオンズアラート委員会。主管は開催地 MD になる。

若林委員長補佐

班長は開催地委員会に入れてはどうか？

アドバイザーではなく、サポート委員として入ってもらう。

班長をいろいろ経験させた方が良い。

計画サポート委員 MD330～MD337 班長として入れてはどうか？

日本佐々木リーダー

計画サポート委員つまり班長？

東日本木村リーダー

班長はオブザーバーでいいのではないか？

サポーターで良い

池原委員長

皆さんの意見を聞いてほしい

330 増田委員

班長は何をしたらよいのか？ 宙ぶらりんになっている。

331 浅野委員

全体会議には、班長が入るのでオブザーバー参加が良い

331 の班長は、やる気がやるから大丈夫だ。

333 中田委員

オブザーバー参加で良い。

336 西尾委員

オブザーバー参加してもらう。経験を積んでもらうことが大切である。

337 高野委員

オブザーバー参加で問題はない。

新里副委員長

オブザーバー参加で良い。

採決 組織図について修正を加えたうえで全員賛成可決



③ その他(名刺)について、先に協議をした

池原委員長

名刺の件、必要であるという意見がある。

個人が費用を出すのであれば、個人的には問題ないと考えている。

増澤専務理事

ライオン誌・三役は既に名刺はある。

MD で使っているメンバーもいるが、個人負担が原則である。

アラート委員会から社団に委員長が要請していただければ、やり易い。

日本佐々木リーダー

前年は基本デザインを貰って個人が自費で作っていた。

池原委員長

途中であるが、一度統括コメント

組織図と運営規定をまとめて、執行理事会に上げることを目指す。

組織図は社員総会で承認されていない、2022年に作ったものは(案)である。

現在、正副と各リーダーで詳細を見直ししている。

第二回の社員総会に上程できるように作業をしている。

調査アンケートは、331・332・336が回答しているが

このアンケートは急いでいるわけではない。

次回の社団アラート委員会には、提出してほしい。

全社協との協定は、毎年必要です。遅れた年度がある。

毎年更新すること、毎年7月に更新をお願いしたい。

第三号議案 全国アラートフォーラム 次期開催地について

日本佐々木リーダー

昨年は仙台で開催した。

2023～2024 は岡山

2024～2025 は東日本

2025～2026 は OSEAL のため、331 の北海道

以上の予定である。

次年度は、330・333 で開催してほしい。



常総災害から丸 10 年になるので、手を上げてほしい。

若林委員長補佐

皆さんの意見をお聞きしたい

330 増田委員

333 にお任せする

333 中田委員

頑張って開催します。

東日本木村リーダー

問題なし、333 で開催しましょう。

新里副委員長

よろしいです

若林委員長補佐

MD333 には準地区は 5 地区あるので、相談して計画していく。

3 号議案 決議

2024～2025 の全国アラートフォーラムは、333MD の茨木県で開催することに  
全員承認する。

第四号議案 アラート委員会 研修会計画並びに講師養成講座について

池原委員長

研修制度・講師養成制度、取得制度があると良い。

日本佐々木リーダー

運営規則だけでなく、活動規定、活動ルールを決めていきたい。

研修会出席の対象者は、委員と班長です。

東日本と西日本に分けるか、一本にするか？

2 月か 3 月頃を目安に研修会を行いたい。

MD に下ろし、準地区に速やかに下ろす必要がある。

池原委員長

ステップが上がっていると思う。



研修会を行うことで、レベルアップが図れる。

#### 若林委員長補佐

公認ガイディング・熟練者が育っていくと思う。

#### 東日本木村リーダー

調査アンケートの意図を知りたい。

#### 池原委員長

社団日本ライオンズにアラート委員会が設置された。

大きな災害が起きた時に活用しやすい。

データがあれば、協議しやすい。

充てにするわけではなく、また圧力をかけるものではない。

誤解を招くものではない。

#### 東日本木村リーダー

13日の岡山市に、多くの335MDの実行委員会メンバーが集まってほしい。

顔合わせをしたい、想いの共有が必要である。

キックオフにしたい。

#### 西日本藤井リーダー

今日の臨時アラート委員会で、組織が決まったが

主催委員会の決めたことを軸に動くべきか？

#### 池原委員長

もうすでに活動していると思うので、新たな実行(主管)委員会を336MDで活用してほしい。

#### 東日本木村リーダー

昨年は、実行委員会で案内文書を作りMDに流していたが、今回は社団から出す。

社団～各MD～各準地区に早く下ろす。

来られない理由を作らせない。

#### 増澤専務理事

昨年は、MDから負担金があった。

今回も集めるのであれば、早めに社団に上げてほしい。

#### 西日本藤井リーダー

今回は、負担金を求めない



日本ライオンズ発行<2023-24-A-M 臨時> 添付資料：アラートフォーラム組織図 11/15 現在

閉会の挨拶

新里副委員長

新たな組織図が出来上がって良かった。

11月13日に岡山市でお会いしたい、今日のご苦勞様でした。

2023年11月1日(水)

議事録作成人 MD334 アラート委員長

堀岡昭夫



日本ライオンズ発行<2023-24-A-M 臨時> 添付資料：アラートフォーラム組織図 11/15 現在



## 全国アラートフォーラム2024 IN 岡山

主催：一般社団法人 日本ライオンズ アラート委員会  
主管：ライオンズクラブ国際協会336複合地区



### 組織図

- 主催委員会→フォーラム内容の立案
- 開催地委員会→フォーラム開催にあたり実務作業

#### 主催委員会 (計画) 一般社団 日本ライオンズ

**大会委員長**  
L池原 MD336

**大会副委員長**  
L新里 MD337

**大会顧問**  
L田名部 MD332

**計画委員長**  
L藤井 MD336

**計画副委員長**  
L木村 MD332

**計画委員長補佐**  
L西尾 MD336

**委員**  
L堀岡 MD334

**委員**  
未定 MD335

**計画サポート委員**  
L増田 MD330・L遠野 MD331・L木川田 MD332・L中田 MD333

#### 開催地委員会 (主管) ライオンズクラブ 開催地委員会 MD336

**実行委員長**  
L西尾 MD336

**アドバイザー**  
L佐々木 MD335

**開催地大会顧問**  
L澤 MD336

**アドバイザー補佐**  
L木村 MD332

**アドバイザー補佐**  
L藤井 MD336

**アドバイザー補佐**  
L畑中 MD336 (現職)

**事務局長** L松岡 (336-B)  
**副事務局長** L佐々木 (336-B)  
**総務部長** L藤井 (336-B)  
**副部長** L白坂 (336-A) L眞治 (336-B)  
**フォーラム部長** L田部 (336-C) L中川 (336-D)  
**副部長** L廿日出 (336-C)  
**交際部長** L細田 (336-A) L井上 (336-B) L出射 (336-A)  
**副部長** L瀬田 (336-D) L川本 (336-B)

**計画サポート委員 (オブザーバー)** MD330～MD337 現員

# 2023-24年度ライオン誌日本語版委員会 第4回会議 報告書

日 時：2023年11月9日(木) 14:00～16:00

場 所：一般社団法人日本ライオンズ ウェブ会議システム・Zoom

出席者： 国際理事	濱野 雅司 (埼玉県・岩槻ライオンズクラブ)
国際理事	城阪 勝喜 (大阪港ライオンズクラブ)
委員長	藤谷 文雄 (332複合地区／秋田県・大曲ライオンズクラブ)
編集長	団 英男 (335複合地区／兵庫県・神戸みなとライオンズクラブ)
委員 一般社団法人専務理事／PRマーケティング委員長／事務長	増澤 義治 (334複合地区／長野県・諏訪湖ライオンズクラブ)
委員	上田 隆政 (336複合地区／広島県・三原ライオンズクラブ)
委員	淵野二三世 (337複合地区／大分ライオンズクラブ)
一般社団法人理事長	田名部智之 (青森県・八戸ライオンズクラブ)
一般社団法人常務理事 PRマーケティング副委員長	星野 勝美 (群馬県・太田ライオンズクラブ)
ITアドバイザー	荘 英隆 (東京恵比寿ライオンズクラブ)
欠席者： 国際理事	鶴嶋 浩二 (北海道・札幌中島ライオンズクラブ)
委員	田中 明 (330複合地区／埼玉県・和光ライオンズクラブ)
委員	馬場 哲也 (331複合地区／北海道・函館東ライオンズクラブ)
委員	三枝 久夫 (333複合地区／栃木県・佐野西ライオンズクラブ)



藤谷委員長の開会あいさつの後、濱野、城阪各国際理事からのあいさつと国際理事会での活動について報告があった。田名部理事長からはあいさつの中で、ライオン誌検討委員会を社団側とライオン誌側の出席者数を同数にして開催予定であることと、今年度中に問題を解決したいとの意向が表明された。出席者確認の後、藤谷委員長と団編集長の進行で議事に入った。

## 【議事】

### 1. ライオン誌日本語版の運営

#### ●2023年7～9月ライオン誌関係会計報告

社団の2023-24年度正味財産増減計算書を資料とし、ライオン誌関連科目



を確認した。9月はライオン誌印刷版の発行がなかったので、直接出版費は執行額8,527,444円（予算消化率26.8%）で先月からほぼ変動なし。毎月発行のデジタル版関連費は3回発行完了時点で執行額1,320,948円（同19.0%）で、予算に沿って運営されていることを確認した。

●2022-23年度下半期補助金財務報告

前回委員会で確認した「理事会方針書 第16章ライオン誌」（2023年7月11日改訂版）に公式版ライオン誌に半期ごとの財務報告を求める記載があることについて、国際協会マーケティング部PR課のGiovanna Farmerコーディネーターに報告書提出の可否を再確認した結果、「今後は財務報告の提出は必要ない」と回答があったことが報告された。

## 2. ウェブマガジン編集関係

●2023年11月号（11月1日公開）出来

公開済みの11月号の出来を確認した。11月中の掲載予定で、まだ原稿や写真が届いてない「トピックス」欄の記事については、執筆者、担当者に協力していただき記事編集を進める。

●2023年12月号～24年2月号更新予定(案)

12月号～24年2月号の主要コンテンツについて、活動概要や記事の内容、取材経費が提出され承認した。

●「取材レポート」取材対象候補

取材対象候補に挙げたクラブ・アクティビティのリストを確認した。

## 3. 印刷版編集関係

●2023年秋号（10月25日発行／81,500部）出来

発行済みの秋号再校の出来を確認した。

●2024年冬号（1月25日発行）台割（案）

基本36ページと40ページの台割2案を確認した。「国際理事だより：濱野国際理事」「編集室：馬場委員、三枝委員」「特集：小児がん」。マニラ・フォーラムと、公益財団法人日本ライオンズの全国特別支援学校フットサル大会の記事を掲載するため、投稿欄のページを減らす案と、基本台割に4ページを追加する案（印刷費約17万円増）を検討。協議の結果、会員に伝えるべき情報がある場合はページ数を増やして発行すべきとの意見で一致し、40ページ建てとすることを決定した。

●2024年春号（4月25日発行）台割（案）

44ページの台割案を確認した。「国際理事だより：城阪国際理事」「編集室：団編集長、増澤委員」「特集：ミッション1.5」。SON冬季ナショナルゲーム（11月18日～24年2月25日）の記事は2ページを予定。10月開催の公式版編集者ウェビナーで2024年1月に国際本部からミッション1.5に関する記事8

ページ分と表紙の指定記事が配信されるとの情報があったのを受け、8ページを追加する台割案（印刷費約32万円増）を検討した。国際本部からは過去にも「LCIFキャンペーン100」に関する指定記事掲載の要請があり、2022年3・4月号に記事10ページと表紙を掲載したが、特別記事掲載に対する追加補助金はなかった。春号のページ数については、印刷版出版予算との兼ね合いも確認しつつ、次回委員会で引き続き検討する。

印刷版の発行に関して城阪国際理事から「国際協会が公式版に義務づけているのは年2回の発行だが、日本語版は年4回発行している。ウェブ版を閲覧すればよいという会員もいるので、年4回のうち2回は、会員の希望を調べて必要ない会員には送付しないようにしてはどうか」との考えが示された。城阪国際理事の提案については、次回以降の委員会で検討する。

#### 4 主要記事予定

- 2023-24年度主要記事予定

今年度の印刷版及びウェブマガジンの主要記事予定を確認した。

- 2023年12月取材経費概算

12月に予定している取材2件の経費概算が提出され、承認した。

#### 5. その他

- ライオン誌出版物

改訂作業中の『ライオンズクラブ入門』の再校を確認した。渕野委員から提案があった、広く用いられている「RC」「ZC」などの役職の略語を記載する案について検討。用語集の該当項目にカッコ書きで追加することにした。また、カタカナ2語以上の複合語における「・」の使用について協議。ライオン誌としてより読みやすい表記で統一を図る必要があるという意見でまとめ、具体的な基準については編集長の判断に委ねることにした。以上の点を含めた修正を来週中に終え、各委員による最終版の確認を経て、遅くとも11月末日までのPDF版公開に向けて準備を進める。

- ServannA（サバンナ）関係

荘ITアドバイザーから、国際協会の新しいデジタルツールLion Portalへの移行に伴うサバンナへの影響について、OSEAL調整事務局からはまだ具体的な連絡がないことが報告された。これに関連して濱野国際理事から、カイロ国際理事会でLion Portalの準備には遅れがあるものの今のところ1月1日の運用開始を目指しているとの報告を受けたこと、またテクノロジー部職員への確認でサバンナと本部システムとの連動は従来通りになるとの見通しを聞いたとの情報提供があった。濱野国際理事には引き続き情報収集に協力していただく。

## ●ライオン誌公式SNS

ライオン誌が運用しているLINE、Facebookなどの公式SNSアカウントの登録状況を確認した。ウェブマガジン普及のツールとして友だち登録増加を図っているLINE公式アカウントは10月末で5461人。団編集長からは今年度内に倍増され1万人とする目標が改めて示された。

ウェブマガジン普及については社団の星野常務理事から、「これまでウェブマガジンを良いものにする努力がされてきたが、会員及び非会員へ浸透させるためのプロモーションが不足していたのではないか。もっと力強いメッセージでクラブに働きかけてPRしてはどうか」との提案があった。これに関連して藤谷委員長から各委員へ複合地区や地区でのウェブマガジンPR状況について質問があり、以下の報告があった。

「準地区、複合地区でPRしている。40～50代の会員でもウェブマガジンの存在は知っているが印刷版の方が手軽に読めるとの声が多く、印刷版のニーズも大きいと感じている」(332・藤谷委員長)

「所属準地区では、ライオン誌配信のウェブマガジン更新情報を、地区内クラブへのメールや地区のLINE公式アカウントで発信している。その際に編集長名も入れてもらうことで徐々に関心が高まっている」(335・団編集長)

「機会あるごとにLINE友だち登録を呼びかけている。所属準地区では今年度から地区誌をウェブ版のみにしたため、会員に浸透していくものと思う。今後、各複合地区PRマーケティング委員会からライオン誌LINE登録を呼びかけてもらうなど、協力してもらうことが有効ではないか」(334・増澤委員)

「以前から複合地区や地区の各種会議でライオン誌委員によるLINE公式アカウントの登録呼びかけが行われている」(336・上田委員)

「複合地区内の各地区ガバナーチームを通じて、LINE友だち登録を呼びかけるクラブ会長宛依頼文書の発信を依頼した。その情報がクラブ会員まで届いているか確認中。この依頼文書について周知徹底するために複合地区ガバナー協議会で報告する予定。会員全員が登録し、新会員が入会したら登録するという流れまで持っていきたい」(337・渕野委員)

閉会あいさつ 藤谷委員長

## 【次回開催予定】

12月8日(金) 14:00～16:00 第5回会議 (Zoom)

# 2023-24年度ライオン誌日本語版委員会 第5回会議 報告書

日 時：2023年12月8日(金) 14:00～16:00

場 所：一般社団法人日本ライオンズ ウェブ会議システム・Zoom

出席者：国際理事	鶴嶋 浩二 (北海道・札幌中島ライオンズクラブ)
国際理事	濱野 雅司 (埼玉県・岩槻ライオンズクラブ)
国際理事	城阪 勝喜 (大阪港ライオンズクラブ)
委員長	藤谷 文雄 (332複合地区／秋田県・大曲ライオンズクラブ)
編集長	団 英男 (335複合地区／兵庫県・神戸みなとライオンズクラブ)
委員	田中 明 (330複合地区／埼玉県・和光ライオンズクラブ)
委員	馬場 哲也 (331複合地区／北海道・函館東ライオンズクラブ)
委員	三枝 久夫 (333複合地区／栃木県・佐野西ライオンズクラブ)
委員	上田 隆政 (336複合地区／広島県・三原ライオンズクラブ)
委員	渕野二三世 (337複合地区／大分ライオンズクラブ)
一般社団法人理事長	田名部智之 (青森県・八戸ライオンズクラブ)
一般社団法人常務理事 PRマーケティング副委員長	星野 勝美 (群馬県・太田ライオンズクラブ)
欠席者：委員	増澤 義治 (334複合地区／長野県・諏訪湖ライオンズクラブ) 一般社団法人専務理事／PRマーケティング委員長／事務長
ITアドバイザー	荘 英隆 (東京恵比寿ライオンズクラブ)



藤谷委員長から開会あいさつがあり、各委員の協力により『ライオンズクラブ入門』の改訂PDF版が完成し、11月末にウェブマガジンに掲載して無償提供を開始したことが報告された。

続いて、鶴嶋、濱野、城阪各国際理事からのあいさつと国際理事会の活動に関する報告があった。ライオン誌に関する事項として、鶴嶋国際理事からは「先日のミッション1.5の世界報告デーの中で日本の出足が遅いことが指摘され苦慮している。そんな中、ライオン誌を使って国際協会からの情報を会員に伝えてほしい」、濱野国際理事からは「日本の各クラブのアクティビティ報告が少ないことや、ミッション1.5セミナーなどへの地区リーダーの参加率が低いことなど、ライオンズに対する興味が薄れていることを危惧している。委員会としてウェブ及び印刷版のライオン誌の閲読率を上げてほしい」、城阪国際理事からは「前年度委員会からの引き継ぎ事項に関する事項を今期中に

解決するため、ライオン誌の資金の問題とライオン誌委員会の組織の問題について、「ライオン誌公式版編集長である国際協会事務総長に来年早々にも確認して明快にしたい」とのコメントがあった。

田名部理事長からのあいさつでは、理事長としての活動と、12月13日にライオン誌検討委員会を国際理事3人、社団側3人、ライオン誌側3人の出席で開催するとの報告があり、「活発な議論をして今期中にライオン誌に関する問題を解決し、来年度からは編集とスムーズな発行に集中出来る委員会となるようにしたい」と述べた。

出席者確認の後、藤谷委員長と団編集長の進行で議事に入った。

## 【議事】

### 1. ライオン誌日本語版の運営

#### ●2023年7～10月ライオン誌関係会計報告

社団の2023-24年度正味財産増減計算書を資料とし、ライオン誌関連科目を確認した。収入の部では10月初旬に社団の上半期賛助会費と併せてライオン誌送料を請求、月末までに8複合地区中5地区から入金があり、送料収入は5,170,398円（予算執行率33.4%）となった。支出の部では、10月は印刷版ライオン誌秋号が発行され、直接出版費は執行額16,431,484円（同51.7%）となった。毎月発行のデジタル版関連費は4回発行完了時点で1,859,128円（同26.7%）だった。予算に沿って運営されていることを確認した。

### 2. ウェブマガジン編集関係

#### ●2023年12月号（12月1日公開）出来

公開済みの12月号の出来を確認した。

#### ●2024年1、2月号更新予定（案）

1、2月号の主要コンテンツについて、前回承認した更新予定に沿って進行していることを確認した。

#### ●2024年3月号更新予定（案）

3月号の主要コンテンツについて、「取材レポート」2件の活動概要や記事の内容、取材経費を含む更新予定が提出され承認した。

#### ●「取材レポート」取材対象候補

3月号の取材対象候補に挙げたクラブ・アクティビティと、現時点で4月号の取材対象候補に挙げているアクティビティのリストを確認した。4月号については、各委員が対象候補となるクラブの活動の情報を提供し、次回委員会で検討する。

#### ●ウェブマガジン・アクセス状況

Googleアナリティクスによる2023年31日～11月29日のウェブマガジン・アクセス状況の資料を確認した。資料から読み取れる情報として、団編集長から主に以下の説明があった。

- ユーザーの使用デバイスはスマートフォンが最多で、パソコンを大きく上回っている
- 直接サイトにアクセスしたユーザーは、メールやLINEで更新情報を発信する月初と、投稿レポートに関するLINEメッセージの送信時に大きく増加しており、メールやLINEによる情報発信が一定の効果を挙げている

この説明に関連して渕野委員から、複合地区内でのライオン誌のLINE公式アカウント登録呼びかけについて、所属準地区内のメンバーからLINEの安全面に疑問を呈されたとの報告があり、LINE活用について出席者から意見を求めた。「地区やクラブで登録を推進しており、そのまま続けていきたい」「必要不可欠なツールであり、推進すべき」「地区の連絡網でも使っている。漏洩を心配するような重要な情報は扱わないので問題ない」などLINE活用を推進すべきとの意見が多く、他にも「便利な一方、情報漏洩を心配する人がいるのは確かで、登録するかどうかは個々の判断に任せればよい」「情報発信には有効で、ライオン誌上で登録を呼びかけるだけでなく地区を通じた働きかけも必要。Facebookなど幅広いツールを活用して読者を増やすべき」「LINEに頼り過ぎるのではなく、いろいろな方法を併用した方がよい」といった指摘もあった。ライオン誌としては当面LINE登録を推進しながら、他のツールも積極的に活用していく。

### 3. 印刷版編集関係

#### ●2024年冬号(1月25日発行)台割(案)

前回委員会において、基本36ページの編成にマニラ・フォーラムと公益財団法人日本ライオンズの事業に関する記事を追加するため、40ページに増ページ(約17万円増)することを決めたが、「取材レポート」に掲載を予定している記事のうちユニバーサルスポーツに関連する取材記事2本をベースにした特集を組むことにより、増ページをせずに必要な記事を取めるよう変更を加えた修正台割案(36ページ)が提出され、確認した。「国際理事だより：濱野国際理事」「編集室：馬場委員、三枝委員」「特集：みんなで楽しむスポーツ」。

#### ●2024年春号(4月25日発行)台割(案)

前回委員会で継続審議とした44ページの台割案を確認。来年1月に国際協会からミッション1.5の記事8ページ分の指定記事が配信される予定で、これを掲載するために8ページを増やした場合、印刷費は約32万円増となる。「国際理事だより：城阪国際理事」「編集室：団編集長、増澤委員」「特集：小児がん」。

冬号のページ数を前回決めた40ページから36ページに変更することに関して、鶴嶋国際理事から「本来伝えるべき情報が全て伝えられるならばよ

いが、それを伝えずにページ数を減らして経費節減を図るということであれば、ページ数ではなく取材や外注費の方を削るべき」という意見が出され、団編集長から「印刷版の取材記事はウェブマガジン用に取材した記事を流用しており、冬号と春号掲載予定の取材の一部はクラブの協力を得て既に進んでいる」と説明があった。これについて鶴嶋国際理事から「今から変えられないのであれば、それについて反対する気はないが、今年度第1回委員会で、私から取材や外注費の見直しを提言したにもかかわらず、ページ数を減らして経費を削減するのは本末転倒ではないか」と疑問が呈され、団編集長は「冬号は必要な記事が36ページに収まるように修正したもの」「予算は36ページの印刷費で立てている。春号は前回委員会にも44ページの台割を提出したが、8ページ増で印刷費が増えることについて承認を得たい」と述べた。鶴嶋国際理事からは「冬号を前回決めた40ページから4ページ減らしても中身が充実しているのであればよい」との発言があった。

冬号は36ページ、春号は44ページの台割を進める。

#### ●今後の印刷版発行と配布方法

前回委員会で城阪国際理事から提案された「国際協会が公式版に義務づけているのは年2回の発行だが、日本語版は年4回発行している。ウェブ版を閲覧すればよいという会員もいるので、年4回のうち2回は、会員の希望を調べて必要ない会員には送付しないようにしてはどうか」との提案について、団編集長から印刷版発行回数と、2回を希望者のみに頒布することに関する自身の考えをまとめた資料が提示され、以下の説明があった。

- 発行回数を減らすメリット：「印刷関係経費の削減」「将来国際協会からの補助金がなくなる準備」「クラブ（会員）が負担する発送費の削減」「デジタル化推進の起爆剤になり得る」
- 発行回数を減らすデメリット：「情報格差が生じる」「従来の情報量を維持するためにページ数を増やす以外に方法がない」「合併前に積み立てられていた基金の取り崩しの説明が必要」「クラブのモチベーションが下がる恐れがある」「会員間の情報共有が難しくなる」
- 希望者のみに頒布する件：「費用をどのように請求・集金するかの事務処理が複雑になり、事務負担が増大する」「発行部数が減れば印刷費や送料の単価が上昇し、希望者の負担が増す恐れがある」

これらを踏まえ、印刷版年4回を維持すること、可能であれば以前のように年6回の発行とすることが、会員サービスという観点からは望ましいのではないかと、この団編集長の考えが示された。その上で各委員に対して、この件に関する自身の意見をまとめると同時に周囲の会員の声を集め、次回委員会で発表するよう求めた。

城阪国際理事からは、提案内容に関して誤解のないよう、次の2点の補足説明があった。

- 発行回数を減らす提案ではなく、年2回分について印刷物を希望しない人には発送しないという提案であり、年4回、立派なライオン誌を発行してもらえればよい
- 送料はクラブの実費負担となっているが、2回分の発送を希望しない人に関してもこれまで通りの費用負担をお願いし、収入は変わらないようにする。それにより浮いた発送事務費などの費用は、ライオン誌の充実に使ってはどうか

この議案については、次回委員会で各委員の意見を聞いて検討する。

#### 4 主要記事予定

##### ●2023-24年度主要記事予定

今年度の印刷版及びウェブマガジンの主要記事予定を確認した。

##### ●2024年2月取材経費概算

2月に予定している取材2件の経費概算が提出され、確認した。経費概算が提出された2件について、鶴嶋国際理事から「クラブに連絡済みのため取材を止めることが出来ない案件であるか」との確認があり、団編集長から「クラブへの打診は進めており、止めるとすればその理由の説明が必要になる」との見解が示された。鶴嶋国際理事からは「既にクラブに打診した後に委員会で検討、承認するのではなく、委員会で複数の候補に絞ってからクラブに連絡して取材対象を決めるべき」「そもそも経費をかけて取材することが必要かを検討した方がよい。委員や地元の写真が得意なメンバーなどそれなりの人からデータ提供を受けて編集することも出来る」「1回でも2回でも取材を減らせば、印刷版の年4回発行を維持するために違った経費の使い方が出来る」との指摘があった。これについて社団の星野常務理事から「決められた枠選ぶのではなく、早めに多くの候補を挙げて、その中から委員あるいはメンバーに取材を依頼するもの、投稿を依頼するもの、外注取材が必要なものを整理してはどうか」という意見が出された。以後の3月取材分からは、委員会で候補を絞って対象を決めるようにする。提出された2月の取材2件の経費概算は承認。

#### 5. その他

##### ●ライオン誌出版物

11月中の完了を日処に改訂を進めていたライオン誌日本語版委員会編集のライオンズスクール『ライオンズクラブ入門』は、前回委員会で検討した点と、委員会後にOSEAL調整事務局から通知された「割引会員」の「特典会員」への変更にかかわる修正を反映して作業を終了し、11月28日



にウェブマガジン「情報資料」欄にPDFデータを掲載して無償配布を開始した。

●ServannA（サバンナ）関係

国際協会の報告システムが現行のMyLCIから新しいデジタルツールLion Portalへ移行するのに伴うサバンナへの影響について、OSEAL調整事務局の佐子マーズ事務局長から、現時点でもまだLion Portalについて詳しい情報がないことと、また「サバンナ運用におけるデータ共有に関しては、具体的に現行のどのシステム作業が必要なのか、確認事項をピンポイントで示してもらえれば担当部署に問い合わせる」という連絡があったことが報告された。サバンナのシステム管理会社・JPインターナショナルに協力してもらい、質問内容を検討する。

また荘ITアドバイザーから指摘があった、新しい会員種別「特典会員」をサバンナでも把握出来るようにする必要性については、Lion Portal移行に伴うサバンナの変更が明らかになってから具体的に検討する。

議案審議を終了した後、鶴嶋国際理事から各委員に対して「個人的には印刷版の年4回発行を維持すべきという意見だが、いろいろな意見がある。各地区で何回発行が必要か調査を行い、その結果を基に発行回数を決め、それに必要な費用を割り出してもらいたい」との要望が出された。これを受け、藤谷委員長は「ライオン誌発行回数については、クラブや地区へアンケートを行う必要があると私も考えていた。各委員には2月頃までのアンケート実施に協力いただきたい」と応じた。

閉会あいさつ 藤谷委員長

**【次回開催予定】**

- 1月10日（水） 14:30～17:00 第5回会議（日本ライオンズ事務所 集合／Zoom併用）
- 2月 6日（火） 14:00～16:00 第6回会議（Zoom）
- 3月 4日（月） 14:00～16:00 第7回会議（Zoom）

# 2023-24年度ライオン誌日本語版委員会 第6回会議 報告書

日 時：2024年1月10日(水) 14:30～17:00

場 所：一般社団法人日本ライオンズ 会議室 (Zoom併用)

出席者：国際理事	鶴嶋 浩二 (北海道・札幌中島ライオンズクラブ)
国際理事	濱野 雅司 (埼玉県・岩槻ライオンズクラブ)
※Zoom 国際理事	城阪 勝喜 (大阪港ライオンズクラブ)
委員長	藤谷 文雄 (332複合地区／秋田県・大曲ライオンズクラブ)
編集長	団 英男 (335複合地区／兵庫県・神戸みなとライオンズクラブ)
※Zoom 委員	田中 明 (330複合地区／埼玉県・和光ライオンズクラブ)
委員	三枝 久夫 (333複合地区／栃木県・佐野西ライオンズクラブ)
委員	増澤 義治 (334複合地区／長野県・諏訪湖ライオンズクラブ)
一般社団法人専務理事／PRマーケティング委員長／事務長	
委員	上田 隆政 (336複合地区／広島県・三原ライオンズクラブ)
委員	渕野二三世 (337複合地区／大分ライオンズクラブ)
一般社団法人理事長	田名部智之 (青森県・八戸ライオンズクラブ)
一般社団法人常務理事 PRマーケティング副委員長	星野 勝美 (群馬県・太田ライオンズクラブ)
ITアドバイザー	荘 英隆 (東京恵比寿ライオンズクラブ)
欠席者：委員	馬場 哲也 (331複合地区／北海道・函館東ライオンズクラブ)



藤谷委員長から年頭のあいさつと年明けに発生した能登半島地震への見舞いの言葉が述べられた後、鶴嶋、濱野、城阪各国際理事からあいさつがあり、能登半島地震に関連して「この災害をどう乗り切っていくかを考えると共に、日本の準地区であまり活用されていないLCIF防災準備交付金に関する理解を広め、今後の災害に備えられるような方法を検討してほしい」(鶴嶋国際理事)、「ライオン誌のコミュニケーションツールとしての役割に加え、被災者や支援に取り組むクラブを応援するという目線で編集に取り組むことで、明るく前向きな誌面が提供出来るのではないか」(濱野国際理事)との要望があった。続く田名部理事長のあいさつでは、昨年12月13日に開催されたライオン誌検討委員会について「現在のすばらしいライオン誌を継続して発行出来るように、社団としてどのように取り組むかをしっかりと検討している」と説明があった。

出席者確認の後、藤谷委員長と団編集長の進行で議事に入った。

## 【議事】

### 1. ライオン誌日本語版の運営

#### ●2023年7～11月ライオン誌関係会計報告

社団の2023-24年度正味財産増減計算書を資料とし、ライオン誌関連科目を確認した。収入の部では、10月初旬に八複合地区へ請求したライオン誌送料が全地区から入金され、執行額7,809,232円（予算執行率50.4%）となった。支出の部では、11月は印刷版ライオン誌の発行がなかったため直接出版費は前月からほぼ変動はなく、執行額16,460,557円（同51.8%）となった。毎月発行のデジタル版関連費は5回発行完了時点で2,397,468円（同34.4%）だった。予算に沿って運営されていることを確認した。

#### ●ライオン誌検討委員会（2023年12月13日）報告

社団の田名部理事長から、12月13日に開催された第2回ライオン誌検討委員会の要点をまとめた資料が提出され、確認した。田名部理事長からは、昨年度、国際理事から社団へ提出された要望事項その他の懸案事項に関する検討内容に関する説明と、第3回委員会を開催して検討を続ける予定であるとの報告があった。

### 2. ウェブマガジン編集関係

#### ●2024年1月号（1月1日公開）出来

公開済みの1月号の出来を確認した。

#### ●2024年2、3月号更新予定（案）

2、3月号の主要コンテンツについて、前回承認した更新予定に沿って進行していることを確認した。

#### ●2024年4月号更新予定（案）

4月号の主要コンテンツと既に決定している執筆担当者を確認した。

#### ●「取材レポート」取材対象候補

4月号以降の取材対象候補を選考するため、今年度初めに実施した「クラブアンケート」で収集した情報から、2～6月に予定されているアクティビティのリストを確認。2月実施予定の活動2件を取材候補に選んだ。3月以降の候補については、委員会後に編集長が各委員の意見をまとめて絞り込むことにした。

### 3. 印刷版編集関係

#### ●2024年冬号（1月25日発行）台割

前回委員会で決定した36ページの台割に沿って編集した記事を確認した。「国際理事だより：濱野国際理事」「編集室：馬場委員、三枝委員」「特集：みんなで楽しむスポーツ」。能登半島地震の発生を受けて、ウェブマガジン告知の掲載を予定していた表2に被災者への見舞い文を入れる他、「トピックス」の一部記事を地震関連の記事に差し替え、LCIF大災害

援助交付金に関する情報などを報じる。

●2024年春号(4月25日発行)台割(案)

基本36ページに8ページを追加した44ページの台割案を確認した。国際協会から配信される「ミッション1.5」の表紙と指定記事8ページを掲載。「国際理事だより：城阪国際理事」「編集室：団編集長、増澤委員」「特集：小児がん」。能登半島地震の被災地や支援活動に関する記事は、334-D地区から発信される情報などを収集してウェブマガジンに掲載していき、春号にはそれらを集約した記事を掲載する。各委員が入手した被災地支援などの情報は、随時編集部に伝える。地震関連の記事を追加するための台割変更は次回委員会で検討する。

●今後の印刷版発行と配布方法

第4回委員会で城阪国際理事から出された「希望する会員には国際協会が公式版に義務づける年2回のみの発送とし、残る2回は発送しないようにする」との提案に対し、前回第5回委員会で団編集長から印刷版発行回数を減らした場合のメリット・デメリットと、希望者への発送を年2回にした場合の問題点を記した資料が提示された。これに関して、出席者から以下の意見(発言順・要旨)が出された。

- 「個々の会員に情報を伝えることがライオン誌の大きな目的である。現在の発行回数を減らすことなく、クラブが災害支援を含めた奉仕活動について考える際に役立てるようにしたい」(337・渕野委員)
- 「ライオン誌は新しい奉仕活動の参考となり、クラブが切磋琢磨してモチベーションを高めることに貢献している。全国の会員が情報を共有する唯一のツールでもあり、年4回発行は必要」(336・上田委員)
- 「印刷版は現在のままでよいが、ウェブ版のアクセスを増やす方策も考えるべき。会員減少の中、経費をかけずに良いものを作ること、委員が労力をかけて努力することも検討してはどうか」(334・増澤委員)
- 「会員個人に発送することで例会に出ない会員をつなぐ役割を果たしている。ただ、社会の流れは印刷物を減らす方向にあり、ウェブか印刷版かの希望を取って発行することも一つの方法」(333・三枝委員)
- 「現時点ではまだウェブより印刷物の方が見やすいという会員が多いが、今後印刷版は希望者だけに送付する方法も考えていてはどうか」(332・藤谷委員長)
- 「日本の会員の平均年齢を考えれば、ウェブへ移行するのはまだ無理がある。誌面やウェブを通して会員以外にもライオンズを知らしめるツールとなっており、慎重に考える必要がある」(330・田中委員)
- 「印刷版もウェブ版もどちらも必要。ウェブで見るので印刷版は2回だけでよいという会員には、費用負担はそのままに発送しないようにすればよい」(城阪国際理事)

- 「印刷版の年4回発行は必要と考えるが、会費収入の増加が見通せない現状を見据えて、経費を抑えつつ必要な情報を届ける努力をしなければ、発行を継続するのは難しくなる」（鶴嶋国際理事）
- 「現状では毎月のウェブ版と年4回の印刷版が必要。ウェブ版の利用者を増やさない限り印刷版をなくすことは出来ない。数値目標を立て、ウェブ版の浸透を図る方策を検討すべき」（濱野国際理事）
- 「印刷版かウェブ版かは情報伝達の手段であり、いずれにしろ毎月取材をして年12回の情報発信を維持しなければならない。今後は会員向けだけでなく、非会員に対する発信にも注力すべき」（田名部理事長）
- 「現時点では発行回数は年4回が妥当。ウェブマガジンを普及させるために、ウェブ版になじみにくい古参会員に若い会員からLINE登録の方法を教えてもらうなどの工夫で登録増を図りたい」（星野常務理事）

これらの意見を踏まえつつ、今後更に検討を続ける。

#### 4 主要記事予定

##### ●2023-24年度主要記事予定

今年度の印刷版及びウェブマガジンの主要記事予定を確認した。

#### 5. その他

##### ●ServannA（サバンナ）関係

前回委員会の決定を受けて、国際協会の新しいデジタルツールLion Portal への移行に伴うサバンナへの影響について本部へ問い合わせる質問内容を、サバンナのシステム管理会社・JPインターナショナルの協力を得て検討したことが、荘ITアドバイザーから報告された。OSEAL調整事務局を通じて、これをIT部担当者へ問い合わせる。

荘ITアドバイザーからはまた、1月1日に施行された「特典会員」種別をサバンナに反映させるには機能追加が必要との説明があり、費用の見積もりを取って追加の要否を検討してはどうかとの助言を受けた。システムを管理するJPインターナショナルに見積もりを依頼する。

##### ●ライオン誌公式SNS

ライオン誌が運用している公式SNSの登録者数のデータを確認した。

閉会あいさつ 藤谷委員長

#### 【次回開催予定】

2月 7日（水） 14:00～16:00 第7回会議（Zoom）

3月 4日（月） 14:00～16:00 第8回会議（Zoom）

(報告第2号)

● 会員並びにクラブ活動状況報告集計表他

- ・ サバンナ基本集計表 2023年12月度
- ・ サバンナLCIF献金実施状況一覧 2023年12月度
- ・ LCIF1000ドル寄付者一覧 2023年7月～12月

サバナン基本集計表 2023年12月度 (331-B地区)

331-B			アクティビティ		労力奉仕		会員異動				家族会員		例会出席率			
地区	R	Z	クラブ名	件数	金額	件数	時間	期首	前月末	入会	退会	当月末		女性	世帯数	子会員数
331-B	1	1	鯛路	0	0	0	0	30	30	0	0	30	7	3	7	100
331-B	1	1	白糠	0	0	0	0	8	8	0	0	8	0	0	0	100
331-B	1	1	標茶	0	0	0	0	32	33	0	0	33	4	4	4	68.9
331-B	1	1	鯛路みなと	1	100,000	2	1	54	55	0	0	55	17	10	15	88.3
331-B	1	1	鯛路温泉	1	50,000	0	0	17	17	0	0	17	1	0	0	94.1
331-B	1	2	榎壺	1	100,000	0	0	36	35	0	0	35	9	5	6	84.4
331-B	1	2	羅臼	0	0	3	6	15	15	0	0	15	6	6	6	100
331-B	1	2	鯛路めさまい	1	101,852	0	0	70	67	0	0	67	25	20	31	72.2
331-B	1	2	中標津	1	36,500	0	0	16	16	0	1	15	2	0	0	100
331-B	1	2	鯛路ゆやけ	2	187,670	0	0	54	52	0	1	51	4	3	3	58.5
			リジョン小計	7	576,022	5	7	332	328	0	2	328	75	51	72	
331-B			アクティビティ		労力奉仕		会員異動				家族会員		例会出席率			
地区	R	Z	クラブ名	件数	金額	件数	時間	期首	前月末	入会	退会	当月末		女性	世帯数	子会員数
331-B	2	1	旭川	1	36,885	1	14.5	33	37	0	8	29	9	4	4	78.8
331-B	2	1	旭川大雪	2	203,157	1	3	41	40	0	1	39	0	0	0	73
331-B	2	1	旭川平和	9	502,413	1	21	32	31	0	1	30	0	0	0	81
331-B	2	1	当麻	2	89,399	2	4	14	14	0	0	14	0	0	0	96.4
331-B	2	1	慶別	25	105,472	0	0	24	24	0	0	24	0	0	0	91.6
331-B	2	1	東川	0	0	0	0	24	28	0	0	28	2	0	0	75
331-B	2	1	比布	0	0	0	0	18	16	0	0	16	0	0	0	31.2
331-B	2	2	旭川中央	0	0	0	0	15	15	0	0	15	3	2	2	100
331-B	2	2	富良野	2	347,717	2	11	64	63	1	0	64	13	6	6	77.2
331-B	2	2	旭川東	16	47,280	0	0	19	17	0	0	17	2	1	1	60
331-B	2	2	上富良野	1	6,810	0	0	30	32	0	1	31	5	0	0	87.9
331-B	2	2	旭川ナカマド	0	0	0	0	30	31	0	1	30	1	0	0	100
331-B	2	2	旭川クリスタル	0	0	1	12	14	14	0	0	14	1	0	0	85.7
331-B	2	2	旭川バーチャル	0	0	0	0	21	22	0	0	22	3	0	0	70.4
			リジョン小計	58	1,338,113	8	65.5	379	384	1	12	373	39	13	13	
331-B			アクティビティ		労力奉仕		会員異動				家族会員		例会出席率			
地区	R	Z	クラブ名	件数	金額	件数	時間	期首	前月末	入会	退会	当月末		女性	世帯数	子会員数
331-B	3	1	帯広	1	50,000	0	0	28	28	0	0	28	6	6	7	80.9
331-B	3	1	本別	2	67,500	2	30	27	27	0	0	27	4	1	1	88.4
331-B	3	1	十勝池田	1	30,000	0	0	18	18	0	0	18	0	0	0	61.1
331-B	3	1	音更	2	60,000	0	0	44	45	0	0	45	3	0	0	58.8
331-B	3	1	浦幌	4	104,000	0	0	15	15	0	0	15	0	0	0	53.3
331-B	3	1	豊頃	22	112,042	0	0	21	21	0	0	21	0	0	0	83.3
331-B	3	1	幕別	1	30,000	0	0	17	17	0	0	17	1	0	0	100
331-B	3	1	帯広かしわ	1	96,600	1	33	25	27	0	1	26	2	0	0	100
331-B	3	2	帯広中央	0	0	1	1	30	28	0	0	28	5	5	5	81.2
331-B	3	2	新穂	4	120,000	3	3.5	19	19	0	0	19	0	0	0	83.3
331-B	3	2	帯広平原	3	303,557	1	72	27	28	0	0	28	2	2	2	67.3
331-B	3	2	鹿追	2	61,919	0	0	18	18	0	0	18	0	0	0	94.4
331-B	3	2	上士幌	2	90,000	1	32	16	16	0	0	16	0	0	0	90.6
331-B	3	2	芽室	4	138,000	0	0	25	26	0	0	26	5	5	5	76.1
331-B	3	2	十勝清水	2	119,889	1	36	28	27	0	1	26	8	8	8	89.1
331-B	3	2	帯広鈴蘭	3	176,425	2	21	19	17	0	0	17	4	4	4	100
331-B	3	2	帯広さくら	2	5,160	2	35	13	11	0	0	11	11	2	3	90.9
			リジョン小計	56	1,565,092	14	263.5	388	386	0	2	386	51	33	35	
331-B			アクティビティ		労力奉仕		会員異動				家族会員		例会出席率			
地区	R	Z	クラブ名	件数	金額	件数	時間	期首	前月末	入会	退会	当月末		女性	世帯数	子会員数
331-B	4	1	留萌	1	26,687	0	0	23	25	0	0	25	8	5	5	88
331-B	4	1	羽幌	8	158,832	0	0	44	45	0	0	45	13	13	13	100
331-B	4	1	留萌みなと	1	30,000	0	0	58	56	2	0	58	23	18	20	81.5
331-B	4	1	遠別	3	90,000	0	0	20	19	0	0	19	2	0	0	68.4
331-B	4	1	増毛	0	0	0	0	23	26	0	0	26	3	1	1	88.4
331-B	4	2	名寄	0	0	0	0	47	48	0	0	48	6	4	4	88.5
331-B	4	2	士別	44	371,128	2	85	43	42	0	0	42	2	1	1	71
331-B	4	2	美深	0	0	0	0	12	14	0	0	14	0	0	0	82.1
331-B	4	2	名寄中央	0	0	0	0	27	27	0	0	27	7	5	6	71.4
331-B	4	2	剣淵	3	24,329	2	7	18	16	0	18	0	0	0	0	62.5
331-B	4	3	稚内	3	142,440	2	8	30	29	0	1	28	11	6	6	84.7
331-B	4	3	枝幸オホーツク	2	60,000	1	6	18	18	0	0	18	5	3	3	27.7
331-B	4	3	標延	0	0	0	0	18	18	0	0	18	3	0	0	69.4
331-B	4	3	歌登	1	100,000	0	0	18	17	0	0	17	8	7	7	75
331-B	4	3	猿払	0	0	0	0	24	23	0	0	23	1	0	0	0
331-B	4	3	稚内北斗	6	422,658	4	125	68	73	2	0	75	22	12	21	61.6
			リジョン小計	72	1,425,854	11	231	489	496	4	17	483	114	75	87	
331-B			アクティビティ		労力奉仕		会員異動				家族会員		例会出席率			
地区	R	Z	クラブ名	件数	金額	件数	時間	期首	前月末	入会	退会	当月末		女性	世帯数	子会員数
331-B	5	1	北見	2	328,434	1	4	33	33	0	0	33	3	0	0	100
331-B	5	1	釧路	1	50,000	0	0	12	13	0	0	13	1	0	0	61.5
331-B	5	1	遠軽	0	0	0	0	24	24	0	0	24	1	0	0	87.5
331-B	5	1	北見白糠	1	4,000	2	48.5	84	83	0	2	81	29	20	22	70.7
331-B	5	1	湧別	0	0	0	0	18	18	0	0	18	0	0	0	66.6
331-B	5	1	紋別オホーツク	0	0	0	0	26	25	0	0	25	1	0	0	100
331-B	5	1	白滝	0	0	0	0	27	27	0	0	27	14	11	12	100
331-B	5	1	佐呂間	0	0	0	0	20	19	0	0	19	3	3	3	68.4
331-B	5	2	網走	1	30,000	1	4	40	41	0	1	40	1	0	0	70
331-B	5	2	美幌	5	209,544	1	1	42	42	0	3	39	4	0	0	69.2
331-B	5	2	津別	0	0	0	0	19	19	0	0	19	0	0	0	100
331-B	5	2	北見中央	2	90,608	0	0	39	39	0	0	39	9	6	8	100
331-B	5	2	訓子府	2	40,000	0	0	19	20	0	0	20	1	0	0	55
331-B	5	2	網走桂	1	30,000	0	0	34	33	0	1	32	7	5	5	80.5
331-B	5	2	端野	0	0	0	0	16	14	0	0	14	1	0	0	75
			リジョン小計	15	782,588	5	57.5	453	450	0	7	443	75	45	50	
331-B			アクティビティ		労力奉仕		会員異動				家族会員		例会出席率			
地区	R	Z	クラブ名	件数	金額	件数	時間	期首	前月末	入会	退会	当月末		女性	世帯数	子会員数
			合計	208	5,686,667	43	624.5	2,041	2,046	5	40	2,011	354	217	257	

LCIF献金実施状況一覧 2023年12月度(331-B地区)

R	Z	クラブ名	MJF一括		MJF分割		その他個人		その他クラブ		LCIF合計		期首からの累計		
			件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	
1	1	釧路	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		白糖	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		標茶	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		釧路みなと	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2,000	
		釧路温原	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	2	根室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		羅臼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		釧路めさまい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		中標津	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		釧路ゆうやけ	0	0	0	0	0	0	1	680	1	680	1	680	
R合計			0	0	0	0	0	0	1	680	1	680	3	2,680	
2	1	旭川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26	520	
		旭川大雪	1	1,000	0	0	0	0	0	0	1	1,000	41	1,800	
		旭川平和	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31	620	
		当麻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	280	
		愛別	0	0	24	240	0	0	0	0	24	240	24	240	
		東川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	2	比布	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		旭川中央	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		富良野	1	1,000	0	0	0	0	0	0	1	1,000	4	3,100	
		旭川東	0	0	16	320	0	0	0	0	16	320	16	320	
R合計			2	2,000	40	560	0	0	0	0	42	2,560	174	7,500	
3	1	帯広	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		本別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26	520	
		十勝池田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		音更	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	900	
		浦幌	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		豊頃	0	0	21	420	0	0	0	0	21	420	21	420	
		幕別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	340	
	2	帯広かしわ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		帯広中央	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		新得	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		帯広平原	1	1,000	0	0	0	0	0	0	1	1,000	1	1,000	
		鹿追	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		上士幌	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		芽室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
R合計			1	1,000	21	420	0	0	0	0	22	1,420	66	3,180	
4	1	留萌	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	400	
		羽幌	0	0	6	600	0	0	0	0	6	600	39	2,240	
		留萌みなと	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		遠別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		増毛	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2,000	
	2	名寄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1,000	
		士別	0	0	41	820	0	0	0	0	41	820	42	920	
		美深	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		名寄中央	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	3	剣淵	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		稚内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1,000	
		枝幸オホーツク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1,000	
		幌延	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
R合計			0	0	47	1,420	0	0	1	1,000	48	2,420	156	18,980	
5	1	北見	1	2,000	0	0	0	0	0	0	1	2,000	34	2,660	
		置戸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		遠軽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		北見白樺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	53	2,650	
		湧別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		紋別オホーツク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	500	
		白滝	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	2	佐呂間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	400	
		網走	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	41	820	
		美幌	0	0	2	200	0	0	0	0	2	200	12	1,200	
		津別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
R合計			1	2,000	3	302	0	0	0	0	4	2,302	208	12,928	
地区合計			4	5,000	111	2,702	0	0	2	1,680	117	9,382	607	45,248	



# 1000ドル献金者

今期目標15万ドル					\$45,248	30%	1000ドル MJF	\$21,000	100ドル 達成	\$8,908	100ドル 未達	\$11,190	クラブ 寄付	\$4,150				
2023~2024 1000ドル寄付					寄付額	回数	人数	口数	2023~2024 1000ドル寄付					寄付額	回数	人数	口数	
月	R	Z	クラブ名	会員氏名					月	R	Z	クラブ名	会員氏名					
8月	1	1	釧路みなと	井田 正昭	1000	21	5	5										
	2	2	富良野	佐藤 信雄	1000	12												
	2	2	富良野	広瀬 寛人	1000	5												
	4	2	名寄	高橋 藤次	1000	11												
	4	3	稚内北斗	井ノ浦 義明	1000	35												
9月	1	1	釧路みなと	大島 尚久	1000	6	4	4										
	4	3	枝幸オホーツク	石橋 美由	1000	2												
	5	2	北見中央	浅野 敬一	1000	14												
	5	2	北見中央	伊藤 光隆	1000	5												
11月	4	1	羽幌	小林 孝彦	1,000	3	7	7										
	4	1	増毛	佐藤 順治	1,000	1												
	4	1	増毛	棚橋 秀彦	1,000	1												
	4	3	稚内北斗	井ノ浦 義明	1,000	36												
	4	3	稚内北斗	梅村 俊範	1,000	13												
	4	3	稚内北斗	藤原 回向	1,000	4												
	4	3	稚内北斗	中野 修吾	1,000	3												
12月	2	1	旭川大雪	佐藤 慶紀	1,000	13	4	5										
	2	2	富良野	奥野 裕史	1,000	3												
	3	2	帯広平原	猫本 浩和	1,000	4												
	5	1	北見	伊東 隆志	2,000	4												

(報告第3号)

## LCIF 交付金 使用状況中間報告

今年度、地区シェアリング交付金申請可能額→28,004 ドル

### ◆これまでの申請状況◆

#### クラブシェアリング

① 2023年12月 富良野 LC 1,489 ドル 交付済 資料①

●LCIF地区シェアリング交付金申請の活用については、

資料② 2023-2024 地区及びクラブシェアリング交付金手続き

資料③ 地区及びクラブシェアリング交付金申請可能額

を参照して下さい。

●これから予定しているアクティビティに交付金を使用できるかもしれませんので、

お気軽にご相談下さい。

●申請の基準や書き方等、お困りでしたらキャビネットまでお問い合わせください。



## 地区及びクラブシェアリング交付金申請書/DCG Application

### 1 申請の概要/Project Description

申請年月日/Application Date	2023 年/Year 11 月/Month 17 日/Date
申請者/Applicant 地区またはクラブを選択 (☑)	<input type="checkbox"/> 地区 <u>331- B 地区</u> (地区名を記入) <input checked="" type="checkbox"/> クラブ <u>富良野ライオンズクラブ</u> (地区名およびクラブ名を記入)
記入者氏名と連絡先/Contact Information  ※LCIF や所属地区のリーダーからの内容確認に対応できる連絡先を記入	氏名 (漢字) : <u>澁谷 正文</u> Name (ローマ字) : <u>Tadafumi Shibuya</u> 電話/Phone: <u>0167-23-3896</u> E メール/Email: <u>lions@furano.ne.jp</u>
1. 事業名/Project Name	緑化推進を目的とした「植樹」と「樹木保護」
2. 実施場所/Project Location (市町村名、住所など)	富良野市内
3. LCIF への申請額(ドル) Amount of funds requested (\$)	1,489 ドル (220,000 円)
4. この事業で直接的に奉仕を受ける人々の数/The Number of Direct Beneficiaries	<u>20000</u> 名
5. この事業で取り組む課題 (箇条書きで簡潔に) Issues to be addressed 添付資料/Supplement attached ■はい/Yes □いいえ/No	例年行っている植樹事業と併せて既に植樹した樹木の鹿等による食害対策を講ずる。
6. 事業の進め方 (協力団体等の情報も記入) Project Details & Collaborators	① 植樹に必要な予算を積算。 ② 理事会にかけ、例会にて承認をもらう。 ③ 植樹日程を調整。 ④ 苗木発注。 ⑤ 会員へ案内。関係機関へ周知及び報道機関へ取材依頼 ⑥ 植樹。
7. スケジュールと計画/Plan of Action & Timeline	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>2023</u> 年/year <u>10</u> 月ごろ/month 苗木等の価格調査</li> <li>• <u>2023</u> 年/year <u>11</u> 月頃/month 理事会・例会にて承認もらう</li> <li>• <u>2023</u> 年/year <u>11</u> 月頃/month 植樹する日程を調整</li> <li>• <u>2024</u> 年/year <u>2</u> 月頃/month 苗木の発注</li> </ul>

• 2024 年/year 3 月頃/month 会員へ日程案内
• 2024 年/year 3 月頃/month 関係機関へ周知
• 2024 年/year 4 月頃/month 植樹実施

**2 事業予算/Project Budget** 下記の表を用いて事業全般の項目別予算を記入して下さい。

※必要に応じて行を増やしてかまいません。

収入/Income (ドル/\$)		支出/Expenses (ドル/\$)	
(交付金のほか、他団体からの収入、クラブや地区がファンドレイジングで得る収入等、この事業で使用する全収入予算を記入)		(左に記入する収入を使い、この事業で支払った全経費を項目別に記入)	
交付金申請額/Amount of DCG funds requested	1,489 ドル/\$	1.植樹用桜の苗木	1,489 ドル/\$
その他収入源/Other Sources			
1.			
2.			
3.		4.	
4.		5.	
5.		6.	
6.		7.	
合計/Total Sum	1,489 ドル/\$	合計/Total Sum	1,489 ドル/\$

## 2023-2024 地区及びクラブシェアリング交付金手続き

### 申請必要書類

(事業開始 6 か月前～90 日前に申請)

- ① 申請書 3 枚
- ② 理事会議事録 「クラブで承認された」旨の記述のある理事会議事録  
※申請書を添付または回覧し、その内容が承認されたことを明確に。
- ③ 見積書 「総事業費の根拠となる業者、取引先等の見積書」

### 報告必要書類

- ① 報告書 3 枚
- ② “LCIF 交付金を使用し無事、事業が終了した旨の記述のある理事会議事録  
※報告書を添付または回覧し、その内容が承認されたことを明確に。
- ③ 「領収書のコピー」と「当日の写真」あれば「新聞等の切り抜き」  
※ライオンズクラブ国際財団の交付金事業は PR 活動や看板等の設置を通して  
支援を受けて実施されたことを明示する必要がある。  
報告書を提出しなければ次の交付金の使用許可がおりなくなります。

★申請がおりた事業が中止または延期の場合すぐにキャビネットに報告。

※中止、または延期が決定次第、新興イニシアチブ課（現在はグローバル交付金プログラム課）の  
担当者（交付金番号や送金手続きのメールで確認してください。）あてに報告すること。

その際、MD 並びに地区コーディネーター、キャビネット事務局、複合、LCIFTokyo へ必ず CC を入れる事。

中止の場合、入金済みの交付金については返金の指示がありますので、指示に従って手続きをしてください。

無指定献金 5000 \$ 以上のクラブは 15%がクラブ専用の交付金の申請可能額として 8、9 月ころ付与されお  
知らせがきます。クラブシェアリング交付金として申請し、クラブ内のアクティビティに使えます。使用されなけ  
れば 15 年間プールされていきます。

5000 \$ に達しなかったクラブは 331-B 地区内の 5000 \$ 未満だったクラブの総額の 15%は地区キャビネット  
の申請可能額としてキャビネットが保持します。

災害指定献金は 5000 \$ の中にカウントされません。

- 士別 CAB 会議議案 15 号に掲載されておりますが B 地区独自のルール  
(地区シェアリング交付金をクラブで活用する)を設けない事としました。

## 資料 ③

2023-2024年度 地区及びクラブシェアリング交付金申請可能額

2023年9月レート  
145.961047

<申請額の留意点>

・交付金申請は、累計申請可能額を上限として1ドル単位で申請することができます。

例) Aクラブの累計申請可能額が\$3,000.50の場合、申請できるのは\$3,000までです。

また、2,500.34ドルの事業を100%交付金で行う場合、申請額は1ドル以下を切り捨てて\$2,500、あるいは切り上げて\$2,501で申請します。

地区	地区/クラブID	地区/クラブ名	2022-2023 寄付総額	2023-2024 新規付与申請可 能額	累計申請 可能額	日本円 9月レート
331 B	66207	331 B地区	\$57,697.49	\$8,654.62	\$28,004.84	¥4,087,494
331 B	24888	帯広かしわ	\$15,300.26	\$2,295.04	\$7,525.44	¥1,098,357
331 B	24912	士別	\$7,500.11	\$1,125.02	\$1,125.02	¥164,207
331 B	24829	富良野	\$7,150.10	\$1,072.52	\$1,553.00	¥226,678
331 B	56038	稚内北斗	\$6,000.02	\$900.00	\$2,415.01	¥352,496
331 B	24809	旭川	\$5,600.04	\$840.01	\$1,800.05	¥262,730
331 B	24887	帯広平原	\$5,000.01	\$750.00	\$1,500.00	¥218,942
331 B	32898	愛別			\$855.00	¥124,797
331 B	24810	旭川中央			\$765.00	¥111,661
331 B	24808	旭川平和			\$14,679.08	¥2,142,563
331 B	50000	旭川ナナカマド			\$750.15	¥109,471
331 B	24812	旭川大雪			\$0.04	
331 B	24816	美幌			\$99.11	¥14,451
331 B	24853	北見中央			\$3,749.59	¥547,208
331 B	33913	北見白樺			\$945.05	¥137,934
331 B	24857	釧路			\$4,037.61	¥589,245
331 B	24863	釧路みなと			\$1,134.36	¥165,520
331 B	31715	釧路ぬさまい			\$5,730.26	¥836,357
331 B	24879	名寄			\$967.51	¥141,145
331 B	35268	名寄中央			\$750.00	¥109,471
331 B	24880	芽室			\$1,011.41	¥147,567
331 B	24885	帯広			\$8,817.06	¥1,286,939
331 B	24886	帯広中央			\$1,675.00	¥244,485
331 B	78571	帯広さくら			\$795.00	¥116,040
331 B	24900	留萌みなと			\$2,639.08	¥385,192

(報告第4号)

## ウクライナ難民支援寄付報告

2023年11月 認定NPO法人 国連UNHCR協会(国連の難民援助機関・UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)の日本における唯一の公式支援窓口)より、ロシアとの戦争が続く国内では、500万人以上が避難を強いられ、ミサイル攻撃など戦闘が激化しており、零下20度にもなる厳しい冬を迎え、女性や子どもなど弱い立場の人々がさらに追い込まれることが強く懸念されているとのことで、ウクライナ難民支援のお願いがあり、集めた募金 **31,760円**を 12月19日 331-B地区からとして LCIF(災害指定 ウクライナ難民支援)へ寄付を致しましたので、ご報告いたします。

提出先：ライオンズクラブ国際協会OSEAL調整事務局

District Multiple District

LCIF寄付受付担当 FAX 03-4540-6766 Eメール IcifTokyo@lionsclubs.org



### LCIF Donation Report Form 寄付報告書式

MD/地区用

地区名・複合地区名 MD & D Name	331B	行事・イベント名 (該当する場合)	
--------------------------	------	----------------------	--

銀行振込日 Deposit made on 12/19/2023

「奉仕に力を」資金 Fund Designation: D stands for Disaster, E stands for Empowering Service Fund  
無指定で当財団が支援するすべての奉仕活動への寄付。  
災害援助資金  
災害救援のために行う寄付

連絡先 Contact Info.	小野寺	0162-73-3161 wlions331b@outlook.jp
----------------------	-----	---------------------------------------

No.	クラブ番号 Clubs ID	クラブ名 Club Name(ローマ字)	クラブ名(漢字)	寄付額(米ドル) Donation Amount (USD)	振込額(日本円) remittance amount in JPY	寄付タイプ Fund Designation	摘要 Remarks	アワード Recognition
1		331B	331B	\$215.00	31,760	災害指定(D)	ウクライナ難民支援	
2								
3								
4								
合計 Donation Total Amount				\$215.00	31,760			
振込合計金額 Deposit Total Amount				\$215.00	31,760			
				アメリカドル	日本円			

※事務局記入欄(OSEAL Office Staff ONLY)

--

2023年11月

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

初めてお手紙をお送りさせていただきます。認定NPO法人 国連UNHCR協会ユー・エヌ・エイチ・シー・アールで事務局長を務めております、川合雅幸と申します。

当協会は、国連の難民援助機関・UNHCR（国連難民高等弁務官事務所）の日本における唯一の公式支援窓口で、募金活動や広報・啓発を担っております。本日は、本格的な冬を迎える難民へのご支援をぜひお願いしたく、突然で不躰ながらお手紙を差し上げました。

1950年に設立されたUNHCRは、現在約135か国で難民の支援に尽力しており、過去に2度ノーベル平和賞を受賞しています（1954年、1981年）。緒方貞子さんが、日本人初のUNHCRのトップ・国連難民高等弁務官として活動を指揮されたことをご記憶の方も多いかと存じます。

緒方さんの活躍された1990年代と比べ、残念なことに世界中で難民や国内避難民は大幅に増え、1億1千万人を超えています。ロシアとの戦争が続くウクライナ国内では、500万人以上が避難を強いられています。UNHCR ウクライナ事務所で活動する石原朋子職員によれば、ミサイル攻撃など戦闘が激化しており、零下20度にもなる厳しい冬を迎え、女性や子どもなど弱い立場の人々がさらに追い込まれることが強く懸念されています。

また、ウクライナだけでなく、2023年2月に大地震が発生し多くの人が家を失ったシリアや、貧困や食料不足にあえぐアフガニスタンなど中東の多くの地域でも冬は氷点下となるため、命の危機に直面する過酷な季節となります。

UNHCRは今年もすでに防寒支援を開始していますが、支援対象者は増え続けており、支援のために必要な資金が追い付いていない状況です。

すでに厳しい冬が始まっており、今まさに時間との闘いです。皆様、家を追われ窮地にある人々に、毛布や防寒具の提供、現金給付などの支援を届け、かけがえのない命を守ることができるよう、お力をお貸しいただけませんでしょうか。

ぜひ日本から温かいご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

敬具



ポーランドのプシエミシル駅で、ウクライナからの難民の家族と

特定非営利活動法人 国連UNHCR協会  
事務局長

川合雅幸





## ウクライナ・支援の現場からの手紙

2023年11月

皆様

初めてお手紙をお送りさせていただきます。

UNHCRウクライナ・ウジホロド事務所の石原朋子と申します。UNHCRは難民の命を守るための国連機関で、世界各地で約2万名、うち日本人職員は約90名が活動しています。本日はウクライナの現場から、皆様に現地の状況についてお伝えさせていただきます。このお手紙を手にとっていただき、誠にありがとうございます。

皆様は、ピューリッツァー賞を受賞した「ハゲワシと少女」という1枚の写真をご存知でしょうか。私は中学生の時にこの写真を見て、衝撃を受けました。内戦の続くスーダンで、座り込んだ瘦せた少女と後ろで少女をじっと見ているハゲワシ。「自分の生活は恵まれているのだ、当たり前ではないのだ」。それは、私の世界観が変わった瞬間でした。高校生になり、ニュースなどで難民や緒方貞子さん（第8代国連難民高等弁務官）のことを知りました。紛争問題を考える機会もあり、人道支援という仕事についても学んで、UNHCRで働きたいと考えるようになりました。大学院を卒業後、赤十字国際委員会などを経て、2015年、念願のUNHCRで働くことになりました。UNHCRではセネガル、シリア、ギリシャ、ケニアを経て、現在ウクライナ西部ウジホロドにある事務所で勤務しています。

ウクライナは広大で自然が豊かな、とても美しい国です。

ウジホロドも森や山など緑が多く、車で現場に移動する際、青空に小麦畑が一面に広がっている風景を見ると、「ブルーに黄色、まさに国旗のとおりだなあ」と感じます。そのウクライナで、UNHCRは1994年に活動を始めました。当初は東部で活動していましたが、2022年2月にロシアによる本格的な侵攻が始まり、急激に支援のニーズが高まったため、事務所を11か所に増やして活動を拡大し支援に尽力してきました。



※地図上の国境線等は、必ずしも国連の公式見解を示すものではありません。

今ウクライナ国内で避難している人は508万人以上、国外に逃れた人々は620万人以上で、国内で人道支援を必要としている人は約1700万人にのぼります。

出典：Ukraine Situation Flash Update

支援が必要な地域へのアクセスが難しい中でも、UNHCRは侵攻開始以来、1066回に及ぶ援助物資の輸送に参加し、戦争で影響を受けた18州の約90万人に物資を届けており※、2023年は約205万人に保護・支援を提供してきました。

※2023年8月現在



2022年、ウクライナ北東部スームイで物資や食料、医薬品を届けるUNHCR。最もアクセスが困難な地域の1つで住民は数週間孤立状態にあった

私が活動するウジホロド事務所は、ハンガリーとスロバキアの国境近くにあり、今のところは爆撃される危険をあまり感じませんが、ここ1〜2週間は毎日数時間おきに空襲警報が鳴り、そのたびに地下の防空シェルターに避難する必要があります。ウジホロドには東部から多くの人々が逃れており、その約6割以上は女性、約5割が子どもとお年寄りです。UNHCRは、避難してきた人々への物資の提供から住居支援や就労支援、法律相談、心のケア、受け入れ地域での社会統合など、多岐にわたる支援を行っています。私の同僚の多くはウクライナ東部の出身で、自らも避難している状況ですが、「ウクライナの人々のために、自分ができたいことをしたい」という思いで、支援にあたっています。

私は2022年6月にウクライナへ赴任し、冬を経験しましたが、ウクライナの冬は本当に厳しい寒さです。ウジホロドでは昨冬は気温が零下13度くらいまで下がりました。雪が積もり道路には氷が張って、私もよく滑りましたし、同僚の中には転倒してお尻の骨を折った人もいて、かなり危険です。東部では零下20度になるなど、私たちが知っているような寒さではないのですが、地下のシェルターを暖めることはむずかしく、空襲警報が鳴ると、地下で寒さに耐えながら解除を待つしかない人が大部分だと思います。

昨年の冬は、発電施設へのミサイル攻撃により停電が相次ぎ、多くの人々が厳しい寒さの中で電気も暖房もない生活を強いられました。1日に1時間しか電気がつかず、暗闇の中ろうそくを灯して過ごしたり、街灯もつかない状況の人も多く、「日本から支援された発電機は命綱でした。本当にありがたいです」と現場でよく聞きました。電気が通るとお湯を沸かしたりパソコンも使えて、子どもたちはオンライン授業も受けることができたのです。



2022年11月、日本の支援でキーウ近郊に避難する人々のために設置された発電機

UNHCRは、今年の冬も厳しい事態になることを想定して、防寒支援の計画を立て準備してきました。今年も9月1日から防寒支援が始まっており、来年2月末までの約6か月間は、UNHCRにとって防寒支援が最優先課題です。まず「最も脆弱な人」を対象とし、約90万人に以下のような支援を実施します。

- ◆現金給付支援：冬に必要な物の購入や出費にあてるための現金の給付
- ◆シェルター／住居支援：家屋用保温キットや固形燃料ヒーターの配布、安全な住居への転居・家賃支援

- ◆防寒物資の提供：防寒キット（毛布、キルト、マットレス、寝袋、魔法瓶等）、防寒具の配布
- ◆発電機支援：10万4,000人分の電力を供給する発電機を提供／設置
- ◆集合避難所の支援：避難所の小規模修繕、断熱施工、カビ対策、暖房・電気系統のメンテナンス

昨年のUNHCRの防寒支援に関する調査では、現金給付支援への満足度が高かったことが分かりました。それぞれの家庭で冬に最も必要な物を購入したり、自分たちで目的に合わせた使い道を選べるからです。この冬UNHCRは、避難している脆弱性の高い人や戦争の影響を受けた人、計45万人を対象に現金給付支援を行う計画です。

また、防寒物資キットを約25万人に、防寒具を6万2,250人に配布します。対象者の65%はドニプロやドネツクなど東部の現金給付が困難な地域の人々です。さらに、防寒対策のされた住居への転居に関する支援、ガス・電気  
 の欠乏時に備えた固形燃料ヒーターの配布も行い、冬に安全で暖かい環境で暮らせるよう支援します。

昨冬、UNHCRから支援を受けた1人がタマラさん（65歳・写真左側）です。彼女は北部チェルニヒウ州の村で暮らしていましたが、2022年11月に激しい爆撃が始まりました。多くの人々が避難しましたが、彼女は違いました。「私の母は85歳で歩くのが困難で、弟は障がいを抱えています。彼らを置いて逃れることはできません」。

一家は地下室で約2週間隠れていましたが、母親カテリーナさんの足がウイルスに感染。寒さの中で感染が体中に広がり病状は悪化していききました。地上ではミサイルが雨のように降り危険を極めました。命を救うためには病院へ連れていくほかありませんでした。

幸い病院では迅速に治療を受けることができ、カテリーナさんは命を取り留めました。タマラさんの家は激しく損壊しましたが、UNHCRの「シェルタープロジェクト」に登録を受け、新しい屋根や窓、ドアが設置され、冬に間に合わせることができました。



タマラさんと孫のメラニアさん。この地域は2022年2～3月の約30日間、激しいミサイル攻撃を受け甚大な被害を出した

ウクライナで私が驚かされているのは、紛争を何度も経験しているウクライナの人々の強さや回復する力です。私の同僚もそうなのですが、思いやりがあって大変な時にもユーモアを忘れず、その逆境に耐える力にとっても感銘を受けています。印象に残っているのは、避難所に逃れている東部出身のある家族です。80代の祖母は第二次世界大戦、その娘は2014年のクリミア紛争、そして孫はロシアによる侵攻、と戦争が起こるたびに避難を強いられ、ひ孫も合わせて4世代にわたり翻弄されてきました。娘さんは現在、NGOスタッフとして自らと同じ国内避難民の支援にあたっています。こうした人々と会うたびに「こんなに困難な状況でも頑張っている人がいる。自分も頑張らなければ」と勇気づけられています。

私はこれまでの活動を通して、UNHCRの支援によって難民の人生が変わる瞬間に何度も立ち会ってきました。ギリシャで働いていた時には、アフガニスタンやコンゴ民主共和国などから親と離ればなれで逃れてきた子どもや若者たちが、安全な国で保護を受けられるよう支援するプロジェクトに携わりました。彼らは不衛生で劣悪な環境での

生活に苦しみ、暴力や性的搾取の危険にさらされていました。私はそうした子どもたちの審査\*にあたり、彼らが無事に欧州へ出発したと報告を受けた時には、彼らの未来が開けたことに心から安堵し、胸が熱くなりました。現場でUNHCRの支援が人々にもたらすインパクトを実際に見られることは、私にとって大きなやりがいでありモチベーションとなっています。

※面談・審査を通過した子どもは、欧州の他国へ移ることができる

皆様、最後までこのお手紙をお読みいただき、ありがとうございます。

戦争の続くウクライナにも、本格的な冬が目の前に迫っています。しかし、港のあるオデーサなど南部でもミサイル攻撃が激化しており、子どもを含む多くの市民が犠牲になっています。また、今年6月には南部のカホウカ・ダムが破壊され、約100万人が水不足などの影響を受けるなど深刻な状況が続いています。こうした厳しい状況で子どもたちや女性、高齢者などの脆弱な人々は冬を迎え、凍える寒さにさらされることになります。本格的な寒さが到来する前に、人々が冬への備えを万全にし、命を守ることができるよう、支援を届けることが重要です。

UNHCRはどんな時も「現場主義」を貫き、難民や国内避難民のそばにとどまり支援を行う機関です。現場のニーズを最も理解・把握し、70年以上の経験で培った機動力が強みであるUNHCRは、緊急支援の現場で最も力を発揮できる機関だと私は確信しています。

どうぞ、UNHCRの活動にお力をお貸しいただき、ウクライナをはじめ、世界で家を追われた人々が厳しい冬を乗り越え温かい春を無事に迎えることができるよう、皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。

UNHCRウクライナ・ウジホロド事務所  
法務官 石原朋子

*Tomoko Ishihara*



©UNHCR/Machabel  
保護上の理由により、写真を一部加工しています。

ウクライナの現場で、避難してきたロマの子どもたちと話をしている石原職員

※このインタビューは2023年8月に行われ、掲載されている情報はその時点でのものです。





# 皆様の今すぐのご支援が、 寒さに凍える難民の命を守ります。

DCカードによるご寄付のお申込用紙

フリガナ

カード氏名(本人自署)

ご住所 〒



23628 CLDM2311\_MUFJ\_DC

はい、難民への防寒支援に協力します。(4つまでできます)

27,000円

燃料やストーブ購入費、  
医療費にもなる

現金給付支援 (約1家族分)

15,000円

雪が降り凍える日も  
家をあたためる

暖房器具 (約4家族分)

9,000円

くるまって眠れる  
暖かい毛布

(約2家族分)

その他の金額

,000円

※ご希望の金額を1000円以上  
1000円単位でご記入ください。

※支援を行う国や情勢により物価は変動するため、上記の金額は目安です。

カード番号

カード有効期限

※ご本人またはご家族名義のカード  
のみでお願いいたします。

※DCカードをご利用ください。

(1回払いのみ)

ご記入日

電話番号

月/ 年

20

年/ 月/ 日

該当の場合を入れてください  携帯電話へのSMS配信は希望しません

●ご寄付の受領日は、当協会が決済代行会社を通じて受領した日となり、12月中旬以降のお申込は受領日が翌年になる場合があります。原則として、前述のご寄付受領日から約1か月でご寄付領収証をお送りいたします。詳しくは右記のURLより、WEBサイトをご確認ください。https://www.japanforunhcr.org/supporters/receipt  
またその他寄付についての詳細も、右記URLよりQ&Aをご確認いただけます。https://www.japanforunhcr.org/about-us/faq#about-donation

●当協会は認定NPO法人です。当協会へのご寄付は、寄付金控除(税制上の優遇措置)の対象になります。お送りする領収証は、確定申告にご利用いただけます。

キリトリ線

## 〒 郵便局/ゆうちょ銀行によるご寄付のお申込用紙

下記「払込取扱票」にご記入の上、ゆうちょ銀行・郵便局の窓口またはATMでお手続きください。

※ゆうちょ銀行・郵便局をご利用の方は、本払込取扱票のみにご記入ください。払込取扱票をご利用の場合は、上記のクレジットカード用お申込用紙のご返送は不要です。



あなたのご支援が、  
この冬の笑顔に。

電話  
ウェブからの  
ご寄付

通話料  
無料  
0120-  
クナンニ イチハヤク  
972-189  
または 03-4366-7373



02 東京		払込取扱票				通常払込料金 加入者負担	
口座番号						金額	
001406569575						千 百 十 万 千 百 十 円	
加入者名 国連UNHCR協会						料金	
通信欄・ご依頼人						備考	
<input type="checkbox"/> 27,000円 現金給付支援 <input type="checkbox"/> 15,000円 暖房器具 <input type="checkbox"/> 9,000円 暖かい毛布						<input type="checkbox"/> その他 _____,000円	
〒						23628 CLDM2311_MUFJ_DC	
電話番号						日附印	
ご依頼人欄に、おとこ・おなまえをご記入ください。(承認番号東47331号) これより下部には何も記入しないでください。						<input type="checkbox"/> 重要なお知らせ、緊急の寄付のお願い に関して携帯番号宛のSMS配信は希望しません	

## 振替払込請求書兼受領証

口座番号	001406	通常払込 料金加入 者負担
	569575	
加入者名	国連UNHCR協会	
金額	千 百 十 万 千 百 十 円	
ご依頼人	おなまえ	
料金	日附印	
備	様	

切り取らないでください。

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押しつけてください。

氷点下の凍える寒さが、  
家を追われた人々の命を  
危険にさらしています。  
どうか今すぐ、  
温かい支援をお願いいたします。



冬の嵐でテントが水につかってしまった、シリア難民のアイシャさん(レバノン)

© UNHCR/H.Hariri

27,000円で



燃料やストーブ購入費、医療費にもなる  
**現金給付支援**  
(約1家族分)

15,000円で



雪が降り凍える日も家にあたためる  
**暖房器具**  
(約4家族分)

9,000円で



くるまって眠れる  
**暖かい毛布**  
(約2家族分)

(ご注意)

- この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
- この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
- この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
- 払込みの際、法令等に基づき、運転免許証等、顔写真付きの公的証明書類のご提示をお願いする場合があります。
- ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
- この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。
- なお、備考欄に「口座払」の印字をしたものは、通常貯金口座から指定口座への払込みが行われたものです。



皆様のご支援は、シリアやウクライナからの難民への防寒支援など、UNHCRが最も必要性が高いと判断する援助活動に充当させていただきます。

**領収証について**

お送りする領収証は、確定申告にご利用いただけます。国連UNHCR協会は認定NPO法人ですので、皆様のご寄付は寄付金控除(税制上の優遇措置)の対象になります。

※国連UNHCR協会は、複数のご寄付口座があり、[00110]または[00140]で始まるいずれの口座も同じ難民支援へのご寄付となります。

JAPAN FOR



UNHCR

難民を守る。難民を支える。  
**国連UNHCR協会**

特定非営利活動法人 国連UNHCR協会

〒107-0062 東京都港区南青山6-10-11 ウェスレーセンター3F

☎**通話料無料** 0120-972-189 [平日10時~19時]

www.japanforunhcr.org

この場所には、何も記載しないでください。

## DCカード会員の皆様へ

2023年11月

三菱UFJニコス株式会社

拝啓 会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃は、弊社カードをご利用いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では、会員の皆様に弊社加盟店の様々な情報をお届けするダイレクトメールサービスを実施しております。

今回は、国連の難民支援機関<sup>ユ-エヌエイチシーアール</sup>UNHCRの公式支援窓口・国連UNHCR協会から「難民を守る防寒支援のお願い」をご紹介しますので、ご高覧賜り、ぜひDCカードをご利用いただきますようお願い申し上げます。

敬具

### 個人情報の取扱いについて

本ダイレクトメールは、会員の皆様の個人情報を厳重に管理のうえ、三菱UFJニコス株式会社から発送しており、「国連UNHCR協会」へ個人情報は一切提供しておりません。

※本ダイレクトメールがご不要の方へ届きましたら、失礼をご容赦賜りますようお願い申し上げます。

(2308-33104)

なお、「国連UNHCR協会」をすでにご支援いただいている方へ本状が重ねて届いてしまいました際には、どうぞご容赦くださいますようお願い申し上げます。

【送付物の内容に関するお問い合わせはこちら】

特定非営利活動法人 国連UNHCR協会

〒107-0062 東京都港区南青山6-10-11 ウェスレーセンター 3F Tel. 0120-972-189 <sup>クナンエイチハヤク</sup> www.japanforunhcr.org

(報告第5号)

## 緊急援助資金の活用について

### ●モロッコ大地震、ハワイ・マウイ島火災

- ゾーン・チェアパーソン、11名の署名添付

### ●能登半島地震

- 331-B地区 緊急援助委員会持ち回り（書面）臨時委員会議事録について
- 能登半島地震に対する地区緊急援助資金の活用について
- 331-B地区 緊急援助委員会援助資金拠出の報告



## 第2回キャビネット会議（報告第5号）

### モロッコ大地震・ハワイマウイ島火災に対する地区緊急援助資金の活用について

緊急対応案件との理解の元、「331-B地区緊急援助資金規則」に則り標記のとおり地区緊急援助資金から9月28日、正会員お一人様1,000円、8月末正会員1,796人×1,000円=1,796,000円、OSEAL調整事務局を通じてライオンズクラブ国際協会LCIF財団に寄付する事に致しました事をご報告申し上げます。

また、今回緊急援助資金から拠出されます事から、4月20日開催の第70回地区年次大会におきまして正会員メンバーお一人様1,000円の負担金拠出について議案（次期キャビネットにて次年度資金回収）として提出し、審議する運びとなっておりますのでご了承下さいます様お願い申し上げます。

	<b>SPECIAL REPORTING FORM FOR DESIGNATED FUND DONATIONS</b> <b>For Morocco Earthquake and Hawaii Wildfires 2023</b> <b>モロッコ大地震・ハワイマウイ島山火事 支援</b>
MD/DISTRICT FORM	

この報告用紙はモロッコ大地震・ハワイマウイ島山火事 支援指定寄付を複合地区・地区としてまとめ報告いただくためのものです。

This form is for MD/District to use for reporting Morocco Earthquake and Hawaii Wildfires 2023.

複合地区/地区名 MD/DISTRICT NAME	331-B eko fujiwara	連絡先 電話番号/Eメールアドレス	0162-73-3161 wlions331b@outlook.jp	銀行振込日 Bank deposit made on	9/28/23
------------------------------	-----------------------	----------------------	---------------------------------------	----------------------------	---------

ローマ字で記入してください

複合地区・地区としてとりまとめてお振込みいただく際には、それぞれに割り当てられたみずほ銀行バーチャル口座の2番をご使用ください。口座番号がご不明の場合にはお問い合わせください。

寄付タイプ Fund Designation	寄付合計額（日本円） Donation Amount (JPY)	寄付額（米ドル） Donation Amount (USD) <small>入金額を振込月のライオンズレートで換算した金額を記入してください。</small>	備考欄 Remarks
モロッコ大地震・ハワイマウイ島山火事 支援指定 Morocco Earthquake and Hawaii Wildfires 2023	¥1,796,000	\$12,304.65	

- この災害指定で個人寄付をされる場合（個人の寄付実績として記録される寄付）には、通常の寄付書式を使用してください。その場合、寄付の種類で災害指定寄付を選び、「モロッコ大地震・ハワイマウイ島山火事」または"Morocco Earthquake and Hawaii Wildfires 2023"と備考欄にご記入ください。
- 災害指定された寄付金は、100%その災害復興のために使用されます。そのため、地区クラブシェアリングのために15%ご使用いただく資金の対象とはなりません。
- 寄付の内訳（クラブまたは準地区ごと）がある場合には、次ページの内訳表をご使用ください。

お問い合わせ先 OSEAL調整事務局 LCIF課 LCIFTokyo@lionsclubs.org 電話：050-1791-5824
-----------------------------------------------------------------------------

※事務局記入欄 Notes from OSEAL Office staff to Donor Service Dept.

--



稚内CAB第17号  
2023年11月24日

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区  
第1R第1Z ゾーン・チェアパーソン  
L. 成田 勝利

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区  
地区ガバナー L. 藤原 回向

### 緊急援助資金支出の承認について

謹啓 皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、モロッコ大地震・ハワイマウイ島火災に対する地区緊急援助資金の件につきまして、緊急援助資金規則第5条の2に基づいて地区ガバナー・第一副地区ガバナー・第二副地区ガバナーと電話等により協議を行い承認して頂きましたが、緊急性が無いものと判断、ZCの承認も必要となりました。事後報告になってしまいましたが、どうぞご理解頂いて、署名をもってご承認頂きたいと思ます。

下記の金額の支出を決定いたしましたので、ご了承の程よろしくお願ひ申し上げます。

謹白

記

1 金 1,796,000円

・第1R第1Z ゾーン・チェアパーソン  
L. 成田 勝利



ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区  
2023-2024 年度 稚内キャビネット事務局  
〒097-0022 稚内市中央4丁目15番地16号 道北水産ビル1階  
TEL 0162-73-3161 FAX 0162-73-3162  
E-mail : wlions331b@outlook.jp



稚内CAB第17号  
2023年11月24日

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区  
第1R第2Z ゾーン・チェアパーソン  
L. 杉本 隆英

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区  
地区ガバナー L. 藤原 回向

### 緊急援助資金支出の承認について

謹啓 皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、モロッコ大地震・ハワイマウイ島火災に対する地区緊急援助資金の件につきまして、緊急援助資金規則第5条の2に基づいて地区ガバナー・第一副地区ガバナー・第二副地区ガバナーと電話等により協議を行い承認して頂きましたが、緊急性が無いものと判断、ZCの承認も必要となりました。事後報告になってしまいましたが、どうぞご理解頂いて、署名をもってご承認頂きたいと思えます。

下記の金額の支出を決定いたしましたので、ご了承の程よろしくお願ひ申し上げます。

謹白

記

1 金1,796,000円

・第1R第2Z ゾーン・チェアパーソン  
L. 杉本 隆英



ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区  
2023-2024 年度 稚内キャビネット事務局  
〒097-0022 稚内市中央4丁目15番地16号 道北水産ビル1階  
TEL 0162-73-3161 FAX 0162-73-3162  
E-mail : wlions331b@outlook.jp



稚内CAB第17号  
2023年11月24日

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区  
第2R第1Z ゾーン・チェアパーソン  
L. 松田 誠一

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区  
地区ガバナー L. 藤原 回向

## 緊急援助資金支出の承認について

謹啓 皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、モロッコ大地震・ハワイマウイ島火災に対する地区緊急援助資金の件につきまして、緊急援助資金規則第5条の2に基づいて地区ガバナー・第一副地区ガバナー・第二副地区ガバナーと電話等により協議を行い承認して頂きましたが、緊急性が無いものと判断、ZCの承認も必要となりました。事後報告になってしまいましたが、どうぞご理解頂いて、署名をもってご承認頂きたいと思えます。

下記の金額の支出を決定いたしましたので、ご了承の程よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

1 金 1,796,000 円

・第2R第1Z ゾーン・チェアパーソン  
L. 松田 誠一



ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区  
2023-2024 年度 稚内キャビネット事務局  
〒097-0022 稚内市中央4丁目15番地16号 道北水産ビル1階  
TEL 0162-73-3161 FAX 0162-73-3162  
E-mail : wlions331b@outlook.jp



稚内CAB第17号  
2023年11月24日

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区  
第2R第2Z ゾーン・チェアパーソン  
L. 立崎 光儀

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区  
地区ガバナー L. 藤原 回向

### 緊急援助資金支出の承認について

謹啓 皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、モロッコ大地震・ハワイマウイ島火災に対する地区緊急援助資金の件につきまして、緊急援助資金規則第5条の2に基づいて地区ガバナー・第一副地区ガバナー・第二副地区ガバナーと電話等により協議を行い承認して頂きましたが、緊急性が無いものと判断、ZCの承認も必要となりました。事後報告になってしまいましたが、どうぞご理解頂いて、署名をもってご承認頂きたいと思えます。

下記の金額の支出を決定いたしましたので、ご了承の程よろしくお願ひ申し上げます。

謹白

記

1 金 1,796,000円

・第2R第2Z ゾーン・チェアパーソン  
L. 立崎光儀



ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区  
2023-2024 年度 稚内キャビネット事務局  
〒097-0022 稚内市中央4丁目15番地16号 道北水産ビル1階  
TEL 0162-73-3161 FAX 0162-73-3162  
E-mail : wlions331b@outlook.jp



稚内CAB第17号  
2023年11月24日

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区  
第3R第1Z ゾーン・チェアパーソン  
L. 方川 一郎

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区  
地区ガバナー L. 藤原 回向

### 緊急援助資金支出の承認について

謹啓 皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、モロッコ大地震・ハワイマウイ島火災に対する地区緊急援助資金の件につきまして、緊急援助資金規則第5条の2に基づいて地区ガバナー・第一副地区ガバナー・第二副地区ガバナーと電話等により協議を行い承認して頂きましたが、緊急性が無いものと判断、ZCの承認も必要となりました。事後報告になってしまいましたが、どうぞご理解頂いて、署名をもってご承認頂きたいと思えます。

下記の金額の支出を決定いたしましたので、ご了承の程よろしくお願ひ申し上げます。

謹白

記

1 金 1,796,000円

・第3R第1Z ゾーン・チェアパーソン  
L. 方川 一郎



ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区  
2023-2024 年度 稚内キャビネット事務局  
〒097-0022 稚内市中央4丁目15番地16号 道北水産ビル1階  
TEL 0162-73-3161 FAX 0162-73-3162  
E-mail : wlions331b@outlook.jp



稚内CAB第17号  
2023年11月24日

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区  
第3R第2Z ゾーン・チェアパーソン  
L. 高橋 好志子

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区  
地区ガバナー L. 藤原 回向

### 緊急援助資金支出の承認について

謹啓 皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、モロッコ大地震・ハワイマウイ島火災に対する地区緊急援助資金の件につきまして、緊急援助資金規則第5条の2に基づいて地区ガバナー・第一副地区ガバナー・第二副地区ガバナーと電話等により協議を行い承認して頂きましたが、緊急性が無いものと判断、ZCの承認も必要となりました。事後報告になってしまいましたが、どうぞご理解頂いて、署名をもってご承認頂きたいと思えます。

下記の金額の支出を決定いたしましたので、ご了承の程よろしく願い申し上げます。

謹白

記

1 金1,796,000円

・第3R第2Z ゾーン・チェアパーソン  
L. 高橋 好志子



ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区  
2023-2024 年度 稚内キャビネット事務局  
〒097-0022 稚内市中央4丁目15番地16号 道北水産ビル1階  
TEL 0162-73-3161 FAX 0162-73-3162  
E-mail : wlions331b@outlook.jp



稚内CAB第17号  
2023年11月24日

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区  
第4R第1Z ゾーン・チェアパーソン  
L. 萩谷 泰夫

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区  
地区ガバナー L. 藤原 回向

### 緊急援助資金支出の承認について

謹啓 皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、モロッコ大地震・ハワイマウイ島火災に対する地区緊急援助資金の件につきまして、緊急援助資金規則第5条の2に基づいて地区ガバナー・第一副地区ガバナー・第二副地区ガバナーと電話等により協議を行い承認して頂きましたが、緊急性が無いものと判断、ZCの承認も必要となりました。事後報告になってしまいましたが、どうぞご理解頂いて、署名をもってご承認頂きたいと思えます。

下記の金額の支出を決定いたしましたので、ご了承の程よろしくお願ひ申し上げます。

謹白

記

1 金 1,796,000円

・第4R第1Z ゾーン・チェアパーソン  
L. 萩谷泰夫



ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区  
2023-2024 年度 稚内キャビネット事務局  
〒097-0022 稚内市中央4丁目15番地16号 道北水産ビル1階  
TEL 0162-73-3161 FAX 0162-73-3162  
E-mail : wlions331b@outlook.jp





稚内CAB第17号  
2023年11月24日

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区  
第4R第2Z ゾーン・チェアパーソン  
L. 喜多 武彦

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区  
地区ガバナー L. 藤原 回向

### 緊急援助資金支出の承認について

謹啓 皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、モロッコ大地震・ハワイマウイ島火災に対する地区緊急援助資金の件につきまして、緊急援助資金規則第5条の2に基づいて地区ガバナー・第一副地区ガバナー・第二副地区ガバナーと電話等により協議を行い承認して頂きましたが、緊急性が無いものと判断、ZCの承認も必要となりました。事後報告になってしまいましたが、どうぞご理解頂いて、署名をもってご承認頂きたいと思えます。

下記の金額の支出を決定いたしましたので、ご了承の程よろしくお願ひ申し上げます。

謹白

記

1 金1,796,000円

・第4R第2Z ゾーン・チェアパーソン  
L. 喜多 武彦



ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区  
2023-2024 年度 稚内キャビネット事務局  
〒097-0022 稚内市中央4丁目15番地16号 道北水産ビル1階  
TEL 0162-73-3161 FAX 0162-73-3162  
E-mail : wlions331b@outlook.jp



稚内CAB第17号  
2023年11月24日

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区  
第4R第3Z ゾーン・チェアパーソン  
L. 徳田 晃一

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区  
地区ガバナー L. 藤原 回向

### 緊急援助資金支出の承認について

謹啓 皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、モロッコ大地震・ハワイマウイ島火災に対する地区緊急援助資金の件につきまして、緊急援助資金規則第5条の2に基づいて地区ガバナー・第一副地区ガバナー・第二副地区ガバナーと電話等により協議を行い承認して頂きましたが、緊急性が無いものと判断、ZCの承認も必要となりました。事後報告になってしまいましたが、どうぞご理解頂いて、署名をもってご承認頂きたいと思えます。

下記の金額の支出を決定いたしましたので、ご了承の程よろしくお願ひ申し上げます。

謹白

記

1 金1,796,000円

・第4R第3Z ゾーン・チェアパーソン  
L. 徳田晃一



ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区  
2023-2024 年度 稚内キャビネット事務局  
〒097-0022 稚内市中央4丁目15番地16号 道北水産ビル1階  
TEL 0162-73-3161 FAX 0162-73-3162  
E-mail : wlicns331b@outlook.jp



稚内CAB第17号  
2023年11月24日

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区  
第5R第1Z ゾーン・チェアパーソン  
L. 奥山 久美子

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区  
地区ガバナー L. 藤原 回向

### 緊急援助資金支出の承認について

謹啓 皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、モロッコ大地震・ハワイマウイ島火災に対する地区緊急援助資金の件につきまして、緊急援助資金規則第5条の2に基づいて地区ガバナー・第一副地区ガバナー・第二副地区ガバナーと電話等により協議を行い承認して頂きましたが、緊急性が無いものと判断、ZCの承認も必要となりました。事後報告になってしまいましたが、どうぞご理解頂いて、署名をもってご承認頂きたいと思えます。

下記の金額の支出を決定いたしましたので、ご了承の程よろしく願い申し上げます。

謹白

記

1 金1,796,000円

・第5R第1Z ゾーン・チェアパーソン  
L. 奥山 久美子



ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区  
2023-2024 年度 稚内キャビネット事務局  
〒097-0022 稚内市中央4丁目15番地16号 道北水産ビル1階  
TEL 0162-73-3161 FAX 0162-73-3162  
E-mail : wlions331b@outlook.jp



稚内CAB第17号  
2023年11月24日

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区  
第5R第2Z ゴーン・チェアパーソン  
L. 佐藤 正明

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区  
地区ガバナー L. 藤原 回向

### 緊急援助資金支出の承認について

謹啓 皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、モロッコ大地震・ハワイマウイ島火災に対する地区緊急援助資金の件につきまして、緊急援助資金規則第5条の2に基づいて地区ガバナー・第一副地区ガバナー・第二副地区ガバナーと電話等により協議を行い承認して頂きましたが、緊急性が無いものと判断、ZCの承認も必要となりました。事後報告になってしまいましたが、どうぞご理解頂いて、署名をもってご承認頂きたいと思えます。

下記の金額の支出を決定いたしましたので、ご了承の程よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

1 金1,796,000円

・第5R第2Z ゴーン・チェアパーソン  
L. 佐藤 正明



ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区  
2023-2024 年度 稚内キャビネット事務局  
〒097-0022 稚内市中央4丁目15番地16号 道北水産ビル1階  
TEL 0162-73-3161 FAX 0162-73-3162  
E-mail : wlions331b@outlook.jp



稚内CAB第30号  
2024年1月12日

ライオンズクラブ国際協会331-B地区  
緊急援助委員会 委員 各位

ライオンズクラブ国際協会331-B地区  
地区ガバナー L. 藤原 回向

331-B地区 緊急援助委員会  
持ち回り（書面）臨時委員会議事録について

標記委員会議事録を下記の様にご報告致します。どうぞご査収ください。

記

1. 召集日 2024年1月12日
2. 開催場所 持ち回り書面
3. 開催日 2024年1月12日
4. 出席者 331-B地区緊急援助委員会 構成委員
  - ❖ 委員会 L. 藤原 回向
  - ❖ 委員 L. 伊東 隆志 L. 大島 尚久 L. 中野 修吾 L. 梅村 俊範  
L. 成田 勝利 L. 杉本 隆英 L. 松田 誠一 L. 立崎 光儀  
L. 方川 一郎 L. 高橋好志子 L. 萩谷 泰夫 L. 喜多 武彦  
L. 徳田 晃一 L. 奥山久美子 L. 佐藤 正明

❖ 審議事項

【能登半島地震への緊急援助資金の拠出の件】、331-B地区緊急援助資金規則に基づき1,754,000円の資金援助したいと審議に諮ったところ、書面により全員一致で承認された。

上記決議を明確にするため、議事録署名人において確認、次に記名押印する。

2024年1月12日

稚内キャビネットにて

キャビネット幹事 L. 中野 修吾

キャビネット会計 L. 梅村 俊範



ライオンズクラブ国際協会331-B地区  
2023-2024年度 稚内キャビネット事務局  
〒097-0022 稚内市中央4丁目15番地16号 道北水産ビル1階  
TEL 0162-73-3161 FAX 0162-73-3162  
E-mail : wlions331b@outlook.jp



稚内CAB第31号  
2024年1月16日

ライオンズクラブ国際協会331-B地区

ライオンズクラブ会長 各位

ライオンズクラブ国際協会331-B地区

地区ガバナー L. 藤原 回向

## 能登半島地震に対する地区緊急援助資金の活用について

謹啓 貴職並びにクラブ会員の皆様には益々ご清祥のことと拝察申し上げます。平素は稚内キャビネットに対しましてご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、テレビ・新聞の報道等でご承知の通り、新年早々に能登半島を中心とした日本海側をマグニチュード7.6の地震が襲い、今現在もさらに厳しい被災状況が刻々と報告されています。

被災地域の皆様、また直接的間接的に影響を受けていらっしゃる皆様には、心よりお見舞い申し上げ、犠牲者の皆様には謹んでお悔やみを申し上げます。

1月1日に能登半島で発生致しましたマグニチュード7.6の大地震は甚大な被害を地域社会にもたらしております。1月15日現在死亡者数が約221人以上、約1,197人以上がケガ、約6,635棟の住宅被害の被災状況です。また、地震によって家屋や地域のインフラが破壊された被災地には早急な救援物資、避難所が必要になっており、気温の下がる避難生活を続けている人もおり支援が急務となっております。

1月3日には、ライオンズクラブ国際協会 OSEAL 調整事務局 LCIF 課からも、一人2,000円の義援金を早急に会員に募って欲しい旨の要請文書も届いております。

つきましては緊急対応案件との理解の元、「331-B 地区緊急援助資金規則」に則り標記のとおり地区緊急援助資金から正会員お一人様1,000円、合計1,754,000円、OSEAL 調整事務局を通じてライオンズクラブ国際協会 LCIF 財団に寄付する事に致しました事をご報告申し上げます。この件につきましては2月17日に開催されます第3回キャビネット会議で報告致します。

また、今回緊急援助資金から拠出されます事から、4月20日開催の地区年次大会におきまして正会員メンバーお一人様1,000円の負担金拠出について議案（次期キャビネットにて次年度資金回収）として提出し、審議する運びとなっておりますのでご了承下さいますようお願い申し上げます。

末筆になりますが貴職並びに会員の皆様の今後益々のご隆盛とご多幸を心より祈念申し上げます

謹白



ライオンズクラブ国際協会331-B地区

2023-2024年度 稚内キャビネット事務局

〒097-0022 稚内市中央4丁目15番地16号 道北水産ビル1階

TEL 0162-73-3161 FAX 0162-73-3162

E-mail : wlions331b@outlook.jp



稚内C A B第32号

2024年1月16日

ライオンズクラブ国際協会331-B地区  
ライオンズクラブ会長 各位

ライオンズクラブ国際協会331-B地区  
地区ガバナー（緊急援助委員会委員長） L. 藤原 回向

### 331-B地区 緊急援助委員会 援助資金拠出の報告

謹啓 貴クラブにおかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

被災地域の皆様、また直接的間接的に影響を受けていらっしゃる皆様には、心よりお見舞い申し上げ、犠牲者の皆様には謹んでお悔やみを申し上げます。

さて、標記委員会よりこの度下記のように緊急援助資金が拠出されましたことをご報告いたします。会員各位からの資金が、今後も有効に活用されますよう務めて参りますので、どうぞご理解の程よろしくお願い申し上げます。

謹白

#### 記

名 目	2024年1月1日発生 能登半島地震への緊急援助資金の拠出の件
拠 出 金	1,754,000 円
拠 出 先	LCIF
支 援 日	2024年1月16日

#### 経過説明

2024年1月1日の上記災害に対して、1月3日、10万ドルの大災害復興支援交付金が正式に承認されました。ライオンズクラブ国際協会 OSEAL 調整事務局 LCIF 課、一般社団法人日本ライオンズよりこの災害からの復興には長い期間の支援が必要になるものと思い、日本ライオンズクラブ会員の皆様の LCIF への寄付による支援を要請されました。331-B地区緊急援助資金規則に基づき@1,000×会員数(12月末現在)1,754,000円の資金援助を当委員会同意の上、至急行いました。

以上



ライオンズクラブ国際協会331-B地区  
2023-2024年度 稚内キャビネット事務局  
〒097-0022 稚内市中央4丁目15番地16号 道北水産ビル1階  
TEL 0162-73-3161 FAX 0162-73-3162  
E-mail : wlions331b@outlook.jp



**SPECIAL REPORTING FORM FOR DESIGNATED FUND DONATIONS**  
**For NOTO Earthquake MCAT**

**能登半島地震大災害復興支援指定寄付**

MD/DISTRICT FORM

この報告用紙は能登半島地震特定災害指定寄付を複合地区・地区としてまとめ報告いただくためのものです。

This form is for MD/District to use for reporting the designated NOTO Earthquake MCAT Fund

複合地区/地区名

**331-B**

MD/DISTRICT NAME

ローマ字で記入してください

連絡先

0162-73-3161  
 wlions331b@outlook.jp

電話番号/Eメールアドレス

銀行振込日 Bank deposit made on

1/16/2024

複合地区・地区としてとりまとめお振込みいただく際には、それぞれに割り当てられたみずほ銀行バーチャル口座の2番をご使用ください。口座番号がご不明の場合にはお問い合わせください。

寄付タイプ	寄付合計額 (日本円)	寄付額 (米ドル 入金額を振込月のライオンズレートで換算した金額を記入してください。)	備考欄
Fund Designation	Donation Amount (JPY)	Donation Amount (USD)	Remarks
能登半島地震 NOTO Earthquake MCAT Fund	¥1,754,000	\$12,379.13	

■ この災害指定で個人寄付をされる場合 (個人の寄付実績として記録される寄付) には、通常の寄付書式を使用してください。

その場合、寄付の種類で災害指定寄付を選び、「能登地震復興支援」または「Noto MCAT」と備考欄にご記入ください。

■ 災害指定された寄付金は、100%その災害復興のために使用されます。そのため、地区クラブシェアリングのために15%ご使用いただく資金の対象とはなりません。

■ 寄付の内訳 (クラブまたは準地区ごと) がある場合には、次ページの内訳表をご使用ください。

※すべてのLCIFへの寄付は地区実績として記録されます

お問い合わせ先  
 OSEAL 調整事務局LCIF課/能登半島地震復興支援委員会  
 LCIFTokyo@lionsclubs.org  
 電話：050-1791-5824

※事務局記入欄 Notes from OSEAL Office staff to Donor Service Dept.



複合地区・地区寄付報告内訳表 ローマ字でご記入ください。

#	クラブ名または準地区名 (Club Name/Sub-District Name)	クラブの場合はクラブ番号 Club ID	寄付金額 (日本円での金額) Donation in JPY	寄付金額 (米ドルでの金額) Donation in USD
1	<b>331B</b>		<b>1,754,000</b>	<b>12,379.13</b>
2				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
合計Total			<b>¥ 1,754,000</b>	<b>\$ 12,379.13</b>
※合計金額は1枚目の報告金額と一致させてください。必要に応じて列を増やして列を増やしてご使用ください。				

# 審 議 事 項

## 【議案第 1 号】

### ◆2024-2025 年度 3 3 1 - B 地区 地区ガバナー立候補者届出書

- ・地区ガバナー立候補者届出書
- ・推薦状
- ・次年度ホストクラブ同意書

## 【議案第 2 号】

### ◆2024-2025 年度 3 3 1 - B 地区 第一副地区ガバナー立候補者届出書



- ・第一副地区ガバナー立候補者届出書
- ・推薦状

## 【議案第 3 号】

### ◆2024-2025 年度 3 3 1 - B 地区 第二副地区ガバナー立候補者届出書

- ・第二副地区ガバナー立候補者届出書
- ・推薦状

2024-2025年度 331-B地区 地区ガバナー立候補者届出書

	届出年月日	2023年 12月 8日		
	所 属	第 5 R 第 1 Z 北見ライオンズクラブ		
	ふりがな	いとう たかし		
	立候補者名	L. 伊東 隆志		
	生年月日	昭和34年 6月 22日 64歳		
自 宅	〒	090-0019		
	住 所	北見市三楽町154番地1		
	電 話			
	携 帯	090-5229-1524		
	E-mail	ito-shi@gray.plala.or.jp		
勤 務 先	〒	090-0801		
	住 所	北見市春光町2丁目159番地4		
	勤務先名	伊東隆志税理士事務所	役職名	所長
	電 話	0157 24 4777		
	E-mail	ito-shi@gray.plala.or.jp		
ライオン歴 (年度順) ・入会 ・クラブ役職 ・準地区  ・複合地区役員  ・授賞 アワード	2011年 2017年 2018年 2022年 2023年  2022年 2023年	7月 7月 7月 7月 7月  7月 7月	北見ライオンズクラブ 入会 北見ライオンズクラブ会長 (第56代) 第5R第1Z ゾーンチェアパーソン 第2副地区ガバナー、地区会計監査委員、長期計画リサーチ委員 第1副地区ガバナー、地区LCIF副コーディネーター 地区会計監査委員、長期計画リサーチ委員会副委員長 長期計画リサーチ委員 LCIF委員会副委員長、長期計画リサーチ委員 会計監査委員会委員 MJFフェロー 4回	
職 歴 主要なものを列記し、 その役職名を併記	東京国税局 調査部 調査課 上席調査官 税理士法人伊東会計事務所 代表社員 税理士 伊東隆志税理士事務所 所長 税理士			
最 終 学 歴	小樽商科大学 短期大学部 昭和57年 3月 卒業			
公職・叙勲・賞罰	北見市監査委員 賞罰 なし			
家 族 同居家族氏名・続柄 職業・年齢・性別	伊東 敏子 妻 事業専従者 56歳 女性			
現在、主として勤務している法人・団体等の内容 商号、本店、資本金等	内容 事務所名 住所 資本金	税理士事務所 伊東隆志税理士事務所 北見市春光町2丁目159番地4 なし		
ライオンズクラブ国際協会 331-B地区 地区ガバナー L. 藤原 回向				
私儀、ライオンズクラブ国際協会331-B地区 地区ガバナーとして立候補いたしたく、 クラブ推薦状を添え、届出いたします。				
北見ライオンズクラブ 署名 				

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区  
地区ガバナー L. 藤原 回 向

北見ライオンズクラブ  
会長 L. 山本 一男


## 推 薦 状

2024-2025 年度 331-B 地区 地区ガバナー立候補者として全会員の  
承諾を得て、当クラブ会員 L. 伊 東 隆 志 を推薦いたします。

2023年 12月 8日

第 5 リジョン 第 1 ゾーン 北見 ライオンズクラブ

会 長 山本一男 

幹 事 五十嵐俊啓 

会 計 甲藤慎司 

(注) 地区ガバナー立候補者は、ライオンズクラブ国際協会付則第 9 条第 4 項により、  
次の資格を要します。

1. 所属単一地区又は準地区内グッドスタンディングの正ライオンズクラブにおけるグッドスタンディングの正会員であること。
2. 所属クラブの推薦、あるいは所属単一地区又は準地区内過半数のクラブの推薦を受けていること。
3. 現在、所属地区の第一副地区ガバナーを努めている者でなければならない。

ライオンズクラブ国際協会 331-B地区

地区ガバナー L. 藤原 回 向

## 次年度ホストクラブ同意書

ライオンズクラブ国際協会 331-B地区 2024年7月～2025年  
6月の地区キャビネット運営全般に関し 北見ライオンズクラブ  
L. 伊東隆志 が次期ガバナーに立候補し、当クラブがホストク  
ラブとしてお引き受けすることに同意致します。

2023年12月15日

ライオンズクラブ国際協会 331-B地区

第5リジョン第1ゾーン

北見ライオンズクラブ

会長 L. 山本一男



ライオンズクラブ国際協会 331-B地区

地区ガバナー L. 藤原 回 向

## 次年度ホストクラブ同意書

ライオンズクラブ国際協会 331-B地区 2024年7月～2025年  
6月の地区キャビネット運営全般に関し 北見ライオンズクラブ  
L. 伊東隆志 が次期ガバナーに立候補し、当クラブがホストク  
ラブとしてお引き受けすることに同意致します。

2024年 / 月 / 日

ライオンズクラブ国際協会 331-B地区

第5リジョン第1ゾーン

北見白樺 ライオンズクラブ

会 長 L.

山中 大輔



ライオンズクラブ国際協会 331-B地区

地区ガバナー L. 藤原 回 向

## 次年度ホストクラブ同意書

ライオンズクラブ国際協会 331-B地区 2024年7月～2025年  
6月の地区キャビネット運営全般に関し 北見ライオンズクラブ  
L. 伊東隆志 が次期ガバナーに立候補し、当クラブがホストク  
ラブとしてお引き受けすることに同意致します。

2023年 12月 19日

ライオンズクラブ国際協会 331-B地区

第5リジョン第1ゾーン

紋別オホーツクライオンズクラブ

会 長 L. 佐々木 薫





ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区

地区ガバナー L. 藤原 回 向

## 次年度ホストクラブ同意書

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区 2024 年 7 月～2025 年  
6 月の地区キャビネット運営全般に関し 北見ライオンズクラブ  
L. 伊東隆志 が次期ガバナーに立候補し、当クラブがホストク  
ラブとしてお引き受けすることに同意致します。

2023 年 12 月 20 日

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区

第 5 リジョン第 2 ゾーン

北見ライオンズクラブ

会長 L. 山内 秀郎



ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区

地区ガバナー L. 藤原 回 向

## 次年度ホストクラブ同意書

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区 2024 年 7 月～2025 年  
6 月の地区キャビネット運営全般に関し 北見ライオンズクラブ  
L. 伊東隆志 が次期ガバナーに立候補し、当クラブがホストク  
ラブとしてお引き受けすることに同意致します。

2024 年 1 月 10 日

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区

第 5 リジョン第 2 ゾーン

北見中央ライオンズクラブ

会 長 L. 古川 公晴



ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区

地区ガバナー L. 藤原 回 向

## 次年度ホストクラブ同意書

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区 2024 年 7 月～2025 年  
6 月の地区キャビネット運営全般に関し 北見ライオンズクラブ  
L. 伊東隆志 が次期ガバナーに立候補し、当クラブがホストク  
ラブとしてお引き受けすることに同意致します。

2023 年 12 月 22 日

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区

第 5 リジョン第 2 ゾーン

網走桂ライオンズクラブ

会 長 L. 横山 正直



ライオンズクラブ国際協会 331-B地区

地区ガバナー L. 藤原回向様

## 次年度ホストクラブ同意書

ライオンズクラブ国際協会 331-B地区 2024年7月～2025年6月の地区キャビネット運営全般に関し 北見ライオンズクラブ L. 伊東隆志 が次期ガバナーに立候補し、当クラブがホストクラブとしてお引き受けすることに同意致します。

2023年12月25日

ライオンズクラブ国際協会 331-B地区

第5リジョン第2ゾーン

端野ライオンズクラブ

会長 L. 小田大典



2024-2025年度 331-B地区 第一副地区ガバナー立候補者届出書

	届出年月日	2023年 12月 1日		
	所 属	第 1 R 第 1 Z 釧路みなとライオンズクラブ		
	ふりがな	おおしま なおひさ		
	立候補者名	L. 大島 尚久		
	生年月日	S31年 9月 29日 67歳		
	自 宅	〒	085-0063	
		住 所	釧路市文苑3丁目54-1	
		電 話	0154-39-3700	
		携 帯	090-6871-6496	
		E-mail	honosae@jasmine.ocn.ne.jp	
勤 務 先	〒	084-0906		
	住 所	釧路市鳥取大通3丁目12-4		
	勤務先名	医療法人社団大島歯科医院	役職名	理事長
	電 話	0154-51-8251		
	E-mail	-----		
ライオン歴 (年度順) ・入会 ・クラブ役職 ・準地区 ・複合地区役員 ・授賞 アワード	2010年 11月 2013年～2014年 2014年～2015年 2016年～2017年 2020年～2021年 2021年～2022年  2022年 5月 2022年 7月～  2023年 7月～  2023年 11月	釧路みなとライオンズクラブ 入会 331-B地区レオ・ライオネスクラブ委員長 " " 釧路みなとライオンズクラブ第51代会長 331-B地区 第1R第1Zゾーン・チェアパーソン 331複合地区 GST副委員長 331-B地区 地区GSTコーディネーター 国際会長アワード リーダーシップ賞 331複合地区 次世代リーダーシップ研究会 331-B地区 地区GETコーディネーター 331-B地区 第二副地区ガバナー 331複合地区 オセアルフォーラム特別委員会副委員長 メルビン・ジョーンズ・フェロー5回		
職 歴 主要なものを列記し、 その役職名を併記	昭和61年 大島歯科医院開院 後に医療法人に改組			
最 終 学 歴	松本歯科大学 昭和56年 3月 卒業			
公職・叙勲・賞罰	一般社団法人 釧路歯科医師会 副会長			
家 族 同居家族氏名・続柄 職業・年齢・性別	妻 大島三記子	医療法人社団大島歯科医院理事	56歳	
	長女 大島穂乃果	釧路日赤病院	28歳	
	次女 大島小依花	学生	26歳	
現在、主として勤務している法人・団体等の内容 商号、本店、資本金等	医療社団法人 大島歯科医院 理事長			
ライオンズクラブ国際協会 331-B地区 地区ガバナー L. 藤原 回向  私儀、ライオンズクラブ国際協会331-B地区 第一副地区ガバナーとして 立候補いたしたく、クラブ推薦状を添え、届出いたします。 釧路みなとライオンズクラブ 署名 大島 尚久				

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区  
地区ガバナー L. 藤原 回向

釧路みなとライオンズクラブ  
会 長 L. 木村 宏幸

## 推 薦 状

2024-2025 年度 331-B 地区 第一副地区ガバナー立候補者として全会員の  
承諾を得て、当クラブ会員 L. 大島 尚久 を推薦いたします。

2023 年 12 月 1 日

第 1 リジョン 第 1 ゾーン 釧路みなとライオンズクラブ

会 長 木村 宏幸



幹 事 綿貫 裕介




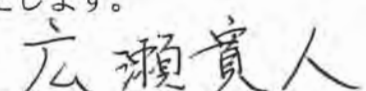

会 計 大森 一道



(注) 第一副地区ガバナー立候補者は、ライオンズクラブ国際協会付則第 9 条第 6 項によ  
り、次の資格を要します。

1. 所属単一地区又は、準地区内の正クラブの正会員であり、クラブ、本人ともに  
グッド・スタンディングであること。
2. 所属クラブ又は所属単一地区もしくは準地区内の過半数のクラブの推薦をうけてい  
ること。
3. 現在、所属地区の第二副地区ガバナーを務めていること。

2024-2025年度 331-B地区 第二副地区ガバナー立候補者届出書

	届出年月日	2023年12月1日			
	所属	第2R第2Z 富良野ライオンズクラブ			
	ふりがな	ひろせ ひろと			
	立候補者名	L. 広瀬 寛人			
	生年月日	1963 (S38) 年 7 月 11 日		60歳	
	自 宅	〒	076-0023		
		住 所	富良野市栄町7番5号		
		電 話	0167-22-1963		
		携 帯	090-3018-1573		
		E-mail	ftaxi@furano.ne.jp		
勤務先	〒	076-0031			
	住 所	富良野市本町2番3号			
	勤務先名	株式会社富良野タクシー	役職名	代表取締役	
	電 話	0167-22-3516			
	E-mail	ftaxi@furano.ne.jp			
ライオン歴 (年度順) ・入会 ・クラブ役職 ・準地区 ・複合地区役員 ・授賞 アワード	2005年 3月 2006年～2007年 2007年～2008年 2011年～2012年 2012年～2013年 2014年～2015年 2021年～2022年 2022年11月～2023年6月 2023年～2024年  2023年 8月	富良野ライオンズクラブ 入会 クラブ理事 クラブ理事 クラブ理事 331-B地区 キャビネット会計 クラブ会計 富良野ライオンズクラブ第60代クラブ会長 331-B地区 GET副コーディネーター クラブ会計 331-B地区 GLTコーディネーター メルビン・ジョーンズ・フェロー5回			
職 歴 主要なものを列記し、 その役職名を併記	1991年4月 株式会社富良野タクシー 代表取締役				
最 終 学 歴	東京経済大学 昭和61年 3月 卒業				
公職・叙勲・賞罰	富良野地方交通安全協会 会長 富良野保護司会 支部長				
家 族 同居家族氏名・続柄 職業・年齢・性別	妻 広瀬久美 株式会社富良野タクシー 取締役 59歳 長女 広瀬 玲 三井不動産株式会社 28歳				
現在、主として勤務している法人・団体等の内容 商号、本店、資本金等	株式会社富良野タクシー 代表取締役 1000万円				
<p>ライオンズクラブ国際協会 331-B地区 地区ガバナー L. 藤原 回向</p> <p>私儀、ライオンズクラブ国際協会331-B地区 第二副地区ガバナーとして 立候補いたしたく、クラブ推薦状を添え、届出いたします。</p> <p>富良野 ライオンズクラブ 署名  </p>					

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区  
地区ガバナー L. 藤原 回向


ライオンズクラブ  
会長 L. 大本 孝行


## 推 薦 状

2024-2025 年度 331-B 地区 第二副地区ガバナー立候補者として全会員の  
承諾を得て、当クラブ会員 L. 広瀬 寛人 を推薦いたします。

2023 年 12 月 | 日

第 2 リジョン 第 2 ゾーン 富良野 ライオンズクラブ

会長 大本 孝行 

幹事 安田 光則 

会計 広瀬 寛人 

(注) 第二副地区ガバナー立候補者は、ライオンズクラブ国際協会付則第 9 条第 6 項により、次の資格を要します。

1. 所属単一地区又は、準地区内の正クラブの正会員であり、クラブ、本人ともにグッド・スタンディングであること。
2. 所属クラブ又は所属単一地区もしくは準地区内の過半数のクラブの推薦をうけていること。
3. 第二副地区ガバナー就任時点で以下の条件を満たしていること。
  - ① クラブ会長を半期以上、そしてクラブ理事会構成員として更に 2 年以上勤めた者。
  - ② ZC、RC、キャビネット幹事、キャビネット会計のいずれかの役職者として、全期又は任期の過半を務めた者。
  - ③ 上記のいずれの役職も、同時に達成させることはできない。



【議案第4号】

331-B地区一般会計中間報告書

2023年7月1日～2023年12月31日

【収入の部】

(単位:円)

科 目	本 年 度 予 算 額	執 行 額	備 考
前年度繰越金	12,523,006	12,523,006	
運営準備前受金	5,000,000	5,000,000	
地区費	23,100,000	11,820,600	
地区大会費	4,200,000	2,149,200	
雑収入	0	1,772,000	
その他		156	受取利息
合 計	44,823,006	33,264,962	

【支出の部】

科 目	本 年 度 予 算 額	執 行 額	備 考
会 議 費 A	2,000,000	1,654,715	
会 議 費 B	968,400	968,400	
旅 費 A	1,700,000	1,333,240	
旅 費 B	900,840	679,770	
通 信 費 A	800,000	677,558	
通 信 費 B	115,200	115,200	
印 刷 費 A	1,200,000	858,051	
印 刷 費 B	115,200	115,200	
人 件 費	6,000,000	3,715,495	
事 務 所 費	1,320,000	660,410	
光 熱 費	400,000	268,884	
消 耗 品 費	300,000	147,471	
備 品 費	1,300,000	1,086,513	
贈 呈 費	700,000	741,950	
慶 弔 費	500,000	344,900	
交 際 費	100,000	77,360	
新 入 会 員 促 進 費	200,000	165,000	
引 継 費	280,000	298,000	
雑 費 A	500,000	395,997	
雑 費 B	464,800	464,800	
広 報 費	1,600,000	956,540	
研 修 費	300,000	397,196	
ア ワ ー ド 費	250,000	0	
青 少 年 育 成 費	800,000	947,550	
地 区 大 会 費	4,200,000	858,546	
各 種 委 員 会 事 業 費	200,000	54,000	
次 期 C A B 前 渡 金	5,000,000		
YCEキャンプ負担金	300,000		
GATコーディネーター費	700,000	185,320	
G M A 事 業	500,000	286,670	
予 備 費	200,000		
剰 余 金	10,908,566		
残 高		14,810,226	
合 計	44,823,006	33,264,962	

**331-B地区一般会計貸借対照表**  
2023年12月31日 現在

(単位:円)

借 方		貸 方	
科目	金額	科目	金額
現金	166,384	一般残高	14,810,226
普通預金	14,643,842	借入金	
仮払金		仮受金	
合 計	14,810,226	合 計	14,810,226

**331-B地区特別会計(A:緊急援助資金)**

収支中間報告書

2023年7月1日～2023年12月31日

(単位:円)

科 目	支 出	収 入	摘 要
(地区運用基金)			
前年度より繰越金		2,791,939	
会 員 収 入		2,303,600	
緊急援助資金	1,796,000		モロッコ大地震・ハワイマウイ島火災緊急援助金
雑 収 入		105	預金利息
残 高	3,299,644		
合 計	5,095,644	5,095,644	

貸借対照表

2023年7月1日～2023年12月31日

(単位:円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
現金		地区緊急援助資金	3,299,644
普通預金	3,299,644		
合 計	3,299,644	合 計	3,299,644

**331-B地区特別会計(B:献眼運動推進費)**

収支中間報告書

2023年7月1日～2023年12月31日

(単位:円)

科 目	支 出	収 入	摘 要
前年度より繰越金		1,481,076	
会 員 収 入		886,000	1,772名×500円
献眼運動推進事業費			
雑 収 入		2	預金利息
残 高	2,367,078		
合 計	2,367,078	2,367,078	

貸借対照表

2023年7月1日～2023年12月31日

(単位:円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
現金		献眼運動推進事業費	2,367,078
普通預金	2,367,078		
雑 収 入			
合 計	2,367,078	合 計	2,367,078

ライオンズクラブ国際協会 331-B地区

## 一般会計・特別会計収支中間決算報告書

以下の通り、331-B地区一般会計及び特別会計収支中間決算  
(2023年7月1日～2023年12月31日)の報告を申し上げます。

2024年1月20日

ライオンズクラブ国際協会 331-B地区

地区ガバナー

L. 藤原 回向



地区キャビネット幹事

L. 中野 修吾



地区キャビネット会計

L. 梅村 俊範



(議案第5号)

ライオンズクラブ国際協会 331-B地区

## 地区会計中間監査報告書

現金出納、預金出納、預金残高並びに諸帳簿、証拠書類の記帳は、  
正確且つ適正に処理されていることを認めます。

2024年1月20日

ライオンズクラブ国際協会 331-B地区

地区会計監査委員

L. 伊東 隆志



地区会計監査委員

L. 澤田 礼二



地区会計監査委員

L. 森山 憲治



## 【議案第 6 号】

### ◆地区年次大会における決算審議に関する件について

(説 明)

第 70 回地区年次大会における 2023 年～2024 年度 331-B 地区会計決算報告は、大会期日が会計年度途中のため、決算審議は次期第 1 回キャビネット会議に権限を委譲致したい。

よって、第 70 回地区年次大会に承認を求めたい。

## 【議案第 7 号】

### ◆地区費等徴収金額の件について

2024 年～2025 年度 331-B 地区の地区費・地区大会費・献眼運動推進費については、今期と同額で下記の様に徴収したい。

(内 訳)

地 区 費	会員一人当たり	月額	1,100 円
地 区 大 会 費	会員一人当たり	月額	200 円
(特別会計)			
献眼運動推進費	会員一人当たり	年額	500 円

(但し、子家族会員については上記地区費等の徴収はしない。)

よって、第 70 回地区年次大会に承認を求めたい。

## 【議案第 8 号】

### ◆331-B 地区緊急援助資金規則に基づく資金の補充について

(説 明)

331-B 地区緊急援助資金規則第 2 条 3 により、資金の基準額は 500 万円となっているが、本年度「モロッコ大地震・ハワイマウイ島火災」への緊急援助金として、1,796,000 円、「能登半島地震」への緊急援助金として、1,754,000 円、を支出しました。その結果、資金残高が 2024 年 1 月 17 日現在 1,545,644 円となり基準額を割ったため、次年度 (2024～2025 年度) 331-B 地区会員に、年額 2,000 円の拠出をお願いしたい。(但し、子家族会員からは徴収しない。)

よって、第 70 回地区年次大会で議案に致します。

2023-2024年度 ライオンズクラブ国際協会331-B地区 2024. 4. 20(土)  
第70回地区年次大会組織表(案)

【議案第9号】

大会部会				
部会名	業務内容	部長 ◎グループリーダー	副部長	部員
総務グループ	総務・記念誌部会	(権内北斗) ◎L.永山 彰一	(権内北斗)L.橋本 弘 (権内北斗)L.三上 聖二	(権内北斗)L.澤村 勝幸 (権内北斗)L.山田 庸徳
	登録宿泊部会	(権内北斗) L.越後谷英二	(権内) L.片野 圭五	
	献血救護部会	(権内) L.高木 茂樹	(権内) L.松岡巳代子	(権内北斗)L.伊坂 雅行
式典グループ	運営部会	(権内北斗) L.穂田 晃一	(権内北斗) L.森山 憲治	(権内北斗)L.山本 横吾 (権内北斗)L.佐藤百合子 (権内北斗)L.C 権内LC 枝幸オホーツクLC 幌延LC 歌登LC 猿払LC ホストクラブ事務局(6名)
	会場部会	(権内北斗) L.森田 正志 (権内北斗) ◎L.寺本 幸男	(権内北斗) L.石内 隆則	
	交通・駐車場部会	(権内北斗) L.石川 遼夫	(権内北斗) L.副島 隆	北斗警備 スポーツ協会
	物産・売店部会	(権内北斗) L.柳浦 政春	(権内北斗) L.佐藤 堅司	(権内北斗)L.徳田 晃一 (権内北斗)L.庄司 明弘
	接待部会	(権内北斗) L.出村 文江	(権内北斗) L.蛭澤 洋子	(権内北斗)L.永井由美子
晩餐会グループ	運営部会	(権内北斗) ◎L.竹井 晃	(権内北斗) L.小林三代吉 (権内北斗) L.藪谷 克行	ホスト6クラブ 権内北斗LC 権内LC 枝幸オホーツクLC 幌延LC 歌登LC 猿払LC 権内北斗LCさいほく支部
	司会進行部会	(権内北斗) L.加賀 浩一	(権内北斗) L.鳥取 広志	(権内北斗)L.井上 三知 (権内北斗)L.橋本 健司
	会場部会	(権内北斗) L.岸 義雄	(権内北斗) L.松本 孝幸	(権内) L.米本 正樹 (権内北斗)L.杉本 康治 (権内北斗)L.宇田 一政
アクティビティ	大会委員(ホスト6クラブ)	L.戸松 厚 L.宮本 栄	L.富田 伸司 L.七戸 忠之	L.石橋美由亀 L.永井 英俊

<b>大会長・地区ガバナー</b> L.藤原 回向 (権内北斗)	<b>副大会長・第一副地区ガバナー</b> L.伊東 隆志 (北見)	<b>副大会長・第二副地区ガバナー</b> L.大島 尚久 (釧路みなど)
<b>大会委員長</b> L.岡谷 繁勝 (権内北斗)	<b>大会副委員長</b> L.寺本 幸男 (権内北斗)	<b>大会委員</b> L.戸松 厚 (権内北斗) L.富田 伸司 (権内) L.石橋美由亀 (枝幸オホーツク) L.宮本 栄 (幌延) L.七戸 忠之 (歌登) L.永井 英俊 (猿払)
<b>大会事務局長</b> L.藤田 隆明 (権内)	<b>大会事務局次長</b> L.石井 和雄 (権内北斗)	<b>大会事務局員</b> L.池田惠美子 (権内北斗) 田澤惠美子

<b>元国際理事</b> L.安井 克之 (旭川東)	<b>大会名誉顧問</b> L.阿部 昭 (士別) L.中谷 宣巨 (釧路) L.若林 輝彦 (美幌) L.香川 俊雄 (帯広中央) L.奥山 壽雄 (白滝) L.山田 正昭 (釧路ぬさまい) L.佐藤 信雄 (富良野) L.安井 克之 (旭川東) L.井ノ浦義明 (権内北斗) L.山崎 博信 (名寄中央)	<b>大会幹事</b> L.中野 修吾 (権内北斗)	<b>大会副幹事</b> L.藪谷 克行 (権内北斗) L.石内 隆則 (権内北斗) L.佐藤 堅司 (権内北斗) L.鳥取 広志 (権内北斗) L.柳浦 政春 (権内北斗) L.加賀 浩一 (権内北斗) L.永井由美子 (権内北斗) L.庄司 明弘 (権内北斗)	<b>大会計</b> L.梅村 俊範 (権内北斗)	<b>大会副計</b> L.三上 聖二 (権内北斗)	<b>大会計監査委員</b> L.今村 光登 (権内北斗) L.秋元 正智 (権内北斗) L.山本 秀一 (権内)
-------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------	-------------------------------	--------------------------------------------------------------------

【議案第10号】

第70回地区年次大会委員長アワード（案）

1. 大会登録数最多賞
2. ライオンレディ登録数最多賞
3. 登録最年長参加賞
4. 70番目登録賞

## 【議案第11号】

# ライオンズクラブ国際協会331-B地区 第70回地区年次大会 代議員総会プログラム(案)

日 時 2024年4月20日(土)

場 所 稚内総合文化センター

※ガバナー及び第一及び第二副地区ガバナーの信任投票受付	12:00 ~ 13:00
代議員登録受付	12:00 ~ 13:00
資格審査・議事運営・指名選挙・決議正副委員長会議	12:15 ~ 12:45
代議員総会	13:00 ~ 13:20
代議員分科会	13:30 ~ 14:10
代議員再開総会	14:20 ~ 14:50
大会式典登録受付	14:00 ~ 15:00
大会式典	15:10 ~ 17:00

司 会 L. 蓑谷 克行

### 【代議員総会】

1. 開会宣言	大会議長	L. 藤原 回向
2. 役員紹介	大会副幹事	L. 蓑谷 克行
3. 大会議長挨拶	大会議長	L. 藤原 回向
4. 代議員資格審査結果報告	資格審査委員長	L. 藤原 回向
5. 大会議事規則及び議事運営説明	議事運営委員長	L. 中野 修吾
6. ガバナー及び第一及び第二副地区ガバナーの信任投票	指名選挙委員長	L. 岡田 清一
7. 決議委員会の構成について説明	決議委員長	L. 柳澤 豊

### 【分科会審議】

8. 代議員総会再開宣言	大会副幹事	L. 蓑谷 克行
9. 信任投票開票結果報告	指名選挙委員長	L. 岡田 清一
10. ガバナー及び第一及び第二副地区ガバナー当選者の宣言	大会議長	L. 藤原 回向
11. 各分科会決議答申	決議委員長	L. 柳澤 豊
12. 採決	大会議長	L. 藤原 回向
13. 地区ガバナーエレクト紹介	大会議長	L. 藤原 回向
14. 第一副地区ガバナーエレクト紹介	大会議長	L. 藤原 回向
15. 第二副地区ガバナーエレクト紹介	大会議長	L. 藤原 回向
16. 閉会宣言	大会議長	L. 藤原 回向

【議案第12号】

ライオンズクラブ国際協会331-B地区

第70回地区年次大会

代議員総会 運営委員会構成(案)

大会議長	地区ガバナー	L. 藤原 回向	元国際理事	地区名誉顧問	L. 安井 克之
大会副議長	第一副地区ガバナー	L. 伊東 隆志	大会顧問	地区名誉顧問会議長	L. 中谷 宣巨
大会副議長	第二副地区ガバナー	L. 大島 尚久	大会顧問	地区名誉顧問会議	L. 佐藤 信雄
大会副議長	前ガバナー	L. 阿部 昭	大会顧問	地区名誉顧問会議	L. 香川 俊雄
大会幹事		L. 中野 修吾	大会顧問	地区名誉顧問会議	L. 井ノ浦義明
大会会計		L. 梅村 俊範	大会顧問	地区名誉顧問会議	L. 若林 輝彦

委員会	委員長	副委員長	委員・◎司会○記録(設営・案内)
資格審査	地区ガバナー L. 藤原 回向	地区会計 L. 梅村 俊範 第1R 第1Z・Z C L. 成田 勝利 第1R 第2Z・Z C L. 杉本 隆英	◎大会副幹事 L. 蓑谷 克行
議事運営	大会幹事 L. 中野 修吾	第3R 第1Z・Z C L. 方川 一郎 第3R 第2Z・Z C L. 高橋好志子 第5R 第1Z・Z C L. 奥山久美子 第5R 第2Z・Z C L. 佐藤 正明	○大会副幹事 L. 佐藤 堅司
指名選挙	G S T コーディネーター L. 岡田 清一	第4R 第1Z・Z C L. 萩谷 泰夫 第4R 第2Z・Z C L. 喜多 武彦 第4R 第3Z・Z C L. 徳田 晃一	
決議	G E T コーディネーター L. 柳澤 豊	G L T コーディネーター L. 広瀬 寛人 第2R 第1Z・Z C L. 松田 誠一 第2R 第2Z・Z C L. 立崎 光儀	



【議案第13号】

ライオンズクラブ国際協会331-B地区

第70回地区年次大会

決議委員会・分科会構成（案）

【第一分科会】

分科会	委員長	副委員長	委員・◎司会○記録	顧問
会計 会則 アラート	地区GLT コーディネーター L. 広瀬 寛人	大会会計 L. 梅村 俊範 会則委員長 L. 本間 修三 レオ・青少年育成 アラート委員長 L. 浅野 敬一 第1R第1Z・Z C L. 成田 勝利 第1R第2Z・Z C L. 杉本 隆英 地区SCP・FWT コーディネーター L. 大津 幸三	◎大会副幹事 L. 蓑谷 克行 ○大会副会計 L. 三上 聖二 第1R第1Z・ゾーン委員 L. 小野寺一史 第1R第2Z・ゾーン委員 L. 青木 秀史	L. 中谷 宣巨 L. 佐藤 信雄

【第二分科会】

分科会	委員長	副委員長	委員・◎司会○記録	顧問
国際大会・国際協調 薬物乱用防止・ 献血献眼 長期計画リサーチ	長期計画リサーチ委員長 L. 阿部 昭	大会幹事 L. 中野 修吾 国際大会・国際協調委員長 L. 村山 聡 薬物乱用防止・ 献血献眼委員長 L. 山森 清志 第2R第1Z・Z C L. 松田 誠一 第2R第2Z・Z C L. 立崎 光儀 第3R第1Z・Z C L. 方川 一郎 第3R第2Z・Z C L. 高橋好志子	◎大会副幹事 L. 石内 隆則 ○大会副幹事 L. 鳥取 広志 国際大会・国際協調副委員長 L. 明石 欽弥 薬物乱用防止・ 献血献眼副委員長 L. 櫻井 信之 長期計画リサーチ副委員長 L. 伊東 隆志 長期計画リサーチ副委員長 L. 大島 尚久 第2R第1Z・ゾーン委員 L. 山田 智士 第2R第2Z・ゾーン委員 L. 加藤 祐一 第3R第1Z・ゾーン委員 L. 大和田 収 第3R第2Z・ゾーン委員 L. 船迫 郷子	L. 香川 俊雄 L. 若林 輝彦

【第三分科会】

分科会	委員長	副委員長	委員・◎司会○記録	顧問
レオ・青少年育成 YCE マーケティング ・IT 平和ポスター コンテスト	地区GMT コーディネーター L. 矢吹 定夫	YCE委員長 L. 小林 孝彦 マーケティング・IT委員長 L. 高田 政志 平和ポスターコンテスト 委員長 L. 石橋美由亀 レオ・青少年育成 アラート副委員長 L. 佐藤 豪一 第4R第1Z・ZC L. 萩谷 泰夫 第4R第2Z・ZC L. 喜多 武彦 第4R第3Z・ZC L. 徳田 晃一 第5R第1Z・ZC L. 奥山久美子 第5R第2Z・ZC L. 佐藤 正明	◎大会副幹事 L. 佐藤 堅司 ○大会副幹事 L. 加賀 浩一 YCE副委員長 L. 工藤 正幸 マーケティング・IT 副委員長 L. 栃木 潤子 レオ・青少年育成 アラート委員 L. 清野 芳明 第4R第1Z・ゾーン委員 L. 佐藤 光一 第4R第2Z・ゾーン委員 L. 太田 晃司 第4R第3Z・ゾーン委員 L. 森田 正志 第5R第1Z・ゾーン委員 L. 梅原 友一 第5R第2Z・ゾーン委員 L. 林 健二	L. 井ノ浦義明

【議案第14号】

ライオンズクラブ国際協会331-B地区  
第70回地区年次大会  
代議員推薦名簿(案)

第	R・第	Z	1月末現在会員数	名
クラブ名			LC	
会長署名			貴クラブ代議員数	名

下記の会員は、当クラブにおいて正式に指名され任命された代議員及び補欠の代議員でありそれぞれ下記の決議委員会(分科会)に派遣することを推薦いたします。

分科会所属代議員氏名

[第一分科会] 会計 会則 アラート	代議員			
	補 欠			
	オブザーバー			
[第二分科会] 国際大会・国際協調 薬物乱用防止・献血 献眼 長期計画リサーチ	代議員			
	補 欠			
	オブザーバー			
[第三分科会] レオ・青少年育成 YCE マーケティング・IT 平和ポスターコンテスト	代議員			
	補 欠			
	オブザーバー			
クラブ代議員以外の有資格者(現地区ガバナー、前・元地区ガバナー)				
ご 氏 名				
ご 氏 名				

※貴クラブの控えは、コピーをお願い致します。  
※代議員の分科会の所属が変更になる場合もありますのでご了承ください。

締切日:2024年2月20日(火)厳守

## 第3回キャビネット会議 提出議案

●議案 ありません。

●提案 1 クラブ提出

●質問 2 クラブ提出

# 第3回キャビネット会議 提出議案

( 3 ) R ( 2 ) Z

帯広平原ライオンズクラブ

2024年1月12日

会長名 L.太田 好啓

【 議案・提案・質問 】

※いずれかに○をお付けください

(提 案)
・ 「ペットボトルキャップ及びアルミ缶の回収についてのお願い」について提案があります。

(提出理由)
・ 第62回OSEALフォーラムにおける取組みの趣旨は、理解できるのですが
ペットボトルキャップ及びアルミ缶は、札幌のライオンズクラブの関連企業に送料を
自己負担にて送るかアルミ缶は、循環コンビニ24へ持参する事となっている。
これでは、各クラブの自己負担の経費は、膨大となることが予想される。
特にアルミ缶は、各クラブの地元の企業に任せ、販売料金をドネーションとする事としては、
どうでしょうか。

1. 原文を1部キャビネット事務局に送付してください。
2. 貴クラブ用はコピーの上保管してください。
3. 用紙不足の際には、コピーの上使用してください。

# 第3回キャビネット会議 提出議案

( 3 ) R ( 2 ) Z

帯広平原ライオンズクラブ

2024年1月12日

会長名 L.太田 好啓

【 議案 ・ 提案・ 質問 】

※いずれかに○をお付けください

(質 問)
・ 「公益財団法人日本ライオンズへの寄付お願い」について質疑があります。
① フットサル事業に係る3,500万円の内訳。
② 寺子屋事業に係る850万円の内訳。

(提出理由)
・ 公益財団法人日本ライオンズの設立趣旨は、理解できるのですが
各事業の昨年の決算報告と今後開催予定の事業費の内訳を公表してください。
正会員一人年間2,000円の根拠がよく理解できません。

1. 原文を1部キャビネット事務局に送付してください。
2. 貴クラブ用はコピーの上保管してください。
3. 用紙不足の際には、コピーの上使用してください。

# 第3回キャビネット会議 提出議案

( 3 ) R ( 2 ) Z

帯広平原ライオンズクラブ

2024年1月12日

会長名 上田 好啓

【 議案 ・ 提案 ・ 質問 】

※いずれかに○をお付けください

( 質 問 )
・ 「地区シェアリング交付金の使用について」が保留に至った理由の説明をお願いします。

( 提出理由 )
・ 議案第9号 「地区シェアリング交付金の使用について」に事業計画をリジョン単位で作成し 1リジョン3,334ドル(約500,000円)までとする。
第2回ガバナー諮問委員会にてゾーン・チェアパーソンより上記の地区シェアリングが、 保留になった旨の説明がありましたが、今一度説明をお願いしたい。

1. 原文を1部キャビネット事務局に送付してください。
2. 貴クラブ用はコピーの上保管してください。
3. 用紙不足の際には、コピーの上使用してください。

各コーディネーター  
各委員会 報告



◇ 地区大会委員会

委員長 L. 岡谷 繁勝

地区大会委員から報告させていただきます。先ほどのキャビネット会議の中での審議いただきました。議案9号から14号案につきまして、承認を頂きました。ありがとうございます。

本年4月20日開催予定の年次大会予備登録は、12月15日（金）締め切りさせて頂きました。ご協力感謝申し上げます

予備登録の段階で式典640名強、晩餐会570名強と多くの登録を頂きました。

次に本登録ですが、例年より1ヶ月早い、1月15日（月）に各クラブ宛発送いたしました。締め切りについては2月15日（木）とさせていただき、追加変更の登録は2月29日（木）とさせていただきます。

年次大会当日は、遠距離の移動になるかとは思いますが、安全運転でお越し下さることをお願いいたします。記憶に残る大会に仕上げるべく、大会実行委員会一同、皆様をお迎えする準備を進めて参ります。

以上、大会委員会からの報告と致します。

会則委員会

委員長 L.本間修三

委員長のL.本間です。よろしくお願いいたします

本日、会則委員会からは1点、ご報告申し上げます。前回のキャビネット会議でお知らせしておりました、ライオンズ必携61版の発行についてですが日本ライオンズより、1月12日に希望部数の締め切りがありました。送付スケジュールに関しましては追って連絡が有ります。稚内キャビネットとしては受け取り次第、各クラブへ配布する予定でございます。

記載内容については、特典会員(割引会員)などの修正が行なわれたと聞いております。届き次第一読願います。また、販売価格は1冊 250円となっております。

よろしくお願いいたします。 会則委員会からは以上です

◇ マーケティング・IT委員会

委員長 L. 高田 政志

マーケティング・IT委員会は、エコー誌を8月、10月、12月、2月号の4回発行しております。(最新の2月号につきましては、1月29日に発送しておりますので、皆さまのお手元に届いていると思います。)

稚内キャビネット役員の皆さま、地区内の各クラブ役員の皆さまには、お忙しい中、原稿依頼に応じていただき感謝を申し上げます。

また、ホームページにおいては、見やすい、使いやすいなどを考慮し、日々研鑽してまいります。

現在、次の4月号制作に向けて、クラブ紹介の原稿収集をしながら、特集の内容などを検討しております。クラブ紹介では毎回各クラブの活動報告の原稿に目を通しながら、会員の皆さんの熱意と想い、活動の創意工夫に感動し、勉強させていただいております。

4月号ではアラート副委員長から記事の提供があります。

キャビネットの各役員、委員会の皆さまから、「これを特集で扱ってほしい」などの要望にも対応したいと考えておりますので、情報提供をお待ちしております。

また、ミッション1.5の取組みについても、各クラブの取り組み、GMAの状況等、依頼をさせていただいた際のご協力もお願い申し上げます。

◇平和ポスター・コンテスト委員会

委員長 L. 石橋 美由亀

本年度のライオンズ国際平和ポスター・コンテストは、「夢見る勇気を」をテーマに地区内合計4クラブ4校より38点の作品が応募されました。まず各クラブ皆様の各所へのお声かけと御協力に深く感謝を申し上げます。

応募作品の審査は昨年11月20日に、藤原回向331-B地区ガバナーと稚内キャビネット役員を審査員として、作品の独創性・芸術性・テーマの表現等を基準として行い入賞作品を決定いたしました。応募者の皆さんがテーマについて真剣に考え、時間をかけて作成してくれた作品ですのでどの作品も力作でありました。

最優秀賞作品は複合地区、全国での審査で最優秀に選ばれると、国際本部に送られ、その最優秀となった場合は今年6月に行われるメルボルンでの世界大会で表彰されます。

当地区の最優秀賞には本別中学校1年の佐藤みのり（さとうみのり）さんの作品が選ばれ、331-B地区の代表として複合地区の審査に提出致しました。入賞作品として賞状と記念品を贈呈し、さらに応募者全員に参加賞をお送り致しました。


本年度の地区年次大会にも参加作品を展示し、お越しのライオンズクラブ皆様にもご覧いただく準備をしております。


子供とともに未来の平和を考える、歴史あるLCの国際事業です。来年度も多くの御協力を頂きますようお願い申し上げます。


# 参 考 资 料

# 第60回OSEALフォーラムスケジュール (60TH OSEAL FORUM SCHEDULE)

2023年11月2日～5日 マニラ、フィリピン (November 2 - 5, 2023 Manila Philippines) 伝説 :

 通訳あり







 VIP / チケットイベント

 Leo イベント

(JAPANESE Version)







11月2日 木曜日

**2 NOVEMBER 2023 (THURSDAY)**

TIME	Program	Venue
6:30 - 14:00	国際会長杯ゴルフ大会 	ビラモア飛行場ゴルフコース
9:00 - 9:30	記者会見	SMX会議室2 - 3
9:00 - 17:00	参加者登録	SMX 2階
9:00 - 17:00	フードフェスティバル、バザー、展示会	SMX ホール2 - 3
9:00 - 12:00	セミナー ・レオフォーラムセッション3および4 	SMX 会議室4 - 6
10:00 - 11:00	表敬訪問	マラカニアン宮殿
13:00 - 14:30	第2回ステアリング委員会会議 	SMXファンクションルーム3
13:00 - 16:30	スペシャルオリンピックスピリピナスとのレオサービスプロジェクト 	SMXファンクションルーム1
15:00 - 17:00	配偶者プログラム	SMXファンクションルーム2
15:00 - 16:00	グローバルアクションチーム (GAT) 会議 	SMX会議室7 - 9
16:00 - 17:00	セミナー ・ニューボイス (女性、若者、レオ・ライオン)	SMX会議室4 - 6
16:30 - 17:30	オセアル執行委員会 (OEC) 会議 	SMX会議室7 - 9
17:00 - 18:00	決議委員会予備会議	SMX会議室2 - 3
17:15 - 18:15	セミナー ・レオクラブプログラム	SMX会議室4 - 6
18:00 - 20:00	歓迎レセプション	ソフィテルミンダナオボールルーム
20:00 - 21:00	コーカス会議	ソフィテルビサヤスボールルーム






11月3日 金曜日

**3 NOVEMBER 2023 (FRIDAY)**

TIME	Program	Venue
8:30 - 9:30	評議会議長および地区ガバナーズ会議 	ソフィテル・ミンダナオ・ボールルーム
9:00 - 17:00	参加者登録	SMX 2階
9:00 - 17:00	フードフェスティバル、バザー、および展示	SMX ホール 2 - 3
9:00 - 14:00	セミナー ・レオセミナー5、6およびブレイクアウトセッション 	SMX 会議室 2 - 3
10:00 - 11:00	国際会長と地区ガバナーの会議 	ソフィテル・ミンダナオ・ボールルーム
11:30 - 13:00	VIPおよび主要代表者の昼食	SMX 会議室 4 - 9
14:30 - 16:30	開会式 	SMX ファンクションルーム 1 - 5
17:00 - 18:00	国際理事候補者マレーシアレセプション	SMX 会議室 7 - 9
18:00 - 20:00	LCIF ドナー・レセプション	SMX 会議室 4 - 6
19:00 - 22:00	レオ&レオ-ライオンバンケット  	マニラ・プリンス・ホテル

11月4日 土曜日

**4 NOVEMBER 2023 (SATURDAY)**

TIME	Program	Venue
8:30 - 9:30	議長および地区ガバナー会議 	SMXファンクションルーム3
9:00 - 17:00	参加者登録	SMX 2階
9:00 - 17:00	フード フェスティバル、バザール、展示会	SMXホール2-3
10:00 - 11:00	国際第1副会長と第1副地区ガバナーの会議 	SMXファンクションルーム3
10:00 - 11:30	セミナー ・ ミッション 1.5 (英語)	SMXファンクションルーム4
10:00 - 11:30	・ ミッション 1.5 (日本語)	SMXミーティングルーム4-6
10:00 - 11:30	・ ミッション 1.5 (韓国語)	SMXミーティングルーム7-9
10:00 - 11:30	・ ミッション 1.5 (中国語)	SMXファンクションルーム1
11:30 - 12:30	・ 国際会長のテーマ 	SMXファンクションルーム3
11:30 - 13:00	VIP および主要代表者の昼食	SMXファンクションルーム5
13:00 - 14:00	決議委員会会議	SMXミーティングルーム2-3
13:00 - 15:00	セミナー ・ ミッション 1.5 (全言語対象)	SMXファンクションルーム4
15:00 - 16:00	・ ライオンズクエスト	SMXファンクションルーム1
16:00 - 17:30	ライオンズクラブ 国際財団(LCIF) 	SMXファンクションルーム3
17:30 - 18:30	第61回 OSEAL フォーラム (タイ) 歓迎レセプション	SMXファンクションルーム2
19:00 - 22:30	国際会長晩餐会 	ソフィテルグランドボールルーム

11月5日 日曜日

**5 NOVEMBER 2023 (SUNDAY)**

TIME	Program	Venue
8:30 - 9:30	議長および地区ガバナーの会議 	ソフィテル・ミンダナオ・ボールルーム
10:00 - 12:00	閉会式 	ソフィテル・ハーバー・テント
11:30 - 13:00	VIPおよび主要代表者の昼食	ソフィテル・ルソン・ボールルーム

# 2024年第8回スペシャルオリンピックス 日本冬季ナショナルゲーム

1. 大会名：2024年第8回スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム  
(略称)スペシャルオリンピックス2024 長野 / スペシャルオリンピックス2024 北海道

2. 開催概要：

<雪上競技：アルペンスキー/スノーボード/クロスカントリースキー/スノーシューイング>

2024年2月11日(日) 開始式/競技(予選)

2月12日(月・祝) 競技(決勝)・表彰式

会場：

競技	会場
アルペンスキー	名寄ピヤシリスキー場 (住所：北海道名寄市日進)
スノーボード	<a href="https://www.nayoro.co.jp/piyashiri/">https://www.nayoro.co.jp/piyashiri/</a>
クロスカントリースキー	なよろ健康の森(住所：北海道名寄市日進)
スノーシューイング	<a href="https://www.nayoro.co.jp/kenkounomori/">https://www.nayoro.co.jp/kenkounomori/</a>

**大会スケジュール(概要)** ※現時点での予定時間の為、今後変更が生じる場合があります。

## ■アルペンスキー/スノーボード(名寄ピヤシリスキー場/名寄市)

日程	時間	内容	場所	
2024年 2月11日(日)	8:30頃	開始式	名寄ピヤシリ スキー場 北海道名寄市日進 <a href="https://www.nayoro.co.jp/piyashiri/">https://www.nayoro.co.jp/piyashiri/</a>	
	9:10~11:00	競技(予選)(アルペンスキー)		
	12:35~14:35			
	11:20~12:15	競技(予選)(スノーボード)		
14:55~15:50				
2月12日(月・祝)		9:10~11:00	競技(決勝)(アルペンスキー)	
	11:20~12:15	競技(決勝)(スノーボード)		
	~13:00	表彰式 ※各競技種目の終了後、順次行う予定です。		

## ■クロスカントリースキー/スノーシューイング(なよろ健康の森/名寄市)

日程	時間	内容	場所		
2024年 2月11日(日)	9:00頃	開始式	なよろ健康の森 北海道名寄市日進 <a href="https://www.nayoro.co.jp/kenkounomori/">https://www.nayoro.co.jp/kenkounomori/</a>		
	10:10~13:00	競技(予選)(スノーシューイング)			
	10:30~11:05	競技(予選)(クロスカントリースキー)			
	13:30~	エキシビジョン(クロスカントリースキー)			
2月12日(月・祝)	10:00~11:00	競技(決勝)(クロスカントリースキー)			
	10:10~12:30	競技(決勝)(スノーシューイング)			
	11:20~	表彰式 ※各競技種目の終了後、順次行う予定です。			
	11:20~	エキシビジョン(クロスカントリースキー)			

大会実施委員会 北海道事務局 檜山

TEL: 080-4664-6954 / E-mail: hokkaido@son.or.jp







## 稚内キャビネット事務局

〒097-0022 稚内市中央4丁目15番16号 道北水産ビル1階

TEL 0162-73-3161 FAX 0162-73-3162

E-mail : [wlions331b@outlook.jp](mailto:wlions331b@outlook.jp)